

# 四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート

## 【平成28年度（下半期）】

1	農業分野	.....	P. 1
2	林業分野	.....	P.18
3	水産業分野	.....	P.26
4	商工業分野	.....	P.33
5	観光分野	.....	P.52

平成29年度「産業振興計画」関連予算額

農業分野	370,649千円
林業分野	221,817千円
水産業分野	20,245千円
商工業分野	1,640,184千円
観光分野	246,601千円
産業振興推進総合支援 事業費補助金	8,000千円
<b>計</b>	<b>2,507,496千円</b>

総額 約25億円

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
農業分野					
1 産地としての維持・強化					
1. 戦略品目の生産拡大					
【農業AP1】(1)ぶしゅかんの産地づくり					
○生産量の拡大と産地化の推進	<p>○ぶしゅかん産地化・普及推進事業</p> <p><b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <p>8月～ 新規定植予定のほ場について適地現地確認                      9月～ 新規定植(苗代の補助)1,717本【H28年度末見込 4,226本】                      365a(見込。ほ場22カ所。)</p> <p>2月 新規定植栽培講習会実施                      ・有害鳥獣防護柵(設置への補助) 1,318m(8カ所)</p> <p>○生産者組織の設立と活動支援                      5月 四万十ぶしゅかん生産者組合設立総会                      組合員数 22名(うち団体数 2)</p> <p>○ぶしゅかん集出荷支援                      (実施主体:四万十ぶしゅかん生産者組合)  <b>地方創生推進交付金を活用</b>                      8月～10月 ・集出荷支援(人件費等への補助)                      ・出荷基準検討会の実施                      ※収穫体制として多機能事業所「アオ」と連携</p> <p>○栽培現地検討会実施(4月・7月)                      ・栽培管理指導等                      ・文書にて栽培管理指導(8月:日照り対策 12月:冬季管理)</p> <p>○ぶしゅかん産地化推進計画の策定検討                      目標栽培面積・生産量、青玉の流通(選果体制)、加工 施設整備の実                      施計画(市・振興センター・生産者組織・加工業者等で協議)</p> <p>○生産体制及び衛生管理体制の強化                      (実施主体:四万十ぶしゅかん(株))  <b>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</b>                      11月～ 加工設備等機材導入                      ・冷凍庫、冷蔵ユニット機器、換気システム保管庫等)                      ・集荷・搾汁工場、資材倉庫施設整備</p>	四万十市 (農林水産課・観光商 工課) 生産者 事業者	<p>◆ぶしゅかん新植面積                      H26:0.9ha                      →H31:12ha                      H27:4.9ha</p> <p>◆ぶしゅかん生産量                      H26:13t                      →H31:54t                      H27:16t                      H28:22t</p>		<p>○ぶしゅかん産地化推進事業 * 5,447千円</p> <p><b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規定植(苗代への補助) 1,500本 300a</li> <li>・有害鳥獣対策用防護柵(設置費補助) 4,000m</li> <li>・集出荷支援事業 (四万十ぶしゅかん生産者組合)</li> <li>・都市圏の百貨店等でぶしゅかんのブランディングキャンペーンの展開</li> <li>・CD及び振り付けガイド制作委託料</li> </ul> <p>○ぶしゅかん普及推進事業 * 5,090千円</p> <p><b>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぶしゅかん出荷施設整備【4,024千円】 (四万十ぶしゅかん(株))</li> <li>・TV-CM制作【400千円】 (四万十ぶしゅかん(株))</li> <li>・ぶしゅかんスーパー開催【666千円】 (四万十ぶしゅかん生産者組合)</li> </ul> <p>○栽培現地検討会 -                      ・栽培管理指導</p> <p>○ぶしゅかん産地化推進計画の策定 -                      ・目標栽培面積・生産量、青玉の流通(選果体制)</p> <p>○地理的表示保護制度(GI)登録に向けた調査研究 -                      ※地域で育まれた農産物の伝統と品質基準を守る証                      (国が地域の特産品の「名称」を知的財産として保護)</p> <p>○四万十ぶしゅかん(株)を主体に各種商談会、展示会、                      物産展 等での販路開拓・販売促進活動を展開 -</p>
◎認知度向上、販路開拓、ブランド 化の取り組み	<p>○ぶしゅかん産地化・普及推進事業</p> <p><b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <p>8月 四万十ぶしゅかんPR活動                      普及活動に活用できる四万十ぶしゅかんPVが閲覧できる QRコード                      入のポスター及びリーフレットを作成しPR</p> <p>9月 ぶしゅかん青玉キャンペーン                      首都圏の高級スーパー、百貨店(延べ6箇所)で配布、加工品の試食                      等を実施</p> <p><b>【商工業・観光分野共通】</b></p> <p>○四万十ぶしゅかん普及推進事業                      (主催:四万十ぶしゅかん生産者組合)  <b>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</b>                      8月 ぶしゅかんスーパー解禁パーティー</p>				

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野		平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
戦略の柱	アクションプラン 主要内容					
施策						
農業分野						
		<p>○ぶしゅかん効能成分分析研究 9月 化粧品への利用を視野に製薬会社へ成分分析結果等聞き取り(株)サティス製薬:東京都江東区)</p> <p>○その他PRの取り組み 4月～ 四万十ぶしゅかんPVスタンドPOP 市内飲食店・宿泊施設に配布しPR 6～7月 四万十ぶしゅかんTV-CM展開 (実施主体:四万十ぶしゅかん(株)) 9月 化粧品への利用を視野に製薬会社へ成分分析結果 9月 四万十ぶしゅかんPVを四国コンテンツ映像フェスタ2016へ応募し 1月に優秀賞を受賞 9月 中村地域の全小中学校で給食の献立に青果を使用してPR 10月、2月 市内小中学校での学習会の実施 10月、11月 物産展でのPR活動</p>				
【農業AP2】(2)ゆずの産地化促進						
○生産性の向上	○水田転換ゆず定例会の実施(4月～7月) 栽培管理指導、出荷検討(対象農家:9戸)	四万十市 (農林水産課・産業建設課)	◆ゆず栽培面積 H26:42.5ha →H31:42.5haを維持 H27:42.5ha		○高知県ゆず振興対策協議会負担金 * 31千円 ・連携した取組みの推進	
○隔年結果の低減や青果率、秀品率の向上	○8月 ゆず青玉の目慣らし会	JA高知はた 生産者 事業者	◆ゆず生産量 H26:445t →H31:445tを維持 H27:310t		○水田転換ゆず定例会の開催 ・栽培指導、出荷検討	
◎「四万十ゆず」のブランド化の推進	○連携した取組みの推進 高知県ゆず振興対策協議会への負担金 26千円				○剪定、誘引指導の実施	
	○ゆず加工品の販売促進(事業主体:JA高知はた) 市内イベント等に出店販売 物産展・商談会(スーパーマーケットトレードショー)へ出展				○目慣らし会ゆず出荷販売検討会 (事業主体:JA高知はた)	
	○「四万十ゆず」の地域団体商標登録に向けた取組みの推進 (事業主体:JA高知はた ※H29年度出願予定) 認知度向上に向けた取組実施(「四万十ゆず」と段ボールに記載する等)				○ゆず加工品の販売促進 (事業主体:JA高知はた)	
					○「四万十ゆず」の地域団体商標登録に向けた取組みの推進(事業主体:JA高知はた) ・「四万十ゆず」の名称で青果の出荷販売 (H29年度取得予定)	
【農業AP3】(3)栗の産地再生						
○栗園の再生	○中山間地域集出荷支援事業 (事業主体:JA高知はた) <b>地方創生推進交付金を活用</b>	四万十市 (産業建設課)	◆栗栽培面積 H26:39.5ha →H31:47.0ha H27:41.59ha		○園芸作物等の集出荷を継続実施 (実施主体:JA高知はた)	
○集出荷の支援	6月～ 栗をはじめ園芸作物等の集出荷を円滑に推進 7品目 1月～ ・新改植(苗木代の補助) 1,200本 3.0ha ・縮間伐作業(人件費等の補助) 1.2ha	JA高知はた 生産者 事業者	◆栗生産量 H26:15.1t → H31:60t H27:22.1t		○栗産地化推進事業 * 300千円 <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・新改植(苗木代の補助)1,500本、3.75ha	
◎「四万十栗」のブランド化の推進	○四万十栗生産・加工・販売促進再生事業 (事業主体:株しまんと美野里) <b>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</b>				○四万十栗生産・加工・販売促進再生事業 * 1,549千円 (実施主体:株しまんと美野里) <b>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</b> ・栗の集出荷、縮間伐、新改植、加工機器整備等	
	9月～ 集出荷支援 2.0t、作業道整備 400m 獣害対策網設置 1.0ha					

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
農業分野	1月～ 縮間伐等作業 4.0ha 2月～ 新改植作業 4.75ha				
【農業AP4】(4)有望品目の産地強化					
◎地域に根づいた有望品目による産地の育成・強化	○産業振興補助事業(農業生産物品質向上事業) 6月～ 篤農家(米ナス)による新規生産者等への栽培技術指導  ○レンタルハウス整備事業 4月 レンタルハウス整備事業地域協議会(No.1高度化) 5月 レンタルハウス整備事業地域協議会(No.2新規就農) 8月 No.1高度化ハウス完成(3,024㎡、入田) 9月 No.2新規就農ハウス完成(2,820㎡、鍋島) 11月 資金計画作成支援 レンタルハウス整備事業地域協議会(No.3規模拡大) 2月 レンタルハウス整備事業地域協議会(No.4規模拡大、No.5新規就農) 3月 No.3規模拡大ハウス完成予定(2,304㎡、入田) 5月 No.4規模拡大ハウス完成予定(864㎡、具同) No.5新規就農ハウス完成予定(1,569㎡、蕨岡)  ○園芸ハウス整備事業 既存ハウスを修繕(7件) 4月 大葉農家2件交付決定:7月事業完了 8月 生姜農家1件交付決定:11月事業完了 8月 いちご農家1件交付決定:10月事業完了 9月 生姜農家2件交付決定:11月事業完了 11月 生姜農家1件交付決定:12月事業完了  ○燃料タンク対策事業 南海トラフ地震による二次災害発生リスクを軽減するため、園芸ハウス加温燃料タンクを流出防止付きタンクへ置換え ・鍋島地区にタンク2基整備(12月:竣工)	四万十市 (農林水産課・産業建設課)  JA高知はた 四万十農園めぐりっこ 西土佐農業公社 集落営農組織  公益社団法人四万十市中村野菜価格安定基金協会 園芸作物価格安定基金評議会 生産者	◆有望品目の安定生産や新規品目が地域内で定着し、安定した農業経営につながっている。		○農業生産物品質向上事業補助金 * 48千円 (事業主体:JA高知はた(米ナス部会)) ・米ナス部会で新規生産者の技術指導等を行う  ○レンタルハウス整備事業 * 22,416千円 ・新規就農ハウス1棟(1,500㎡、鍋島) ・規模拡大ハウス1棟(2,500㎡、三里)  ○園芸ハウス整備事業 * 1,858千円 ・既存ハウスの修繕(6件) 大葉農家1、生姜農家2、ピーマン農家3  ○燃料タンク対策事業 * 7,837千円 ・タンク削減:既存燃料タンク1基削減。重油代替暖房機をリース導入。 ・タンク整備区分:流出防止付タンク2基整備  ○新規作物導入試作支援事業 — (実施主体:西土佐農業公社等) ・栽培実証及び販売促進等を支援 ・西土佐農業公社で7品種について試験栽培を継続  ○園芸産地リフレッシュ資金利子補給 * 2千円  ○野菜価格安定事業(基金協会負担金) * 1,000千円 ・補給金:2,000千円(市1,000千円、JA1,000千円) 中村地域のみ 対象品目:オクラ・シントウ・ナバナ
○新規品目導入の支援	○新規作物導入試作支援事業(実施主体:農業公社等) 栽培実証及び販売促進等を支援 ①茎ブロッコリー試験栽培(雨よけ12a、露地5a) ②雨よけ米ナス試験栽培(前進化簡易ハウス3a) ③雨よけいごっそうナス試験栽培(前進化簡易ハウス1a) ④日本産マカの試験栽培(露地4a) ⑤らっかせい(露地6a) ⑥フルーツたまねぎ(雨よけ4a) ⑦四万十春菘試験栽培(露地5a) ⑧日本産マカの試験栽培(露地4a)  ○新規品目導入の支援 ・間崎地区でわさび栽培実証プラント整備に向けて検討中				○園芸作物価格安定事業(特別会計) * 10,069千円 補償価格を従来の経費積上げ補償から、精算(販売)単価見合い補償へ見直し検討



四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
農業分野					
○野菜価格安定制度による経営支援	○園芸産地リフレッシュ資金利子補給 9月 上半期利子補給 3月 下半期利子補給  ○野菜価格安定事業 平成27年価格安定補給金支払 対象品目(中村地域):オクラ・シントウ・ナバナ 874千円  ○園芸作物価格安定事業 ・園芸作物価格安定基金評議会開催 6月 補償単価の決定、仕組みの見直しにかかる意見聴取等 1月 H28補助金及び農家積立金の報告、補償単価の見直し協議				
2. 生産性の高い栽培技術の導入					
【農業AP5】(1)学び教えあえる場づくり					
◎学び教えあう場づくり	○8月～11月 農業基礎講座 県農業振興センターを主体とし、農業研修生を対象に基礎講座(就農計画、制度資金、土づくり、農薬の適正使用経営管理等)を実施 4回開催  ○JA選果場における目慣らし会の実施 出荷前、出荷途中目慣らし会 5月 オクラ、ラッキョウ、生姜 11月 ピーマン、ブロッコリー 1月 ナバナ  ○環境制御技術勉強会(ピーマン) 10月:1回、11月:2回、12月:2回、1月:2回、2月:2回 3月:2回(予定)  ○地域内農家訪問研修(合計9回) 四万十農園めぐりっこ研修生の農家訪問研修 7月 黒潮町農家視察 8月 安並地区農家訪問×2回 10月 トマト農家視察 11月～3月 ピーマン農家視察  ○地域内農家による巡回指導 農家による四万十農園めぐりっこ研修生への訪問指導 6月～11月 地域農家訪問指導 <b>【再掲】</b> ○産業振興補助事業(農業生産物品質向上事業) 6月～ 篤農家(米ナス)による新規生産者等への栽培技術指導	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 高知県 JA高知はた 四万十農園めぐりっこ 西土佐農業公社 公益社団法人四万十市中村野菜価格安定基金協会  生産者	◆講座等を通じて、営農に不可欠な栽培技術や経営感覚が習得され、持続的な農業経営が実践されている  ◆新規就農者等と篤農家との交流が促進され、情報収集や就農後の相談体制収集や就農後の相談体制等ネットワークが構築されている。  ◆有望品目の安定生産が地域内で定着し、安定した農業経営につながっている。		○農業基礎講座 ・県農業振興センターと主体とし、農業研修生を対象に基礎講座を実施(年4回程度実施予定)  ○JA選果場における目慣らし会の実施 ・研修生の目慣らし会への参加  ○地域内農家訪問研修 ・地域先進農家圃場で訪問研修  ○地域内農家による巡回指導 ・農家による四万十農園めぐりっこ研修生への訪問指導  <b>【再掲】</b> ○農業生産物品質向上事業補助金 <b>【48千円】</b> (事業主体:JA高知はた(米ナス部会)) ・米ナス部会で新規生産者の技術指導等を行う
【農業AP6】(2)環境保全型農業の推進					
○環境保全型農業の普及・啓発	○有機農業等総合支援事業 化学肥料に頼らない土作りのため、市内の家畜ふん堆肥や有機物堆肥の施用にかかる経費やその散布を支援し、循環型農業を推進 4月～9月 ・中村地域 申請件数23件 203千円 ・西土佐地域 申請件数13件 58千円	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 生産者 JA高知はた	◆四万十川のブランドイメージにマッチした環境保全型農業が推進され、消費者からの支持が集まり、農産物の高付加価値が高まっている		○有機農業等総合支援事業 * 700千円 ・化学肥料に頼らない土作りのため、市内の家畜ふん堆肥や有機物堆肥の施用にかかる経費やその散布を支援し、循環型農業を推進

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野		平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン 主要内容						
農業分野		<p>○環境保全型農業直接支払交付金事業 化学肥料、農薬を使用しない取組み又は5割以上低減し、環境保全に効果の高い営農活動を支援 ・取組面積:2,382a 3団体(11戸) ・有機農業:2,295a 2団体(9戸) 品目:水稲・果樹・野菜 ・カバークロープ87a 2団体(2戸) 品目:水稲</p> <p>○環境保全型農業推進事業補助金 環境保全型農業を実践する農業者の育成、技術・機械導入経費への支援 ・園芸部(11戸)276a 品目:ミョウガ、大葉、キュウリ ・イチゴ部(13戸):168a</p>		<p>◆環境保全型農業直接支援隊対策事業参加経営面積 H26:21ha →H31:31ha H27:19.4ha</p> <p>◆環境保全型農業推進事業実施経営体数 H26:11戸 →H31:15戸 H27:26戸</p>		<p>○環境保全型農業直接支払交付金事業 * 2,146千円 ・取組面積:2,627a 有機農業2,265a、カバークロープ362a</p> <p>○環境保全型農業推進事業 * 565千円 ・中村地域【496千円】 園芸部(13戸)299.8a 品目:ミョウガ、大葉、キュウリ イチゴ部(13戸):168a ・西土佐地域【69千円】 JA高知はた西土佐支所イチゴ部会</p>
【農業AP7】(3)次世代型こうち新施設園芸システムの普及推進						
★次世代型こうち新施設園芸システムの普及推進		<p>○環境制御技術導入加速化事業 炭酸ガス施用装置等導入への支援 7月 事業検討会 8月 事業実施に向けた要望調査 9月 事業補正対応 交付申請 11月 施工開始 対象農家7件 面積:153a 品目:ピーマン7件、きゅうり2件、大葉1件 12月 事業完了</p>	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 生産者	<p>◆環境制御技術を導入する生産者が増加している</p> <p>◆環境制御装置導入農家数 H31:20戸 H27:8戸 H28:7戸</p> <p>◆次世代施設園芸等への誘致企業数 H31:1社 H27:-</p>		<p>○環境制御技術導入加速化事業 * 534千円</p> <p>○県と連携した次世代施設園芸への企業参入企業誘致への取組み -</p>
3. 集落営農の推進						
【農業AP8】(1)集落営農の組織化、法人化の支援						
○組織化に向けた取組みの推進		<p>○組織化への誘導支援 4月～2月 地区座談会(12回) 4月 集落座談会の実施(須崎、津野川) 7月・11月 中村地域集落営農研究会の開催</p> <p>○集落営農支援事業 11月 先進地視察(黒潮町・須崎市) 6組織11名、5集落9名が参加 2月 先進地視察(愛媛県西予市2組織を視察) 6組織9名、6集落10名が参加</p>	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 集落営農組織	<p>◆集落営農組織数 H26:20組織 →H31:25組織 H27:29組織 H28・2月現在:28組織</p> <p>◆農業経営を行う法人数 H26:2法人 →H31:9法人 H27:5法人</p>		<p>○集落営農支援事業(ソフト事業) * 519千円 ・先進地視察(組織化への誘導、既存組織へのフォローアップ・支援)</p> <p>○組織化への誘導 - ・地区座談会 ※地区の現状や将来の課題等、住民が話し合い今後の方向性を検討 ・集落営農研究会の開催(年2回程度)</p> <p>○既存組織へのフォローアップ - ・集落営農組織連絡協議会(年2回程度) 法人化、先進組織の取組み事例紹介 ・組織別座談会 事業導入や法人化に向けた勉強会の開催 ・地元住民との交流 小学校児童との田植えや稲刈り (若藤営農組合・利岡小学校)</p> <p>○農業経営力向上支援 * 800千円 ・集落営農組織の法人化及び組織化支援(3組織)</p>
○フォローアップ体制の充実・強化		<p>○既存組織へのフォローアップ 4月～2月 組織別座談会(中村地域) 事業導入や法人化に向けた勉強会の開催(4組織延べ17回) 6月・10月 地元住民との交流の支援 小学校児童との田植え(若藤営農組合・利岡小学校) 小学校児童との稲刈り(若藤営農組合・利岡小学校) 7月・11月 中村地域集落営農組織連絡協議会の開催 法人化、先進組織の取組み事例紹介や意見交換 7月 西土佐地域集落営農組織連絡協議会の開催 事業導入、協業経営や法人化へ向けた視察研修の実施 6組織11名が参加</p>				

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
農業分野					
【農業AP9】(2)こうち型集落営農の実践	<p>○収益性の高い品目を導入した組織の育成・支援</p> <p>○集落営農支援事業(ハード事業) 組織に対する農業用機械、施設整備の助成 ・農事組合法人入田村 コンバイン、籾摺機 ・西土佐西部営農組合 畦塗機、田植機、コンバイン、乾燥機2台 ・農事組合法人四万十川営農組合 畦塗機、田植機</p> <p>○営農活動の持続・拡充に向けた取り組みの支援 西土佐中央組合機械部会津賀支部において、水稻後作としてナバナの協業栽培への支援</p>	<p>四万十市 (農林水産課・産業建設課) 集落営農組織 JA高知はた 生産者</p>	<p>◆収益性の高い品目を導入する組織が育成させられている</p>		<p>○集落営農支援事業(ハード事業) * 23,983千円 組織に対する農業用機械、施設整備の助成 ・農事組合法人入田村 農業用倉庫【11,767千円】 乾燥機2台【4,202千円】 ・農事組合法人わらびおか 籾摺機【760千円】、色彩選別機【3,480千円】 ・山路営農組合 乾燥機【1,627千円】 ・ふあーむ菰ヶ市 乾燥機【1,253千円】 ・にしとさすさき営農組合 籾摺機、自動選別計量機【894千円】</p> <p>○営農活動の持続・拡充に向けた取り組み支援の継続 -</p>
4. 生産・出荷支援システムの構築					
【農業AP10】(1)農作業支援体制の充実	<p>★農作業支援体制の整備</p> <p>○農作業支援隊による農業労働力確保事業 (事業主体:JA高知はた) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 9月 下半期からの事業拡大に向けて、市、JA、関係機関との協議 10月～3月 農作業支援隊による農業労働力確保事業 ・事業計画 無料職業紹介:求職者数60、求人数48、マッチング件数40 農作業支援チーム:堆肥散布100t、作業支援30人役 WCS収穫・梱包800a 育苗:ブロッコリー100枚、ニラ3,000枚</p>	<p>四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知はた</p>	<p>◆無料職業紹介所 H26:1箇所 (北幡地域(西土佐)) →H31:2箇所 (幡東地域(中村)を増設) H27:1箇所 H28:2箇所</p>		<p>○農作業支援隊による農業労働力確保事業 * 3,720千円 (事業主体:JA高知はた) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 ・無料職業相談所運営 農作業求人者と求職者のマッチング、フォローアップ ・作業支援チーム運営 農作業受託(堆肥散布、野菜・果樹収穫等)、機械リース</p>
【農業AP11】(2)集出荷支援体制の充実	<p>★集出荷拠点施設の設定、整備</p> <p>○集出荷の支援</p> <p>○中山間地域生活支援総合事業(富山地域) 農産物の集出荷や生活支援にかかる人件費、燃料費等への支援 4月～12月 集出荷実績 利用者:33名 件数:1,090件(集出荷1,024、生活支援66) 【再掲】 ○ぶしゅかん産地化・普及推進事業(中村地域) 地方創生推進交付金を活用 8月～10月 集出荷支援(人件費等への補助) ※収穫体制として多機能事業所「アオ」と連携 【再掲】 ○中山間地域集出荷支援事業(西土佐地域) (事業主体:JA高知はた) 地方創生推進交付金を活用 6月～ 粟をはじめ園芸作物等の集出荷を円滑に推進 7品目</p>	<p>四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知はた 大川筋振興組合 東富山を守る会</p>	<p>◆生産・出荷支援システム取組件数 H26:5件 →H31:5件(維持) H27:5件</p>		<p>○農産物の集出荷や生活支援を継続実施 (実施主体:富山地域) ・中山間直接支払制度を活用 【再掲】 ○ぶしゅかん産地化推進事業 【5,447千円】 地方創生推進交付金を活用 ・集出荷支援事業【1,015千円】 (四万十ぶしゅかん生産者組合) 【再掲】 ○四万十粟生産・加工・販売促進再生事業 【1,549千円】 (実施主体:株式会社美野里) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 ・粟の集出荷、縮間伐、新改植、加工機器整備等</p>



四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
農業分野	<p><b>【再掲】</b> ○四万十栗生産・加工・販売促進再生事業 (事業主体:株しまんと美野里) <b>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</b> 9月～ 集出荷支援 2.0t <b>【商工業分野と共通】</b> ○地域商社「株西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よつて西土佐」関連) (実施主体:株西土佐ふるさと市) <b>地方創生加速化交付金を活用</b> ・集出荷支援及び農産物の供給 週1回の農産物集荷 給食C、診療所、特養等への食材供給 ・道の駅地域産品開発等特別対策事業 ミニハウステンタル事業(3棟)</p>		<p>◆ミニハウステンタル事業実績 (3ヶ年事業) H26:3棟、H27:3棟 H28:3棟</p>		<p><b>【再掲】</b> ○園芸作物等の集出荷を継続実施(西土佐地域) (実施主体:JA高知はた) <b>【再掲:商工業分野と共通】</b> ○地域商社「株西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よつて西土佐」関連) (実施主体:株西土佐ふるさと市) <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・地域商社「株西土佐ふるさと市」を核とした産地化促進 ・地域商社「株西土佐ふるさと市」を核とした商品開発</p> <p>【29,292千円】</p>
<b>2 地元農畜産物の利用・販売促進</b>					
1. 地元農畜産物の利用促進					
<b>【農業AP12】(1)地元消費拡大に向けた取組みの強化</b>					
◎公共施設での利用促進	<p>○西土佐地域地産地消推進協議会 5月 第1回協議会 学校、宿泊施設、医療福祉施設等の給食材料として提供できる栽培体制の構築について協議 7月 協議会メンバーで現地視察と作付指導を実施 8月 生産者を対象とした栽培講習会を開催 11月 第2回協議会(学校給食等への食材供給検討等) 2月 生産者を対象とした栽培講習会を開催 2月 第3回協議会(学校給食等への食材供給検討等)  ○環境にやさしい農業のための研究会 学校給食への農産物供給 ※H28.4月～スクールミールぐどうへの農産物供給開始 11月 食育の推進(農業収穫体験・野菜勉強会) 東山小学校・東中筋小学校</p>	<p>四万十市 (農林水産課・産業建設課・観光商工課)  環境にやさしい農業のための研究会  JA高知はた 株西土佐ふるさと市 生産者</p>	<p>◆学校給食への市内農産物(野菜類)の供給率 H26:64.8%→H31:—% H27:62.6% ※目標値は、中学校給食の開始、実施状況により後年度において設定  ◆産業祭来場者数 H25:2,000人 → H31:20,000人 H27:12,500人</p>		<p>○西土佐地域地産地消推進協議会の開催 ・公共施設への食材提供、生産者への栽培講習等について協議し年間計画を策定  ○環境にやさしい農業のための研究会 ・学校給食への農産物供給 <b>【再掲】</b> ○農産物ブランド化事業(四万十農法米普及促進) (事業主体:JA高知はた) <b>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</b> ・商談会、販促キャンペーン ・シュリンク包装機の導入 <b>【再掲】</b> ○農産物ブランド化事業(四万十農法米普及促進) <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・東京、大阪での商談会等への参加 ・各種PRイベントの実施 ・商標登録</p> <p>【662千円】</p>
★連携ネットワーク形成 ★地産地消認証店制度 ◎市内量販店等を拠点とした販路拡大	<p><b>【再掲】</b> ○四万十農法米の推進 ※県農業基準の5割以上低減及び化学肥料の低減による栽培米 5月 市内飲食店への営業(4店舗) 8月 市内飲食店へ試供品の配付 2店舗で取り扱い開始 精米施設導入検討会(1回目) 9月 精米施設導入検討会(2回目) 10月 精米施設導入検討会(3回目) 枚方市物産展出品 11月 H29年度販売計画協議(JA) 市内飲食店取り扱い1店舗追加</p>		<p>◆有望品目、新規導入作物の認知度向上に繋がっている</p>		<p><b>【再掲:商工業分野と共通】</b> ○地域商社「株西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よつて西土佐」関連) (実施主体:株西土佐ふるさと市) <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・地域商社「株西土佐ふるさと市」を核とした産地化促進 <b>【再掲:各分野共通】</b> ○西土佐産業祭の開催</p> <p>【29,292千円】</p> <p>【660千円】</p>



四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
農業分野					
★地元消費拡大フェアの開催	<p><b>【商工業分野と共通】</b></p> <p>○ナスフェス開催(道の駅よって西土佐) 6月、8月 JA部会主体による米ナス、小ナス、いごっそうナスの試食PR販売</p> <p>○農産物フェアの開催(道の駅よって西土佐) 道の駅で、毎月旬の農産物をクローズアップし、「旬の野菜のフェア」を開催している。 GWTマト、6月なす、7月ウリ、8月なす、9月栗、10月ゆず、11月新米、12月感謝祭、1月初売り、2・3月ひなまつり</p> <p><b>【再掲】</b></p> <p>○ぶしゅかん産地化・普及推進事業 8月 四万十ぶしゅかんPR活動 普及活動に活用できる四万十ぶしゅかんPVが閲覧できる QRコード入のポスター及びリーフレットを作成しPR</p>				
<b>【農業AP13】(2)直販機能の強化</b>					
<p>○直販所機能の強化</p> <p>★道の駅「よって西土佐」の整備・機能強化</p>	<p>○農林水産物直販所「安心係」養成講習会(7月) 情報発信、農産物管理、農薬適正使用、食品表示、衛生管理</p> <p><b>【商工業分野と共通】</b></p> <p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) (実施主体:(株)西土佐ふるさと市) <b>地方創生加速化交付金を活用</b></p> <p>テストマーケティング、試食会、デザイナー招致等による商品の磨き上げ、新商品開発、ブランディング等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品開発、ブラッシュアップ、テストマーケティング</li> <li>10月25日、11月25日、12月15日とWSを3回実施し、2月に松山市大街道及びよって西土佐まつやまでテストマーケティングを実施</li> <li>・月1回「旬の野菜のフェア」実施(試食会等)</li> <li>・水産物販売促進事業(あゆ市場)</li> <li>・地のモノを使ったスイーツ販売促進事業(ストローベイル)</li> <li>・地産地消 <ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物栽培計画指導(栽培講習会実施等)</li> <li>・集出荷支援及び農産物の供給 <ul style="list-style-type: none"> <li>週1回の農産物集荷</li> <li>給食C、診療所、特養等への食材供給</li> </ul> </li> <li>・道の駅地域産品開発等特別対策事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>食品加工開発等支援(事業実施5件)</li> <li>ミニハウスレンタル事業(3棟)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・地域住民の居場所づくり(図書に親しむフェア開催ほか) <ul style="list-style-type: none"> <li>8月 道の駅よって西土佐で子ども教室を実施(3回)</li> <li>12月 西土佐小学校総合学習 高齢者の各種教室を実施</li> </ul> </li> <li>・広域観光拠点機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>4月 デジタルサイネージ導入</li> <li>10月 おもてなし意識の醸成とインバウンド対応のスキルアップ研修を実施(先進地研修)</li> <li>3月 おもてなし研修の実施</li> </ul> </li> </ul>	<p>四万十市 (農林水産課・産業建設課) 直販所</p>	<p>◆農林水産物等直販所販売額 H25:11億5,600万円 → H31:13億円 H26:11億8,900万円</p> <p>◆道の駅「よって西土佐」入込客数 →H31:13万人</p> <p>◆食品加工開発等支援(3ヶ年事業) H26(5件)、H27(5件) H28(5件)</p> <p>◆ミニハウスレンタル事業実績(3ヶ年事業) H26:3棟、H27:3棟 H28:3棟</p>		<p><b>【商工業分野と共通】</b></p> <p>○農林水産物直販所「安心係」養成講習会への参加 ・情報発信、農産物管理、農薬適正使用、食品表示、衛生管理講習</p> <p><b>【再掲:商工業分野と共通】</b></p> <p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) <b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <p>(実施主体:(株)西土佐ふるさと市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした産地化促進</li> <li>・地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした商品開発</li> <li>・クラウドファンディング</li> <li>・地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした外商活動</li> </ul> <p><b>【再掲:商工業分野と共通】</b></p> <p>○地域おこし協力隊経費 ・道の駅2名配置</p>

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
農業分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファン交流会の実施(クラウドファンディングは次年度へ継続) 都市圏でのファン交流会の実施。CROSSTOKYOとの共催</li> <li>・道の駅連携による販売促進 6月 R381道の駅関係者との交流会実施(よって西土佐) 9月 ±41℃交流準備会(出店:よって西土佐) 旭川市の商品を道の駅で販売 9月 北の恵みうまいものマルシェ2016(旭川市)に出店 (よって西土佐・ぼっぼ栗・あゆ市場) 12月 道の駅「あさひかわ」物産展に出展(よって西土佐)</li> <li>・外商活動 各スーパー等とのバイヤーと協議し、生鮮野菜を店頭で陳列(実績22店舗) 22店舗のうちフジ北浜店・フジ大洲店・ダイキ野市店に「道の駅よって西土佐の産直コーナー」を設置し、県内マルナカ19店舗において「いごっそうなす」の販売。その後協議調整を行い、マルナカ19店舗では生鮮野菜全般に拡大され、サンシャイン21店舗の店頭の太陽市において、産直コーナーが設置された。 サンプラザにおいては、流域の道の駅が一堂に集い、道の駅フェアを2回開催した。</li> <li>・百貨店バイヤー等招致研修会 11月7日羽田エクセルホテル東急シェフ等との研修会 1月12日CROSSTOKYOシェフ等との研修会</li> <li>・サテライトショップ よって西土佐まつやま 10月 オープン 週5日営業(日・火・水・金・土・日) 11月 よって西土佐まつやまが企画した四万十ツアーに7名が参加 12月 年末の餅つき実施</li> <li>・地域おこし協力隊事業(道の駅2名配置)</li> </ul>				
2. ブランド化の確立と販売促進					
【農業AP14】(1)ブランド化の推進					
◎戦略品目のブランド化	<ul style="list-style-type: none"> <li>【再掲】 ○ぶしゅかん産地化・普及推進事業 地方創生推進交付金を活用 9月 ぶしゅかん青玉キャンペーン 首都圏の高級スーパー、百貨店(延べ6箇所)で配布、加工品の試食等を実施</li> <li>【再掲】 ○ぶしゅかんPRの取組み 6月～7月 ぶしゅかんTV-CM展開 (実施主体:四万十ぶしゅかん(株))</li> <li>【再掲】 ○「四万十ゆず」の地域団体商標登録に向けた取組みの推進 (事業主体:JA高知はた ※H29年度出願予定) 認知度向上に向けた取組実施(「四万十ゆず」と段ボールに記載する等)</li> </ul>	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知はた 生産者 事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆四万十農法米栽培面積 →H31:20ha H27:4戸 120a H28:10戸 277a</li> <li>◆四万十農法米生産量 →H31:88.4t H27:4,920kg H28:11,940kg</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>【再掲】 ○ぶしゅかん産地化推進事業 <b>【5,447千円】</b> 地方創生推進交付金を活用 ・都市圏の百貨店等でぶしゅかんのブランディングキャンペーンの展開</li> <li>【再掲】 ○ぶしゅかん普及推進事業 <b>【5,090千円】</b> 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 ・TV-CM制作【400千円】 (四万十ぶしゅかん(株))</li> <li>【再掲】 ○「四万十ゆず」の地域団体商標登録に向けた取組みの推進(事業主体:JA高知はた) ・「四万十ゆず」の名称で青果の出荷販売 (H29年度取得予定)</li> </ul>

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
農業分野 ★40010日プロジェクト	○農産物のブランド化事業 地方創生推進交付金を活用 「四万十農法米」の推進 ※県農業基準の5割以上低減及び化学肥料の低減による栽培米 ○40010日プロジェクト 4月 プロジェクト関連業務打合せ(1回目) 5月 プロジェクト関連業務打合せ(2回目) 平成27年産四万十農法米売上の一部を寄付 市内飲食店への営業(4店舗) 新生児への農法米プレゼント開始(新聞2社掲載) 精米施設整備に向けた協議(第1回) 8月 市内飲食店へ試供品の配付 9月 プロジェクト関連業務委託契約 精米施設整備に向けた協議(第2回) 10月 プロジェクトデザイン完成 精米施設導入検討会(3回目)		○四万十農法米 4月 平成28年産コシヒカリ栽培開始(7名 190a) 浅水代掻き講習会(早生) 5月 浅水代掻き講習会(中生) 6月 平成28年産ヒノヒカリ栽培開始(3名 87a) 8月 コシヒカリ収穫(早生) 早生販売開始 10月 ヒノヒカリ収穫(中生) 11月 パッケージデザイン完成 H29年度販売計画検討 12月 H29年産米生産計画作成		○農産物ブランド化事業(四万十農法米普及促進) * 662千円 (事業主体:JA高知はた) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 ・商談会、販促キャンペーン ・シュリンク包装機の導入 ○農産物ブランド化事業(四万十農法米普及促進) * 780千円 地方創生推進交付金を活用 ・東京、大阪での商談会等への参加 ・各種PRイベントの実施 ・商標登録 ・生産面積の拡大…H28:277a → H29:600a ・生産量の増加…H28:11.9t → H29:23.4t ・新パッケージデザインで販売 ・新米キャンペーン ・販売促進活動…帰省客への販売イベント
【農業AP15】(2)地元農畜産物を使った商品の開発・販売					
○地元農畜産物を使った商品の開発 ◎意欲的な生産者への支援 ★産業間連携や広域連携による外商活動 ○商談会等販路開拓・拡大の支援	【商工業分野と共通】 ○地域の頑張る人づくり事業 (事業主体:四万十市地域商品研究会) マーケティングや販路開拓等に関する研修を行い効果的な外商活動を企画・展開できる人材育成を図る。 ・研修実施及び研修テーマ(実績:7回) 5月 これからの売上げづくりの考え方 7月 マーケティング戦略の考え方 9月 四万十ブランドを利用した販売戦略 10月 品質向上の考え方と商品開発の考え方 11月 ソーシャルメディア活用術 1月 知的財産セミナー 3月 ソーシャルメディアの活用術 【再掲:商工業分野と共通】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) (実施主体:(株)西土佐ふるさと市) 地方創生加速化交付金を活用 ・新商品開発、ブラッシュアップ、テストマーケティング 10月25日、11月25日、12月15日とWSを3回実施し、2月に松山市大街道及びよって西土佐まつやまでテストマーケティングを実施 ・地のモノを使ったスイーツ販売促進事業(ストローペイル) ・道の駅地域産品開発等特別対策事業 食品加工開発等支援(事業実施5件) ミニハウステンタル事業(3棟) ・広域観光拠点機能 4月 デジタルサイネージ導入 10月おもてなし意識の醸成とインバウンド対応のスキルアップ研修を実施(先進地研修)	四万十市 (農林水産課・産業建設課・観光商工課) 生産者 事業者	◆一次産品等を活かした新商品の開発 →H31:15アイテム H27:25アイテム ※農畜産物加工品以外を含む ◆商談会等での商談件数 H26:108件/年 → H31:150件/年 H27:134件/年 ※農畜産物加工品以外を含む ◆食品加工開発等支援 (3ヶ年事業) H26(5件)、H27(5件) H28(5件) ◆ミニハウステンタル事業実績 (3ヶ年事業) H26:3棟、H27:3棟 H28:3棟	【再掲:商工業分野と共通】 ○地域の頑張る人づくり事業補助金 1,240千円 【1,240千円】 (事業主体:四万十市地域商品研究会) ・市内事業者が連携、参画し、専門アドバイザーを招致してのスキルアップ研修を実施 ・研修テーマ:海外市場での販路開拓に必要な知識の習得 ・研修期間等:平成29年5月～12月(全6回を予定) 【再掲:商工業分野と共通】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) 【29,292千円】 (実施主体:(株)西土佐ふるさと市) 地方創生推進交付金を活用 ・地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした産地化促進 ・地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした商品開発 ・地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした外商活動 【再掲:水産業・商工業・観光分野と共通】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 【408千円】 地方創生推進交付金を活用 ・「四万十の食研究会」における活動の継続 地域の食に関する研究を継続し、食に関する取り組みを地域の状況に沿ったものへの磨き上げ(アドバイザー招致等)	

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
農業分野	<p>3月 おもてなし研修の実施                      ・道の駅連携による販売促進</p> <p>6月 R381道の駅関係者との交流会実施(よって西土佐)</p> <p>9月 ±41℃交流準備会(出店:よって西土佐)                      旭川市の商品を道の駅で販売</p> <p>9月 北の恵みうまいものマルシェ2016(旭川市)に出店                      (よって西土佐・ぼっぼ栗・あゆ市場)</p> <p>12月 道の駅「あさひかわ」物産展に出展(よって西土佐)</p> <p>・外商活動                      各スーパー等とのバイヤーと協議し、生鮮野菜を店頭で陳列(実績22店舗)</p> <p>22店舗のうちフジ北浜店・フジ大洲店・ダイキ野市店に「道の駅よって西土佐の産直コーナー」を設置し、県内マルナカ19店舗において「いごっそうなす」の販売。その後協議調整を行い、マルナカ19店舗では生鮮野菜全般に拡大され、サンシャイン21店舗の店頭の太陽市において、産直コーナーが設置された。                      サンプラザにおいては、流域の道の駅が一堂に集い、道の駅フェアを2回開催した。</p> <p>・百貨店バイヤー等招致研修会                      11月7日羽田エクセルホテル東急シェフ等との研修会                      1月12日CROSSSTOKYOシェフ等との研修会</p> <p>・サテライトショップ よって西土佐まつやま                      10月 オープン                      週5日営業(日・火・水・金・土・日)</p> <p>11月 よって西土佐まつやまが企画した四万十ツアーに7名が参加</p> <p>12月 年末の餅つき実施</p> <p>【商工業分野と共通】</p> <p>○地産外商促進                      6月 観光・物産展in大阪海遊館                      9月 ぶしゅかん青玉キャンペーン                      (渋谷東急・福島屋六本木店)</p> <p>【商工業分野と共通】</p> <p>○四万十市ふるさと応援団事業                      地元産品及び観光のPR、販売促進                      5月 関東幡多四万十会(東京)</p> <p>【商工業分野と共通】</p> <p>○四万十フェア開催(幡多広域地産外商推進協議会)                      10月 岡山マルイ(津山市)にて幡多フェア開催                      12月～1月 土佐清水ワールド(神戸)で幡多フェア開催                      2月 (株)ワールド・ワンと幡多6市町村との間で連携協定締結                      3月 幡多地域の食材をメインに使用する土佐清水ワールド幡多バル(洋風居酒屋)が神戸市でオープン</p> <p>【商工業分野と共通】</p> <p>○特産品等販売促進事業【交付決定額:1,661千円】                      (実施主体:四万十市地域商品研究会)                      四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</p> <p>11月 海外でのフェア出展(高知県物産展in台湾) 2業者出展                      2月 グルメ&amp;ダイニングスタイルショー(東京ビックサイト) 3業者出展                      スーパーマーケットトレードショー(幕張メッセ) 3業者出展</p>				<p>【再掲:商工業分野と共通】</p> <p>○四万十フェア開催 <span style="float:right">【621千円】</span>                      地方創生推進交付金を活用                      ・東京、岡山、近畿、九州地方で地域産品のPR、販売フェアを実施</p> <p>【再掲:農業・水産業・商工業と共通】</p> <p>○枚方市・四万十市友好都市交流物産展 <span style="float:right">-</span>                      (実施主体:枚方市・四万十市友好都市推進協議会)                      ・枚方物産展への出展</p> <p>【再掲:商工業分野と共通】</p> <p>○特産品等販売促進事業(商談会出展) <span style="float:right">【3,096千円】</span>                      地方創生推進交付金を活用                      ・市内特産品販売促進のため、大規模商談会へ出展支援                      スーパーマーケットトレードショー                      東京インターナショナルギフトショー</p> <p>【再掲:商工業分野と共通】</p> <p>○大手居酒屋チェーンや県内外の飲食店への販促 <span style="float:right">-</span>                      ・地元農産物を活用した加工品等を紹介し取引を進める                      ・土佐清水ワールド幡多バルオープン予定                      6月:高知市 9月:東京都新宿区</p> <p>【再掲:商工業分野と共通】</p> <p>○幡多広域地産外商推進協議会負担金 <span style="float:right">【50千円】</span>                      地方創生推進交付金を活用                      ・幡多6市町村共同による外商活動を展開</p> <p>【再掲:商工業分野と共通】</p> <p>○地産外商促進事業(西土佐地域) <span style="float:right">【463千円】</span>                      ・ピールトロッコ【6千円】                      ・ふるさとまつり【333千円】                      ・幡多フェア【33千円】                      ・枚方物産展【33千円】                      ・大丸フェア春、冬【28千円】                      ・その他【30千円】</p>



四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
<b>農業分野</b>					
	<p><b>【商工業分野と共通】</b>                      ○産地視察型商談会の開催                      四万十町で開催されたため未実施。来年度幡多広域地産外商協議会で実施を検討。</p> <p><b>【水産業、商工業分野と共通】</b>                      ○地産外商促進                      7月・8月 JR四国ビールトロッコ 車内販売(綾西土佐ふるさと市ほか)                      10月 フェスティバル土佐ふるさとまつり(高知市)                      12月 高知大丸「冬の味覚祭」出店(山間屋ほか)                      3月 高知大丸「春の味覚祭」出店(山間屋ほか)</p> <p>○枚方市・四万十市友好都市交流物産展                      11月 枚方市交流物産展開催 10業者出店</p> <p><b>【再掲:水産業・商工業・観光業分野と共通】</b>                      ○食の魅力を活かした地域振興事業  <b>地方創生加速化交付金を活用</b>                      12月～「四万十の食研究会」を設立し、地域の食材、食文化の掘起しと磨き上げ、「四万十の食」の開発(アドバイザー招致等)                      月1回ワークショップの開催                      (12月第1回、1月第2回、2月第3回、3月第4回)</p>				
<b>3. 有機農業の推進</b>					
<b>【農業AP16】(1)有機農産物の販路開拓・拡大</b>					
<p>◎有機農産物の流通促進</p> <p><b>【再掲】</b>                      ◎公共施設での利用促進</p>	<p>○環境にやさしい農業のための研究会の支援                      5月 四万十こだわり物産市(藤祭り)への参加PR                      11月 枚方市・四万十市都市交流物産展等へ出展PR</p> <p><b>【再掲】</b>                      ○西土佐地域地産地消推進協議会                      5月 第1回協議会                      学校、宿泊施設、医療福祉施設等の給食材料として提供できる栽培体制の構築について協議                      7月 協議会メンバーで現地視察と作付指導を実施                      8月 生産者を対象とした栽培講習会を開催                      11月 第2回協議会(学校給食等への食材供給検討等)                      2月 生産者を対象とした栽培講習会を開催                      2月 第3回協議会(学校給食等への食材供給検討等)</p> <p><b>【再掲】</b>                      ○環境にやさしい農業のための研究会                      学校給食への農産物供給                      ※H28.4月～スクールミールぐどうへの農産物供給開始                      11月 食育の推進(農業収穫体験・野菜勉強会)                      東山小学校・東中筋小学校</p>	<p>四万十市                      (農林水産課・産業建設課)</p> <p>環境にやさしい農業のための研究会                      高知県(農業振興センター)                      西土佐地域地産地消推進協議会</p>	<p>◆四万十川のブランドイメージにマッチした有機農業が推進され、消費者からの支持が集まり、農産物の高付加価値が高まっている</p> <p>◆学校給食への市内農産物(野菜類)の供給率                      H26:64.8%→H31:-%                      H27:62.6%</p> <p>※目標値は、中学校給食の開始、実施状況により後年度において設定</p>		<p>○環境にやさしい農業のための研究会の支援                      ・公家行列(物産市)、枚方市・四万十市都市交流物産展等へ出展PR                      ・商談会への出展</p> <p><b>【再掲】</b>                      ○西土佐地域地産地消推進協議会の開催                      ・公共施設への食材提供、生産者への栽培講習等について協議し年間計画を策定</p> <p><b>【再掲】</b>                      ○環境にやさしい農業のための研究会                      ・学校給食への農産物供給</p>
<b>【農業AP17】(2)有機農業の普及・啓発活動の推進</b>					
<p>○有機農業の普及・啓発</p>	<p><b>【再掲】</b>                      ○有機農業等総合支援事業                      4月～9月 ・中村地域 申請件数23件 203千円                      ・西土佐地域 申請件数13件 58千円</p>	<p>四万十市                      (農林水産課・産業建設課)</p> <p>環境にやさしい農業のための研究会</p>	<p>◆四万十川のブランドイメージにマッチした有機農業が推進され、消費者からの支持が集まり、農産物の高付加価値が高まっている</p>		<p><b>【再掲】</b>                      ○有機農業等総合支援事業 <b>【700千円】</b>                      ・化学肥料に頼らない土作りのため、市内の家畜ふん堆肥や有機物堆肥の施用にかかる経費やその散布を支援し、循環型農業を推進</p>

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野		平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン 主要内容						
農業分野		○環境にやさしい農業のための研究会との連携協議 5月～ 事業推進等における関係機関との検討、協議(理事会・総会等) 構成:生産者等、市、JA高知はた、県農業振興センター、県西部家畜保健衛生所	生産者	◆有機農業等総合支援事業実施面積 H26:11.5ha →H31:12ha H27:18.8ha		【再掲】 ○集落営農支援事業(ソフト事業) <b>【519千円】</b> ・先進地視察(組織化への誘導、既存組織へのフォローアップ・支援) ○環境にやさしい農業のための研究会との連携 —
3 担い手の確保・育成						
1. 新規就農者の確保・育成						
【農業AP18】(1)新規就農者の研修支援						
○新規就農者の確保・育成	○新規就農研修支援事業 ・受入農家 4月～ 研修生3名受入 (うち1名が8月から施設園芸で就農開始) 5月～ 研修生1名 12月～ 研修生1名採用 ・四万十農園あぐりっこ 12月～ 研修生1名 ・西土佐農業公社 4月～ 研修生2名	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 四万十農園あぐりっこ 西土佐農業公社 JA高知はた	◆新規就農者数 H31:3人/年 H27:3人/年		○新規就農研修支援事業 * 3,700千円 ・研修生手当、受入農家等研修補助金 受入農家:5件、あぐりっこ:2件 H29就農予定者3名(受入農家2、あぐりっこ1) ○四万十農園あぐりっこ運営費 * 9,387千円 ○営農指導拠点施設(西土佐農業公社)運営費 * 13,611千円 ・営農指導拠点施設管理 ・研修生受入れ(2名) ○農地の斡旋 — ・空き農地、ハウス情報収集(中村地域) ・JA、県、市で役割分担を行い空きハウスのマッチングを実施(西土佐地域)	
◎新規就農者に対する農地提供促進	○農地の斡旋 ・空きハウス情報提供(中村地域) ・空きハウスと農業者のマッチング方法の協議(西土佐地域)					
【農業AP19】(2)新規就農支援体制の拡充						
○相談支援体制の充実 ○経営安定への支援	○就農相談・経営安定化支援 ・新農業人フェア出展 6月 大阪 面談6件 7月 東京 面談8件 9月 東京 面談8件 1月 大阪 面談12件(1名来市、相談継続) ・就農支援チームによるトータルサポート 経営計画作成支援、就農相談(6件)、就農支援	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 四万十農園あぐりっこ 西土佐農業公社 JA高知はた	◆新規就農者数 H31:3人/年 H27:3人/年		○青年等就農給付金事業 * 25,181千円 ・就農相談会への参加 新農業人フェア出展(東京1回、大阪1回) ・就農初期段階の青年就農者への経営支援 継続対象者:10名、新規対象者:6名 【再掲】 ○レンタルハウス整備事業 <b>【22,416千円】</b> ・新規就農ハウス1棟(1,500㎡、鍋島)【8,800千円】 ○就農相談・経営安定化支援 — ・就農支援チームによるトータルサポート 営農指導、経営指導、事業導入、資金利用計画等 ○中山間農業複合経営拠点整備事業 * 1,870千円 ・先進地視察 ・移動式雨よけハウス(1棟・10a)【1,102千円】 事業費1,652千円×2/3 ・歩行半自動野菜移植機整備【468千円】 事業費702千円×2/3	
◎就農開始時の支援	【再掲】 ○レンタルハウス整備事業(新規就農者) 4月 資金計画支援協議 5月 レンタルハウス整備事業地域協議会 9月 新規就農者用ハウス完成予定(2,820㎡、鍋島) 1月 次年度事業予定者支援 ○認定新規就農者支援 6月 青年等就農計画審査会 1月 次年度事業予定者支援 2月 人・農地プランへの登録協議 ・認定新規就農者数2名(H28) ○青年就農給付金事業 経営が不安定な就農初期段階の青年就農者への経営支援 8月 青年就農給付金開始型受給者サポート 受給者15名の現地確認(中村12名、西土佐3名)				○中山間複合経営拠点支援事業の活用 ・移動式雨よけ栽培設備(雨よけハウス)を導入し、研修修了生にリースを行い雨よけ米ナス栽培を行うことで、新規就農者の早期自立を図	

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野		平成28年度の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
戦略の柱	アクションプラン 主要内容					
施策						
農業分野		1月 次年度事業予定者支援 3月 青年就農給付金開始型受給者サポート 受給者11名の現地確認(中村12名、西土佐3名)  ○中山間農業複合経営拠点整備事業 ・中山間地域の農業の競争力を高め、地域農業の維持・活性化を図るため(公財)四万十市西土佐農業公社を中山間複合経営拠点と位置づけ、中山間農業を支える仕組みを構築。  6月 キックオフセミナー(高知) 6月 ブロック別セミナー1回目(幡多) 取組エリアの設定、経営構想、現状把握を行う。 7月 ブロック別セミナー2回目(幡多) 具体的な事業内容、経営収支計画等作成 8月 市、県、公社による協議 8月 ブロック別セミナー3回目(幡多) 最終的な事業構想の策定 10月 ブラッシュアップセミナー(幡多) 11月 市、県、公社による協議 12月 現地視察研修(嶺北コース) 2月 事業計画書作成 3月 移動式雨よけ栽培設備(10a分)納入 (4月に西土佐須崎地区に整備予定)				
【農業AP20】(3)移住促進による新規就農支援						
○移住就農者の誘致活動の強化 ○Iターン(夫婦就農)者に対する支援拡充	<b>【再掲】</b> ○新・農業人フェア出展 6月 大阪 面談6件 7月 東京 面談8件 9月 東京 面談8件 1月 大阪 面談12件(1名来市、相談継続)	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 四万十農園めぐりっこ 西土佐農業公社 JA高知はた	◆新規就農者数 H31:3人/年 H27:3人/年 ※移住夫婦研修者含む	<b>【再掲】</b> ○青年等就農給付金事業 ・就農相談会への参加【270千円】 新農業人フェア出展(東京1回、大阪1回)	【25,181千円】	
2. 認定農業者等の育成						
【農業AP21】(1)認定農業者制度の周知強化						
○今後育成すべき農業者の把握、誘導	○人農地問題加速化支援事業 2月～3月 人・農地プラン地区座談会等で中心経営体の経営状況を把握し誘導  ○認定農業者への誘導 10月、2月 再認定者の農業経営改善計画作成支援にあわせて可能性のある農家を個別に誘導	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知はた	◆認定農業者数 H25:127人 →H31:150人 H27:135人	○人・農地問題解決加速化支援事業【153千円】 * 153千円 ・人・農地プラン地区座談会等で中心経営体の経営状況を把握し誘導しプランの見直しを行う  ○認定新規就農者の5年経過した者を認定農業者へ誘導 -  ○経営所得安定対策推進事業 * 3,174千円 ・経営所得安定対策受付時やJA水稲生産部でナラン対策希望者を誘導  ○新規就農者への制度説明(随時) -		
○認定農業者制度の周知徹底	○新規就農者への制度説明(随時) 4月～9月 就農相談時(4件)					

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
<b>農業分野</b>					
【農業AP22】(2)認定農業者等のフォローアップの強化  ◎認定農業者等のフォローアップの強化	○認定農業者のフォローアップ 5月 再認定者の農業経営改善計画作成支援(西土佐9件) 5~6月 H26新規認定者と個別に面談(中村25件) 10月 H26新規認定者と個別に面談(中村15件、西土佐1件) 再認定者の農業経営改善計画作成支援(中村5件) 11月 全国担い手サミット(岐阜)へ参加(9名) 12月 税理士による経営研修会・納税相談会開催 中村地域認定農業者連絡協議会総会開催 西土佐地域認定農業者連絡協議会総会開催 中村・西土佐地域認定農業者合同懇談会 1月 再認定者の農業経営改善計画作成支援(西土佐3件) 高知県担い手サミット(高知市)へ参加 2月 再認定者の農業経営改善計画作成支援(中村10件) ○スーパーL資金利子補給 8月 スーパーL資金上半期利子補給(2件) 2月 スーパーL資金下半期利子補給(1件)	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知はた 高知県(幡多農業振興センター)  認定農業者連絡協議会	◆認定農業者数 H25:127人 →H31:150人  H27:135人		○担い手育成・確保対策事業 * 998千円 ・認定農業者のフォローアップ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         担い手関連事業の情報提供                          再認定者の農業経営改善計画作成支援                          認定農業者連絡協議会の開催                          全国担い手サミットinこうちへの参加・協力                          税理士による認定農業者対象の納税相談会の開催                          県担い手サミット参加                     </div> ○農業後継者育成支援(西土佐地域) * 70千円 ・評議会において農業後継者育成のための各種事業の検討及び実施  ○農業経営基盤強化資金(スーパーL資金)利子補給 * 22千円
【再掲】 3. 集落営農の推進					
【農業AP8】(1)集落営農の組織化、法人化の支援  ○組織化に向けた取組みの推進  ◎フォローアップ体制の充実・強化	○組織化への誘導支援 4月~2月 地区座談会(12回) 4月 集落座談会の実施(須崎、津野川) 7月・11月 中村地域集落営農研究会の開催  【再掲】 ○集落営農支援事業 11月 先進地視察(黒潮町・須崎市) 6組織11名、5集落9名が参加 2月 先進地視察(愛媛県西予市2組織を視察) 6組織9名、6集落10名が参加  ○既存組織へのフォローアップ 4月~2月 組織別座談会(中村地域) 事業導入や法人化に向けた勉強会の開催(4組織延べ17回) 6月・10月 地元住民との交流の支援 小学校児童との田植え(若藤営農組合・利岡小学校) 小学校児童との稲刈り(若藤営農組合・利岡小学校) 7月・11月 中村地域集落営農組織連絡協議会の開催 法人化、先進組織の取組み事例紹介や意見交換 7月 西土佐地域集落営農組織連絡協議会の開催 事業導入、協業経営や法人化へ向けた視察研修の実施 6組織11名が参加	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 高知県(農業振興センター) JA高知はた 集落営農組織	◆集落営農組織数 H26:20組織 →H31:25組織 H27:29組織  ◆農業経営を行う法人数 H26:2法人 →H31:9法人 H27:5法人		【再掲】 ○集落営農支援事業(ソフト事業) 【519千円】 ・先進地視察(組織化への誘導、既存組織へのフォローアップ・支援)  【再掲】 ○組織化への誘導 - ・地区座談会 ※地区の現状や将来の課題等、住民が話し合い今後の方向性を検討 ・集落営農研究会の開催(年2回程度)  【再掲】 ○既存組織へのフォローアップ - ・集落営農組織連絡協議会(年2回程度) 法人化、先進組織の取組み事例紹介 ・組織別座談会 事業導入や法人化に向けた勉強会の開催 ・地元住民との交流 小学校児童との田植えや稲刈り(若藤営農組合・利岡小学校)  【再掲】 ○農業経営力向上支援 【800千円】 ・集落営農組織の法人化及び組織化支援(3組織)



四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
農業分野					
【農業AP9】(2)こうち型集落営農の実践 ○収益性の高い品目を導入した組織の育成・支援	○集落営農支援事業(ハード事業) 組織に対する農業用機械、施設整備の助成 ・農事組合法人入田村 コンバイン、籾摺機 ・西土佐西部営農組合 畦塗機、田植機、コンバイン、乾燥機2台 ・農事組合法人四万十川営農組合 畦塗機、田植機 ○営農活動の持続・拡充に向けた取組みの支援 西土佐中央組合機械部会津賀支部において、水稻後作としてナバナの協業栽培への支援	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 集落営農組織 JA高知はた 生産者	◆収益性の高い品目を導入する組織が育成されている		【再掲】 ○集落営農支援事業(ハード事業) <b>【23,983千円】</b> 組織に対する農業用機械、施設整備の助成 ・農事組合法人入田村 農業用倉庫【11,767千円】 乾燥機2台【4,202千円】 ・農事組合法人わらびおか 籾摺機【760千円】、色彩選別機【3,480千円】 ・山路営農組合 乾燥機【1,627千円】 ・ふあーむ藪ヶ市 乾燥機【1,253千円】 ・にしとささき営農組合 籾摺機、自動選別計量機【894千円】 【再掲】 ○営農活動の持続・拡充に向けた取組み支援の継続 <b>—</b>
4 農地の利用促進					
1. 農地の利用調整					
【農業AP23】(1)農地利用の円滑化 ○農地中間管理機構の活用 ◎地域の農業委員による農地の利用調整	○農地中間管理事業 8~9月 田野川甲地区、西土佐藤ノ川地区で中間管理事業実施に向けた農地の掘り起こし 10月 上半期で掘り起こした農地の中間管理権設定 11月 中間管理権設定農地の受け手への配分(13.9ha) 1~3月 下半期で掘り起こした農地の中間管理権設定 3月 上記農地に対する機構集積協力金交付(1,260千円) ○農業委員による農地の利用調整 4~5月 利用意向調査実施 8~9月 利用意向調査結果に基づく農地パトロールの実施 12月 利用意向調査結果を取りまとめ(機構利用希望データ239筆、7.5ha)、農地中間管理機構へ引き渡し	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 農業委員会 農地中間管理機構	◆営農類型に応じた農地集積、農地利用の円滑化(流動化)が促進されている		○農地中間管理事業(農地流動化促進事業を含む) * 239千円 ・農地中間管理機構(県農業公社)と連携した農地の集団化と担い手の育成 ・事業制度の周知 ・農地の出し手の掘り起こし(対象地域:市内全域) ○農業委員による農地の利用調整 <b>—</b> ・利用意向調査の実施 ・農地パトロール(空き農地情報の収集)
【農業AP24】(2)営農類型等に応じた農地の集積 ○農業振興地域整備計画の全体見直し ○人・農地プラン作成、更新の支援 ○新規参入、品目転換における適地誘導	○農業振興地域整備計画の見直し 高知県農業振興地域整備基本方針の見直し及び整備計画の定期見直し(5年毎)により、計画の見直しを実施 ○人・農地問題解決加速化支援事業 11月 中村地域の各地区プラン見直し案作成 2月 プラン見直しに係る座談会の実施(中村11地区) 2月~3月 プラン見直しに係る座談会の実施(西土佐2地区・6会場) 3月 人・農地プラン検討会の開催(中村・西土佐)	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知はた	◆営農類型に応じた農地集積、農地利用の円滑化(流動化)が促進されている		【再掲】 ○人・農地問題解決加速化支援事業【153千円】 <b>【153千円】</b> ・人・農地プラン地区座談会等で中心経営体の経営状況を把握し誘導しプランの見直しを行う
【農業AP25】(3)基盤整備の推進 ○入田地区整備	○入田地区整備 ほ場整備工事 A=10.4ha 揚水ポンプ施設 4箇所 上記県営事業に伴う、地元との調整及び協議	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 地区組織	◆ほ場整備実施面積 H26:973ha →H31:1,014ha H27: 5.5 ha(入田)		○入田地区整備(県営事業負担金) * 2,000千円 ・全体面積:41.0ha H29施工面積:5.0ha

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
農業分野					
○利岡、三里地区整備	○利岡地区整備 地形図作成業務 1式 上記県営事業に伴う、地元との調整及び協議 利岡土地改良区設立に伴う協議及び調整 ○三里地区整備 実施設計委託業務 1式 上記県営事業に伴う、地元との調整及び協議 三里土地改良区設立に伴う協議及び調整		978.5ha(全体)		○利岡地区整備(県営事業負担金) * 500千円 ・換地委託業務 ○三里地区整備(県営事業負担金) * 500千円 ・換地委託業務 ○整備検討地区との協議を随時実施 既存整備地区終了後の基盤整備について随時検討協議 (既存整備地区はH32頃整備完了予定) -
○その他の地区整備	○整備検討地区との協議を随時実施 既存整備地区終了後の基盤整備について随時検討協議 (既存整備地区はH32頃整備完了予定)				
2. 耕作放棄地対策					
【農業AP26】(1)耕作放棄地の再生及び発生防止対策					
○耕作放棄地の再生	○耕作放棄地の再生 4~5月 農地利用意向調査による再生地情報の取得 8~9月 農地パトロールによる再生地確認 12月 耕作放棄地再生結果取りまとめ 荒廃農地減少面積7.4ha(うち再生面積5.0ha)	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 農業委員会 集落協定組織 農地・水保全組織	◆中山間地域等直接支払制度の実施農地面積 H31:461.6haを維持 H27:458.3ha ◆多面的機能支払制度の実施農地面積 H31:1,513haを維持 H27:1,653ha		○耕作放棄地の再生 - ・農業委員による農地パトロール(対象地域:市内全域) ○耕作放棄地の発生防止対策 ・中山間地域等直接支払交付金 * 96,337千円 (合同研修会開催ほか推進事務費含む) ・多面的機能支払推進交付金 * 122,851千円 (合同研修会開催ほか推進事務費含む)
○耕作放棄地の発生防止対策	○耕作放棄地の発生防止対策 ・多面的機能支払推進交付金(四万十市計) 交付予定額 113,212千円 交付組織数 60組織 ・中山間地域等直接支払交付金(四万十市計) 交付予定額 81,699千円 交付組織数 44組織 4月~各組織による共同活動実施 6月 多面的機能支払交付金活動組織・中山間直接支払交付金制度活動組織合同研修会(西土佐地域) 参加組織:31組織(37名) 7月 中山間直接支払交付金組織ヒアリング(西土佐地域:23組織) 10月 中山間直接支払交付金現地確認 多面的機能支払現地確認(西土佐地域) 12月・3月 中山間直接支払交付金組織ヒアリング(中村地域:17組織) 3月 多面的機能支払現地確認(中村地域)				
【農業AP27】(2)適合品目の栽培促進					
○適合品目の栽培促進	【再掲】 ○ぶしゅかん産地化・普及推進事業 地方創生推進交付金を活用 8月~ 新規定植予定のほ場について適地現地確認 9月~ 新規定植(苗代の補助)1,717本【H28年度末見込 4,226本】 365a(見込。ほ場22カ所。) 2月 新規定植栽培講習会実施 ・有害鳥獣防護柵(設置への補助) 1,318m(8カ所) 【再掲】 ○水田転換ゆず定例会の実施(4月~7月) 栽培管理指導、出荷検討(対象農家:9戸)	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 生産者	◆ぶしゅかん新植面積 H26:0.9ha →H31:12ha H27:4.9ha ◆ゆず栽培面積 H26:42.5ha →H31:42.5haを維持 H27:42.5ha		【再掲】 ○ぶしゅかん産地化推進事業 【5,447千円】 地方創生推進交付金を活用 ・新規定植(苗代への補助) 1,500本 300a ・有害鳥獣対策用防護柵(設置費補助) 4,000m 【再掲】 ○水田転換ゆず定例会の開催 - ・栽培指導、出荷検討

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野		平成28年度の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン 主な内容						
林業分野						
1 四万十の山づくり						
1. 長期的視点に立った産地づくり						
【林業AP1】(1)ヒノキ産地としての意識の醸成						
★ヒノキ産地としての市民意識の醸成	<p>○「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施 1月末現在:見学者 152名、宿泊者58組(277名)</p> <p>○フェア等への参加 10月 「高知もくもくランド2016秋まつり」へ出店PR (主催:高知県木材普及推進協会、高知県) (出店:四万十ヒノキブランド化推進協議会)</p> <p>11月 「幡多山もりフェス2016」出展 (主催:幡多山もりフェス実行委員会) (出店:㈱かわらっこ) 「四万十ヒノキの家」をPR</p>	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業体 四万十ヒノキブランド化推進協議会 ㈱かわらっこ	◆市民、森林所有者へ品質に優れたヒノキ資源が全国有数であり、ヒノキ産地として森林整備の必要性が周知されているとともに、山(林業)や木材への関心が高まっている	<p>○宿泊体験型モデルハウス管理費 * 353千円 ・「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施</p> <p>○四万十ヒノキブランド化推進協議会負担金 * 200千円 ・「高知もくもくランド2017秋まつり」へ出展PR 予定</p> <p>○フェア等の開催 ・「幡多山もりフェス2017」開催 (主催:幡多地域7森林組合が中心の実行委員会) 「四万十ヒノキの家」出店・PR</p> <p>○提案型集約化施策の推進</p>		
◎森林所有者の意識の醸成	○提案型集約化施策の推進 森林組合、林業事業体で森林所有者へのアプローチ・啓発、提案型集約化施策への地権者合意形成を推進				・森林組合、林業事業体で森林所有者へのアプローチ・啓発、提案型集約化施策への地権者合意形成を推進	
【林業AP2】(2)計画的な森林管理・経営の促進						
○森林資源の現状把握とデータ管理の徹底	<p>○施策をした森林の森林簿のデータ修正・管理 造林補助事業等により森林簿を随時更新</p> <p>○森林整備地域活動支援交付金事業(H28年交付決定 6,929千円) ・森林経営計画作成促進(経営委託型) 面積120ha 【4,560千円】 ・森林経営計画作成促進(共同施業型) 面積180ha 【1,440千円】 ・森林経営計画・施業集約化に向けた条件整備:185.87ha 【929千円】</p>	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業体	◆計画的な森林管理・経営に向け「森の工場」や森林経営計画が整備促進されている  ◆「森の工場」の認定面積 H26:3,586ha → H31:4,000ha H27:3,834ha	<p>○施業をした森林の森林簿のデータ修正・管理 ・造林補助事業等により森林簿を随時更新</p> <p>○森林整備地域活動支援交付金事業 * 7,540千円 (H29年間計画) ・森林経営計画作成促進(経営委託型) 面積120ha ・森林経営計画作成促進(共同施業型) 面積260ha ・森林経営計画・施業集約化に向けた条件整備(路網整備):180ha</p>		
○経営類型の明確化	○森林経営計画の作成 林業事業体等が森林経営計画を作成し経営類型を明確化				○森林経営計画の作成 ・林業事業体等が森林経営計画を作成し経営類型を明確化	
【林業AP3】(3)提案型集約化施策の推進						
○森林所有者へのアプローチの強化	【再掲】 ○提案型集約化施策の推進 森林組合、林業事業体で森林所有者へのアプローチ・啓発、提案型集約化施策への地権者合意形成を推進	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業体	◆「森の工場」や森林経営計画が整備促進されている		【再掲】 ○提案型集約化施策の推進 ・森林組合、林業事業体で森林所有者へのアプローチ・啓発、提案型集約化施策への地権者合意形成を推進	
○森林経営計画策定の促進	【再掲】 ○森林整備地域活動支援交付金事業(H28年交付決定 6,929千円) ・森林経営計画作成促進(経営委託型) 面積120ha 【4,560千円】 ・森林経営計画作成促進(共同施業型) 面積180ha 【1,440千円】 ・森林経営計画・施業集約化に向けた条件整備:185.87ha 【929千円】		◆「森の工場」の認定面積 H26:3,586ha → H31:4,000ha H27:3,834ha		【再掲】 ○森林整備地域活動支援交付金事業 【7,540千円】 (H29年間計画) ・森林経営計画作成促進(経営委託型) 面積120ha ・森林経営計画作成促進(共同施業型) 面積260ha ・森林経営計画・施業集約化に向けた条件整備(路網整備):180ha	
○森の工場の推進	○森の工場(協働のもりづくり事業含む) 【26,053千円】 新規着手 ・津野川地区:搬出間伐(県へ森の工場認可申請中) ・板ノ川地区:県申請へ向け準備中				○森の工場(協働の森づくり事業含む) * 41,712千円 新規着手 ・津野川地区:搬出間伐6.0ha、500m	



分野	戦略の柱	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
	施策					
	アクションプラン					
	主要内容					
林業分野						
		継続実施分 【10,792千円】 ・伊才原地区(蕨岡工区): 搬出間伐5.5ha、作業道960m ・西ヶ方地区(アヤマ): 搬出間伐7.7ha、作業道1,440m ・常六地区(センチオロシ): 搬出間伐4.9ha、作業道988m 協働の森協定締結分 【15,261千円】 ・藤ノ川地区(岩間下甫喜): 搬出間伐8.0ha、作業道360m ・半家地区(半家宮の川): 搬出間伐9.9ha、作業道2,400m ・富山西地区(西平山): 作業道L=30m ・九樹地区協働の森: 搬出間伐6.0ha				・板ノ川地区: 間伐15.0ha作業道240m(県申請へ向け準備中) 継続実施分 ・伊才原地区(蕨岡工区): 搬出間伐5.0ha、作業道960m ・西ヶ方地区(アヤマ): 搬出間伐7.0ha、作業道1,200m ・常六地区(センチオロシ): 搬出間伐5.0ha、作業道600m 協働の森協定締結分 ・藤ノ川地区(岩間下甫喜): 搬出間伐6.0ha、作業道1,000m ・半家地区(半家宮の川)終了に伴う地区変更 新規久保川地区森の工場へ 間伐3.7ha、作業道120m ・富山西地区(西平山): 搬出間伐19.0ha、作業道2400m ・九樹地区協働の森: 搬出間伐6.0ha、作業道600m
2. 長伐期施業の推進						
	【林業AP4】(1)長伐期施業方針の策定と普及啓発					
	★長伐期施業方針の策定と普及啓発	○長伐期施業方針の策定(継続)	四万十市(農林水産課)	◆長伐期施業方針が広く認知されている		○長伐期施業方針の策定(継続) —
	【林業AP5】(2)長伐期施業技術(ノウハウ)の蓄積					
	★市有林におけるモデル林の整備 ★長伐期施業の経営シュミレーションの検証	○市有林整備事業 【30,420千円】 ・搬出間伐: 16.5ha ・保育間伐: 38.6ha ・作業道整備: L=2,420m ・シカ食害防止ネット設置: 10ha	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業体 四万十ヒノキブランド化推進協議会	◆長伐期施業に関するノウハウ、技術体系が確立されている		○市有林整備事業 * 39,704千円 ・搬出間伐: 11.0ha ・保育間伐: 10.6ha ・作業道整備: L=2,640m ・新植: 10.0ha、鳥獣害防止ネット: 1,960m ・シカ食害防止ネット設置: 10.0ha
	【林業AP6】(3)長伐期施業技術(ノウハウ)の普及					
	★長伐期施業の講習会等の開催	○長伐期の講習会を実施 (実施主体: 四万十ヒノキブランド化推進協議会)	四万十市(農林水産課) 四万十ヒノキブランド化推進協議会	◆長伐期施業に関するノウハウ、技術体系が確立され、普及している		【再掲】 ○四万十ヒノキブランド化推進協議会負担金 【200千円】 ・長伐期の講習会を実施予定
3. 適切な皆伐、間伐による原木生産の拡大						
	【林業AP7】(1)森林の特性に応じた皆伐、間伐の実践					
	◎森林の特性に応じた皆伐、間伐の実践	【再掲】 ○市有林整備事業 【30,420千円】 ・搬出間伐: 16.5ha ・保育間伐: 38.6ha ・作業道整備: L=2,420m 【再掲】 ○森の工場(協働のもりづくり事業含む) 【26,053千円】 新規着手 ・津野川地区: 搬出間伐(県へ森の工場認可申請中) ・板ノ川地区: 県申請へ向け準備中 継続実施分 【10,792千円】 ・伊才原地区(蕨岡工区): 搬出間伐5.5ha、作業道960m ・西ヶ方地区(アヤマ): 搬出間伐7.7ha、作業道1,440m ・常六地区(センチオロシ): 搬出間伐4.9ha、作業道988m 協働の森協定締結分 【15,261千円】 ・藤ノ川地区(岩間下甫喜): 搬出間伐8.0ha、作業道360m ・半家地区(半家宮の川): 搬出間伐9.9ha、作業道2,400m ・富山西地区(西平山): 作業道L=30m ・九樹地区協働の森: 搬出間伐6.0ha	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業体	◆原木生産量 H24: 47,000m <sup>3</sup> → H31: 60,000m <sup>3</sup> H25: 75,573m <sup>3</sup> H26: 93,790m <sup>3</sup>		【再掲】 ○市有林整備事業 【39,704千円】 ・搬出間伐: 11.0ha ・保育間伐: 10.6ha ・作業道整備: L=2,640m ・新植: 10.0ha、鳥獣害防止ネット: 1,960m ・シカ食害防止ネット設置: 10.0ha 【再掲】 ○森の工場(協働の森づくり事業含む) 【41,712千円】 新規着手 ・津野川地区: 搬出間伐6.0ha、500m ・板ノ川地区: 間伐15.0ha作業道240m(県申請へ向け準備中) 継続実施分 ・伊才原地区(蕨岡工区): 搬出間伐5.0ha、作業道960m ・西ヶ方地区(アヤマ): 搬出間伐7.0ha、作業道1,200m ・常六地区(センチオロシ): 搬出間伐5.0ha、作業道600m 協働の森協定締結分 ・藤ノ川地区(岩間下甫喜): 搬出間伐6.0ha、作業道1,000m ・半家地区(半家宮の川)終了に伴う地区変更 新規久保川地区森の工場へ 間伐3.7ha、作業道120m



分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要						
						林業分野					
						○緊急間伐総合支援事業 【4,553千円】 ・公益林保全整備(搬出間伐):9.28ha ・森林整備支援(搬出間伐):4.43ha ・作業道=L1,700  ○環境林整備事業(組合等が県へ直接申請) ・木材生産を目的とせず、森林の環境公益の発揮を目指す森林を「環境林」と定め、切捨て間伐を実施 67.3ha、6,519千円、30件				・富山西地区(西平山):搬出間伐19.0ha、作業道2,400m ・九樹地区協働の森:搬出間伐6.0ha、作業道600m  ○緊急間伐総合支援事業 * 6,229千円 ・公益林保全整備(搬出間伐):5.00ha ・森林整備支援(搬出間伐):3.0ha ・作業道:3,050m  ○環境林整備事業(組合等が県へ直接申請) — ・木材生産を目的とせず、森林の環境公益の発揮を目指す森林を「環境林」と定め、切捨て間伐を実施※面積調査中	
						【林業AP8】(2)施策の効率化と低コスト化					
○作業道や林業機械導入への支援  ○林内路網の維持管理	<b>【再掲】</b> ○市有林整備事業 ・作業道整備:L=5,060m 【8,471千円】  <b>【再掲】</b> ○森の工場(協働のもりづくり事業含む) 新規着手 ・板ノ川地区:作業道 — m 継続実施分 【2,100千円】 ・伊才原地区(蕨岡工区)作業道 960m ・西ヶ方地区(アヤマ):作業道 1,440m ・常六地区(センチオロシ):作業道 988m 協働の森協定締結分 【1,932千円】 ・藤ノ川地区(岩間下雨喜):作業道 360m ・半家地区(半家宮の川):作業道 2,400m ・富山西地区(西平山):作業道 30m ・九樹地区協働の森:作業道 — m  ○地域林業総合支援事業 (実施主体:西土佐村森林組合) 2月 補助金交付決定 【2,404千円】 4WD2t高床ダンプ導入予定  ○高性能林業機械等整備事業 【9,671千円】 (実施主体:明星建設(有)) ウインチ付きグラブ導入  <b>【再掲】</b> ○緊急間伐総合支援事業 ・作業道整備:L=1,700m  ○ふるさと暮らし支援事業(作業道の改良・舗装) 【2,500千円】 ・林道舗装資材:4路線(総延長=251m) ・作業道整備:4路線(総延長=1,559m)  ○林道・作業道維持補修 随時補修、中村大正線舗装補修発注 2,918千円の見込み	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業体	◆効率的な作業システムによる 施策の低コスト化が進んでいる  ◆作業道開設実績 延長累計 H25:709,795m → H31:790,000m H26:739,719 m		<b>【再掲】</b> ○市有林整備事業 【9,240千円】 ・作業道整備:L=2,640m  <b>【再掲】</b> ○森の工場(協働の森づくり事業含む) 【7,014千円】 新規着手 ・津野川地区:作業道500m ・板ノ川地区:作業道240m 継続実施分 ・伊才原地区(蕨岡工区):作業道960m ・西ヶ方地区(アヤマ):作業道1,200m ・常六地区(センチオロシ):作業道600m 協働の森協定締結分 ・藤ノ川地区(岩間下雨喜):作業道1,000m ・半家地区(半家宮の川)終了に伴う地区変更 新規久保川地区森の工場へ 作業道120m ・富山西地区(西平山):作業道2,400m ・九樹地区協働の森:作業道600m  ○高性能林業機械導入・地域林業総合支援事業 — ・林業事業体の要望を取りまとめ県へ要望中  <b>【再掲】</b> ○緊急間伐総合支援事業 【5,280千円】 ・作業道:3,050m  ○ふるさと暮らし支援事業(作業道の改良・舗装) * 2,500千円 ・林道舗装資材:5路線(総延長=255m) ・作業道整備:3路線(総延長=1,500m)  ○林道・作業道維持補修 * 7,887千円 ・維持工事4件他						

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要						
						林業分野					
						【林業AP9】(3)低コスト再造林、育林の実践					
						◎低コスト再造林、育林の実践 ◎防護柵の設置と捕獲の促進	○防護柵設置(県補助) 交付決定額 1,940千円 21件、L=1,526mの見込み  ○国防護柵設置 (事業主体:四万十市有害鳥獣被害対策協議会) 交付決定額 39,711千円 延長21,907m見込み  ○有害鳥獣捕獲報奨金による捕獲 12月末現在:西土佐分+中村分 シカ 1,999頭 イノシシ 1,697頭 サル 27頭 ハクビシン 372頭  ○個体数調整 シカ 264頭(3月1日時点)	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業体 四万十市有害鳥獣被害対策協議会	◆低コスト再造林、育林のノウハウ、技術体系の確立が進んでいる  ◆シカの捕獲頭数 H26:4,446頭 → H31:6,000頭 H27:4,055頭	○防護柵設置 * 2,650千円  ○国防護柵設置 ※要望予定 (事業主体:四万十市有害鳥獣被害対策協議会) ・地区単位設置分・・・25地区 地区:金網柵 L=100,000m  ○有害鳥獣捕獲報奨金による捕獲 * 81,427千円 ・年間計画:シカ 4,200頭 イノシシ 1,800頭 サル 50頭 ハクビシン 350頭	
4. 林業事業体や担い手の確保、育成											
【林業AP10】(1)林業事業体及び林業技術者の育成支援											
○林業事業体、林業技術者の育成	○「緑の雇用」事業 新規雇用5人(内みどりの雇用2名) ・新規雇用者5人(森林組合4人、林業事業体1人) ・2年目雇用者7人(森林組合5人、林業事業体2人) ・3年目雇用者3人(森林組合1人、林業事業体2人) 【参考】卒業生雇用者(H21~H25:H28.9現在) (森林組合10人、林業事業体8人)  ○林業技術研修の開催 (主催:幡多流域林業活性化センター) 8月 架線(センイロープ)集材研修  ○林業の担い手育成事業 (事業主体:中村市森林組合) <b>四万十市産振総合補助金を活用</b> 10月 国予算の関係で緑の雇用の対象とならなかった1ヶ月間について新規採用者3名に対して実地指導等研修を実施  【再掲】 ○市有林整備事業 【30,420千円】 ・撤出間伐:16.5ha ・保育間伐:38.6ha ・作業道整備:L=2,420m ・シカ食害防止ネット設置:10ha	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業体 四万十ヒノキブランド化推進協議会 幡多林業活性化センター	◆経営能力の高い森林組合、林業事業体が効率的な生産活動を展開している  ◆効率的な林業生産活動を行うことができる優れた担い手が育成されている  ◆新規林業就業者数 →3人/年 H27:7人/年	○「緑の雇用」事業 ・新規雇用の予定  ○幡多流域林業活性化センター負担金 * 85千円 ・林業技術研修予定  【再掲】 ○市有林整備事業 【39,704千円】 ・撤出間伐:11.0ha ・保育間伐:10.6ha ・作業道整備:L=2,640m ・新植:10.0ha、鳥獣害防止ネット:1,960m ・シカ食害防止ネット設置:10.0ha  【再掲】 ○環境林整備事業(組合等が県へ直接申請) - ・木材生産を目的とせず、森林の環境公益の発揮を目指す森林を「環境林」と定め、切捨て間伐を実施 ・森林組合の事業量(収益)の確保 ※面積調査中							
○森林組合の経営力強化	○「環境林整備事業」への新規取組みなど、積極的な制度事業の活用による事業量(収益)の確保 ・12件 25.64ha  【再掲】 ○環境林整備事業(組合等が県へ直接申請) ・木材生産を目的とせず、森林の環境公益の発揮を目指す森林を「環境林」と定め、切捨て間伐を実施 67.3ha、6,519千円、30件										

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要						
						分野					
						林業分野					
						【林業AP11】(2)森林保育等の活動グループへのアプローチ					
★兼業型林業事業者の育成支援	○林地残材の搬出促進 バイオマス証明書発行 33件(内公共事業関係25件) 1月末:336㎡ ○高性能林業機械等整備 小規模林業事業者の高性能機械レンタルを支援(バックホウ) ・3件 補助金交付決定 【816千円】	四万十市(農林水産課) 兼業型林業事業者	◆林業生産活動を行う多様な担い手が育成されている		○林地残材の搬出促進 ・バイオマス証明書発行 【再掲】 ○高性能林業機械等整備事業(レンタルタイプ) ・林業事業者の要望を取りまとめ県へ要望中						
【林業AP12】(3)自伐林家及び集落組織等の育成											
★自伐林家及び集落組織等の育成	【再掲】 ○林地残材の搬出促進 バイオマス証明書発行 33件(内公共事業関係25件) 1月末:336㎡ ○森林・山村の多面的機能発揮対策交付金事業 ・14組織申請:26,024千円 活動組織:14組織(「東富山の森を生かす会」ほか) 里山保全活動:90.3ha 侵入竹除去:16.1ha 森林資源利用:24.55ha 森林機能強化:L=1,000m(作業道整備) 資機材:チェーンソー4、刈払機1、苗100	四万十市(農林水産課) 自伐林家等	◆林業生産活動を行う多様な担い手が育成されている		【再掲】 ○林地残材の搬出促進 ・バイオマス証明書発行 ○森林・山村の多面的機能発揮対策交付金事業 ・活動組織要望予定:11組織 支援取組活動・・・里山保全(84.5ha) 侵入竹・竹林(3.0ha) 資源利用(7.4ha) 機能強化(1,000m) 教育研修(12回) 資機材(チェーンソー2台)						
<b>2 供給体制の強化</b>											
1. 加工事業者の生産力等強化											
【林業AP13】(1)木材製品の生産の拡大・商品力の強化											
◎木材製品の生産の拡大・商品力の強化		四万十市(農林水産課) 製材加工事業者	◆木材・木製品製造品 出荷額等 H24:7億5,000万円 → H31:8億円 H25:7億9,477万円 H26:8億3,330万円								
【林業AP14】(2)木工製品の生産の拡大・商品力の強化											
★木工製品の生産の拡大・商品力の強化		四万十市(農林水産課) 製材加工事業者	◆木材・木製品製造品 出荷額等 H24:7億5,000万円 → H31:8億円 H25:7億9,477万円 H26:8億3,330万円								
2. 供給体制の効率化											
【林業AP15】(1)市産材製品ストック施設整備											
★市産材製品のストック施設整備		四万十市(農林水産課)	◆市産材製品ストック 施設整備 → H31:整備		○公共施設の木材利用見込み等を踏まえ整備を検討						

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要						
						分野					
						林業分野					
						【林業AP16】(2)山元選別の促進による流通経費の削減					
★山元選別の促進による流通経費の削減		四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業者 製材加工事業者	◆流通の効率化が進み、市産材の流通量が拡大している								
【林業AP17】(3)木材流通ネットワークの構築											
★木材流通ネットワークの構築	○幡多流域林業活性化センター 7月～ 通常総会ほか ・会員:26団体 (素材生産・加工・流通事業者、建築団体、関係行政機関) ・林業生産性の向上、林業技術者の確保・育成、製材・加工・流通事業者、利用者(建築等)間の連携促進 ・架線(センイロープ)集材研修(8月:2回日)	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業者 製材加工事業者 設計・建築事業者	◆川上(素材生産・加工)から川下(設計・建築)までの事業者間連携が図られ、市産材の流通量が拡大している		【再掲】 ○幡多流域林業活性化センター 【85千円】 ・林業生産性の向上、林業技術者の確保・育成、製材・加工・流通事業者、利用者(建築等)間の連携促進 会員:26団体 (素材生産・加工・流通事業者、建築団体、関係行政機関)						
3 市産材の利用促進と販売力の強化											
1. 市産材の利用促進											
【林業AP18】(1)公共建築等での市産材の率先利用											
◎公共建築物の木造化・木質化の促進	○H28建築計画 ・具同地区防災活動拠点施設(木造:木材使用量22㎡) ・東山地区防災活動拠点施設(木造:木材使用量19㎡) ・坂本地区防災コミュニティセンター(木造:木材使用量39㎡) ・中村中学校屋内運動場(RC造:木材使用34㎡ ※H27継続) ・東山小学校区学童保育施設(木造:木造使用料50㎡ ※H29継続) ※木製建具・家具は除く	四万十市(農林水産課)	◆公共建築物において、積極的に市産材が使われている		○H29建築計画 ・東山小学校区学童保育施設(木造) 28繰越 ・八束地区防災拠点基地・八塚保育園(合築) ・かわらっこバンガロー						
【林業AP19】(2)木造住宅の建築促進											
◎木造住宅建築への支援 ★コーディネイト組織の設立	○市産材利用促進事業 年間利用件数見込み:25件(内H27繰越15件) 申請件数見込み:22件 【再掲】 ○「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施 1月末現在:見学者 152名、宿泊者58組(277名)	四万十市(農林水産課) 設計・建築事業者	◆戸建て住宅において、積極的に市産材が使われている ◆市産材利用促進事業の着工件数 → 30戸/年 H27:34戸/年		○市産材利用促進事業 * 30,000千円 ・年間利用件数見込み:30件 【再掲】 ○宿泊体験型モデルハウス管理費 【353千円】 ・「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施						
【林業AP20】(3)木造化、木質化への情報発信、普及、啓発の強化											
◎木造化、木質化への情報発信、普及、啓発の強化 ★地元消費拡大フェアの開催	【再掲】 ○「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施 1月末現在:見学者 152名、宿泊者58組(277名) ○フェア等への参加 10月 ・「高知もくもくランド2016秋まつり」へ出店PR (主催:高知県木材普及推進協会、高知県) (出店:四万十ヒノキブランド化推進協議会) 11月 ・「幡多山もりフェス2016」出展 (主催:幡多山もりフェス実行委員会) (出店:株かわらっこ) 「四万十ヒノキの家」をPR	四万十市(農林水産課) 森林組合 四万十ヒノキブランド化推進協議会	◆ヒノキ産地として市民の関心と市産材の利用意識が高まっている ◆産業祭来場者数 H25:2,000人 → H31:20,000人 H27:12,500人		【再掲】 ○宿泊体験型モデルハウス管理費 【353千円】 ・「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施 【再掲】 ○四万十ヒノキブランド化推進協議会負担金 【200千円】 ・「高知もくもくランド2017秋まつり」へ出展PR 予定 ○フェア等の開催 ・「幡多山もりフェス2017」開催 予定 (主催:幡多地域7森林組合が中心の実行委員会) 「四万十ヒノキの家」出店・PR 【再掲:各分野共通】 ○西土佐産業祭の開催 【660千円】						



分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要						
						林業分野					
						2. 木質バイオマス利用促進					
						【林業AP21】(1)林地残材等の搬出の促進					
◎林地残材等の搬出の促進	【再掲】 ○林地残材の搬出促進 バイオマス証明書発行 33件(内公共事業関係25件) 1月末:336㎡	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業者 兼業型林業事業者 自伐林家等	◆林地残材等が木質バイオマスエネルギーをはじめ、様々な用途で有効利用されている		○個人の皆伐を経営計画に組み込み林地残材の有効利用を促進  ○林地残材の搬出促進 ・バイオマス証明書発行						
【林業AP22】(2)木質バイオマス利用設備の普及促進											
◎木質バイオマスボイラー等の普及促進		四万十市(農林水産課)	◆木質バイオマス起源のグリーンエネルギーが幅広く利用されている		○木質バイオマス利用施設等整備事業 ・石油価格下落により調整中						
3. 四万十ヒノキブランドの確立と販売力の強化											
【林業AP23】(1)四万十ヒノキブランドの確立											
◎四万十ヒノキのブランド化の推進	【再掲】 ○「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施 1月末現在:見学者 152名、宿泊者58組(277名)  ○四万十ヒノキブランド化推進協議会 総会、担当者会を開催 【再掲】 ○フェア等への参加 10月 ・「高知もくもくランド2016秋まつり」へ出店PR (主催:高知県木材普及推進協会、高知県) (出店:四万十ヒノキブランド化推進協議会) 11月 ・「幡多山もりフェス2016」出展 (主催:幡多山もりフェス実行委員会) (出店:株式会社かわらっこ) 「四万十ヒノキの家」をPR  ○協働の森づくり(体験交流、四万十ヒノキPR) ・協賛企業:(株)清流メンテナンス、浅野環境ソリューション(株)、日鉄住金環境プラントソリューションズ(株)、KDDI(株) ・11月 間伐体験 (株)清流メンテナンス 浅野環境ソリューション(株) 日鉄住金環境プラントソリューションズ(株)	四万十市(農林水産課) 四万十ヒノキブランド化推進協議会	◆「四万十ヒノキ」として知名度が向上し、大消費地での販路が拡大している	【再掲】 ○宿泊体験型モデルハウス管理費 【353千円】 ・「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施 【再掲】 ○四万十ヒノキブランド化推進協議会負担金 【200千円】 ・ブランド化協議 ・「高知もくもくランド2017秋まつり」へ出展PR 予定 【再掲】 ○フェア等の開催 ・「幡多山もりフェス2017」開催 予定 (主催:幡多地域7森林組合が中心の実行委員会) 「四万十ヒノキの家」出店・PR  ○協働の森づくり * 120千円 ・4企業・・・体験交流、四万十ヒノキPR							
【林業AP24】(2)四万十ヒノキ製品の生産拡大、商品力の強化											
【再掲】 ◎木材製品の生産の拡大・商品力の強化  【再掲】 ★木工製品の生産の拡大・商品力の強化		四万十市(農林水産課) 製材加工事業者	◆木材・木製品製造品 出荷額等 H24:7億5,000万円 → H31:8億円 H25:7億9,477万円 H26:8億3,330万円								

分野		平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン 主要内容						
林業分野						
【林業AP25】(3)四万十ヒノキ製品の販売力の強化						
	◎四万十ヒノキ製品の販売力の強化	【再掲】 ○四万十ヒノキブランド化推進協議会 10月「高知もくもくランド2016秋まつり」へ出店PR (主催:高知県木材普及推進協会、高知県)	四万十市(農林水産課) 四万十ヒノキブランド化推進協議会	◆「四万十ヒノキ」として知名度が向上し、大消費地での販路が拡大している		【再掲】 ○四万十ヒノキブランド化推進協議会負担金 【200千円】 ・ブランド化協議 ・「高知もくもくランド2017秋まつり」へ出展PR 予定
4 健全な森づくり						
1. 人と鳥獣の良好・適切な環境づくり						
【林業AP26】(1)鳥獣被害対策						
	【再掲】 ◎防護柵の設置と捕獲の促進	【再掲】 ○防護柵設置(県補助) 交付決定額 1,940千円 21件、L=1,526mの見込み  ○国防護柵設置 (事業主体:四万十市有害鳥獣被害対策協議会) 交付決定額 39,711千円 延長21,907m見込み  ○有害鳥獣捕獲報奨金による捕獲 12月末現在:西土佐分+中村分 シカ 1,999頭 イノシシ 1,697頭 サル 27頭 ハクビシン 372頭  ○個体数調整 シカ 264頭(3月1日時点)	四万十市(農林水産課) 四万十市有害鳥獣被害対策協議会	◆シカの捕獲頭数 H26:4,446頭 → H31:6,000頭 H27:4,055頭		【再掲】 ○防護柵設置 【2,650千円】 【再掲】 ○国防護柵設置 ※要望予定 (事業主体:四万十市有害鳥獣被害対策協議会) ・地区単位設置分...25地区 地区:金網柵 L=100,000m 【再掲】 ○有害鳥獣捕獲報奨金による捕獲 【81,427千円】 ・年間計画:シカ 4,200頭 イノシシ 1,800頭 サル 50頭 ハクビシン 350頭
【林業AP27】(2)捕獲の担い手確保、育成						
	◎捕獲の担い手の確保、育成	○新規狩猟者の確保 ・広報6月号でPR  ○新規狩猟者免許試験予備講習会受講料補助 ・利用者数:18人  ○新規狩猟者射撃教習受講料補助 ・利用者数:4人	四万十市(農林水産課) 猟友会	◆シカの捕獲頭数 H26:4,446頭 → H31:6,000頭 H27:4,055頭		○新規狩猟者の確保 ・広報でPR予定  ○新規狩猟者免許試験予備講習会受講料補助 * 175千円 ・年間利用者数見込み:25人  ○新規狩猟者射撃教習受講料補助 * 185千円 ・年間利用者数見込み:5人
2. 森のものの活用						
【林業AP28】(1)特用林産物の生産活動の支援とPR						
	◎特用林産物の生産活動への支援とPR  ★新規就業者の育成	○特用林産物の生産活動支援 椎茸原木購入補助金 年間利用数:1,050石(見込み)  ○四万十備長炭事業化への取り組み (実施主体:(仮称)四万十備長炭協議会) ・四万十備長炭試作品の作成	四万十市(農林水産課)	◆特用林産物(しいたけ、木炭)生産量 H25:48,466kg → H31:55,000kg H26:29,784kg		○特用林産物の生産活動支援 * 1,050千円 ・椎茸原木購入補助金 年間利用数見込み:1,050石  ○四万十備長炭事業化への取り組み (実施主体:(仮称)四万十備長炭協議会)

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
水産業分野					
1 水産資源の回復・生産量UP					
1. 天然水産資源の回復・増殖					
【水産業AP1】(1)漁場環境、資源量等の調査・研究					
◎漁場環境、資源量等の調査・研究  ◎調査結果の広報活動	○高知大学連携事業による調査等 (事業主体:四万十市・高知大学連携事業推進会議) <b>地方創生加速化交付金を活用</b> ・天然スジアオノリ生産量アップの取り組み 河川環境調査(毎月) 生態・生育調査(毎月) 10月 調査結果報告会開催 ・天然アユの資源回復の取り組み 10月 調査結果報告会開催 10月～11月 産卵場調査 1月～3月 浮遊期仔魚(河口・海域)調査 生育場(下流域)調査 水質調査  ○四万十川漁業振興協議会補助金 7月～ アユの冷水病調査  ○手長エビ等生態調査(黒尊川) 生涯学習課が四万十川流域重要・文化的景観の関係で毎年調査	四万十市(農林水産課) 四万十市・高知大学 連携事業推進会議 四万十川漁業振興 協議会  漁業協同組合	◆漁場環境や資源量等の継続的な把握と減少要因の分析が進み、漁業者と情報が共有され、天然資源の回復・増殖に向け関係者が連携した取り組みが進んでいる		○高知大学連携事業による調査等 * 3,940千円 (事業主体:四万十市・高知大学連携事業推進会議) <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・天然スジアオノリ生産量アップの取り組み 河川環境調査(毎月) 生態・生育調査(毎月) 調査結果報告会開催 ・天然アユの資源回復の取り組み * 1,560千円 調査結果報告会開催 産卵場調査 浮遊期仔魚(河口・海域)調査 生育場(下流域)調査 水質調査  ○四万十川漁業振興協議会補助金 * 150千円 ・アユの冷水病調査
【水産業AP2】(2)生育・漁場環境の保全・整備					
○スジアオノリ生育・漁場環境の保全・整備  ○アユの産卵場の再生と保全管理  ○イセエビ漁礁設置による漁場整備	○国土交通省・四万十川自然再生協議会による整備 ・四万十川自然再生事業 アユの瀬づくり、魚のゆりかごづくりを推進 (コアママ場の造成など)	四万十市(農林水産課) 四万十川自然再生 協議会  漁業協同組合	◆内水面漁業漁獲量 H24:56t → H31:65t  H25:66t H26:65t  ◆海面漁業漁獲量 H24:30t → H31:35t  H25:24t H26:22t		○国土交通省・四万十川自然再生協議会による整備 — ・四万十川自然再生事業 アユの瀬づくり、魚のゆりかごづくりを推進  ○スジアオノリ漁場整備支援 * 400千円 (事業主体:四万十川下流漁業協同組合) ・河川形状整備等
2. 栽培漁業の推進					
【水産業AP3】(1)効果的な種苗放流の推進					
★効果的な放流技術の確立  ○内水面資源の種苗放流  ○沿岸資源の種苗放流	○稚アユ等放流補助金 (事業主体:四万十川中央漁業協同組合) ・稚アユ放流 899kg ・ツガニ放流 3,000匹 ・ウナギ放流 74.06kg  ○稚アユ等放流補助金 (事業主体:四万十川西部漁業協同組合) ・稚アユ放流 870kg ・ツガニ放流 1,000匹 ・アメゴ放流 30kg ・ウナギ放流 68.76kg  ○ヒラメ稚魚放流補助金 (事業主体:下田漁業協同組合) ・ヒラメ稚魚放流 4,300匹	四万十市(農林水産課) 漁業協同組合	◆内水面・沿岸資源の種苗放流 H31:維持		○稚アユ等放流補助金 * 2,500千円 (事業主体:四万十川中央漁業協同組合) ・稚アユ放流 ・ツガニ放流 ・ウナギ放流  ○稚アユ等放流補助金 * 1,256千円 (事業主体:四万十川西部漁業協同組合) ・稚アユ放流 ・ツガニ放流 ・アメゴ放流 ・ウナギ放流  ○ヒラメ稚魚放流補助金 * 250千円 (事業主体:下田漁業協同組合) ・ヒラメ稚魚放流

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野		平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン 主要内容						
水産業分野						
【水産業AP4】(2)アオサの生産拡大						
★区画あたりの生産拡大 ★新たな漁場の開拓と新規参入の促進 ◎生産・品質管理の徹底	○四万十川漁業振興協議会 栽培環境調査(水温、塩分濃度の計測) 10月～ ヒトエグサ漁場1ヵ所に10分毎に水温塩分を測定する自記式水温塩分計を設置	四万十市(農林水産課) 四万十川漁業振興協議会 四万十川下流漁業協同組合	◆安定した生産量と品質が確保され、入札業者の増加と高値安定が確保されている ◆内水面漁業漁獲量 H24:56t → H31:65t H25:66t H26:65t		【再掲】 ○四万十川漁業振興協議会補助金 【150千円】 ・栽培環境調査(水温、塩分濃度の計測) ○下流漁協においてアオサ(ヒトエグサ)、スジアオノリの生産工程(洗い・選別)の均一化と品質管理の徹底を指導	
【水産業AP5】(3)スジアオノリの栽培技術の研究と実践						
★スジアオノリの栽培技術の研究と実践	○産学官連携スジアオノリ自然栽培(養殖)推進事業 (事業主体:四万十市・高知大学連携事業推進会議 四万十川下流漁業協同組合) 地方創生加速化交付金を活用 ・種付け施設指導・整備 9月末～ 種付け開始 10月～ 種付け後使用する蓄養施設設備 ・自然栽培事業調査 (実施主体:四万十川下流漁業協同組合) 11月 浮かし網による自然栽培の実践 (養殖網(縦18m×横1.2m)延べ264枚河川設置) 平成28年度生産目標400kg	四万十市(農林水産課) 四万十市・高知大学連携事業推進会議 四万十川下流漁業協同組合	◆スジアオノリ自然栽培生産量 H31:5t		○スジアオノリ自然栽培推進事業 * 6,216千円 (事業主体:四万十川下流漁業協同組合) 地方創生加速化交付金を活用 ・四万十市・高知大学連携事業推進会議 種付け施設指導・整備 自然栽培事業調査 ・四万十川下流漁業協同組合 浮かし網による自然栽培の実践 (養殖網(縦18m×横1.2m)延べ480枚河川設置) 平成29年度生産目標800kg	
3. 地域に根差した資源管理の仕組みづくり						
【水産業AP6】(1)漁場利用の新たなルールづくり						
★漁場利用のための新たなルールづくり	○エビ資源保護の協議 (実施主体:四万十川漁業振興協議会) 各単協自主規制(本数、漁期等)	四万十市(農林水産課) 四万十川漁業振興協議会	◆市民、漁業者の意識と機運が高まり、資源管理の取組みが進んでいる		○エビ資源保護の協議 (実施主体:四万十川漁業振興協議会)	
【水産業AP7】(2)資源保護のための情報発信の強化						
◎資源保護のための情報発信の強化	○禁漁期間の周知と資源保護の啓発 10月 市広報で「ウナギ禁漁期間」の周知 【再掲】 ○高知大学連携事業による調査等 (事業主体:四万十市・高知大学連携事業推進会議) 地方創生加速化交付金を活用 ・天然スジアオノリ生産量アップの取組み 河川環境調査(毎月) 生態・生育調査(毎月) 10月 調査結果報告会開催 ・天然アユの資源回復の取組み 10月 調査結果報告会開催	四万十市(農林水産課) 漁業協同組合 高南幡東漁業秩序を守る会(海面漁業)	◆市民、漁業者の意識と機運が高まり、資源管理の取組みが進んでいる		○禁漁期間の周知と資源保護の啓発 市広報で「ウナギ禁漁期間」の周知 ○高南・幡東地区漁業秩序を守る会負担金 * 80千円 【再掲】 ○高知大学連携事業による調査等 【3,940千円】 (事業主体:四万十市・高知大学連携事業推進会議) 地方創生加速化交付金を活用 ・天然スジアオノリ生産量アップの取組み 河川環境調査(毎月) 生態・生育調査(毎月) 調査結果報告会開催 ・天然アユの資源回復の取組み 【1,560千円】 調査結果報告会開催	



四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
水産業分野					
4. 担い手の確保、育成					
【水産業AP8】(1)協業化の促進					
★協業化の促進		四万十市(農林水産課) 漁業協同組合	◆漁業協同組合や漁業者間の連携が促進され、協業化の動きが生まれている		
【水産業AP9】(2)新規就業者のための研修・フォローアップ					
★講習会、研修会の開催  ◎受入漁家による研修制度の拡充  ★フォローアップ体制の確立		四万十市(農林水産課) 漁業協同組合	◆漁業体験研修の受講者数 H27~H31の5年間で3人  H27:-人		○県と連携した講習会、研修会等への参加促進
2 水産物の加工、販売促進					
1. 水産物の高付加価値化の推進					
【水産業AP10】(1)今ある商品の磨き上げ					
◎品質管理の向上  ★商品力の強化	【商工業分野と共通】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) (実施主体:(株)西土佐ふるさと市) 地方創生加速化交付金を活用 テストマーケティング、試食会、デザイナー招致等による商品の磨き上げ、新商品開発、ブランディング等 ・水産物販売促進事業(あゆ市場) ・新商品開発、ブラッシュアップ、テストマーケティング 10月25日、11月25日、12月15日とWSを3回実施し、2月に松山市大街道及びよって西土佐まつやまでテストマーケティングを実施 ・ファン交流会の実施(クラウドファンディングは次年度へ継続) 都市圏でのファン交流会の実施。CROSSTOKYOとの共催 ・百貨店バイヤー等招致研修会 11月7日羽田エクセルホテル東急シェフ等との研修会 1月12日CROSSTOKYOシェフ等との研修会	四万十市 (農林水産課・産業建設課・観光商工課) 漁業協同組合 (株)西土佐ふるさと市	◆安定した品質が確保され、販売額の増加につながっている		【再掲】 ○下流漁協においてアオサ(ヒトエグサ)、スジアオノリの生産工程(洗い・選別)の均一化と品質管理の徹底を指導 【再掲:商工業分野と共通】 [29,292千円] ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) (実施主体:(株)西土佐ふるさと市) 地方創生推進交付金を活用 ・地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした商品開発 ・クラウドファンディング ・地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした外商活動 ○地域おこし協力隊経費 * 3,174千円 ・あゆ市場拠点 1名配置
【水産業AP11】(2)新たな商品開発					
★未利用資源等の掘起しと利活用  ★新たな商品の企画・開発の支援	【再掲:商工業分野と共通】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) (実施主体:(株)西土佐ふるさと市) 地方創生加速化交付金を活用 ・道の駅地域産品開発等特別対策事業 食品加工開発等支援(水産関連事業採択申請1件) ・新商品開発、ブラッシュアップ、テストマーケティング 10月25日、11月25日、12月15日とWSを3回実施し、2月に松山市大街道及びよって西土佐まつやまでテストマーケティングを実施 ・百貨店バイヤー等招致研修会 11月7日羽田エクセルホテル東急シェフ等との研修会 1月12日CROSSTOKYOシェフ等との研修会	四万十市 (農林水産課・産業建設課・観光商工課) 漁業協同組合	◆一次産品等を活かした新商品の開発 →H31:15アイテム H27:25アイテム  ※水産加工品以外を含む		【再掲:商工業分野と共通】 [29,292千円] ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) (実施主体:(株)西土佐ふるさと市) 地方創生推進交付金を活用 ・地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした産地化促進 ・地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした商品開発 【再掲:水産業・商工業・観光分野と共通】 [408千円] ○食の魅力を活かした地域振興事業 地方創生推進交付金を活用 ・「四万十の食研究会」における活動の継続

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
水産業分野					
	<p>【再掲: 農業・商工業・観光業分野と共通】</p> <p>○食の魅力を活かした地域振興事業  <b>地方創生加速化交付金を活用</b></p> <p>12月～「四万十の食研究会」を設立し、地域の食材、食文化の掘起しと磨き上げ、「四万十の食」の開発(アドバイザー招致等)</p> <p>月1回ワークショップの開催                      (12月第1回、1月第2回、2月第3回、3月第4回)</p>				<p>地域の食に関する研究を継続し、食に関する取り組みを地域の状況に沿ったものへの磨き上げ(アドバイザー招致等)</p> <p>【再掲】</p> <p>○地域おこし協力隊経費 <span style="float:right">【3,174千円】</span>                      ・あゆ市場拠点 1名配置</p>
2. 販売力の強化と販路拡大					
【水産業API2】(1)漁協の販売力の強化					
<p>◎漁協の販売機能の強化</p> <p>★販路を見据えた漁業</p>	<p>○道の駅「よって西土佐」開設                      四万十川西部漁協「あゆ市場」出店</p> <p>○製氷機修繕補助金                      (事業主体: 下田漁業協同組合)                      1月 製氷機修繕完了【補助金: 182千円】</p> <p>【再掲: 商工業分野と共通】</p> <p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連)                      (実施主体: (株)西土佐ふるさと市)  <b>地方創生加速化交付金を活用</b></p> <p>テストマーケティング、試食会、デザイナー招致等による商品の磨き上げ、新商品開発、ブランディング等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水産物販売促進事業(あゆ市場)</li> <li>・道の駅連携による販売促進</li> <li>6月 R381道の駅関係者との交流会実施(よって西土佐)</li> <li>9月 ±41℃交流準備会(出店: よって西土佐)                          旭川市の商品を道の駅で販売</li> <li>9月 北の恵みうまいものマルシェ2016(旭川市)に出店                          (よって西土佐・ぼっぼ栗・あゆ市場)</li> <li>12月 道の駅「あさひかわ」物産展に出展(よって西土佐)</li> <li>・新商品開発、ブラッシュアップ、テストマーケティング</li> <li>10月25日、11月25日、12月15日とWSを3回実施し、2月に松山市大街道及びよって西土佐まつやまでテストマーケティングを実施</li> <li>・ファン交流会の実施(クラウドファンディングは次年度へ継続)                          都市圏でのファン交流会の実施。CROSSTOKYOとの共催</li> <li>・外商活動                          各スーパー等とのバイヤーと協議し、生鮮野菜を店頭で陳列(実績22店舗)</li> <li>22店舗のうちフジ北浜店・フジ大洲店・ダイキ野市店に「道の駅よって西土佐の産直コーナー」を設置し、県内マルナカ19店舗において「いごっそうなす」の販売。その後協議調整を行い、マルナカ19店舗では生鮮野菜全般に拡大され、サンシャイン21店舗の店頭の太陽市において、産直コーナーが設置された。</li> <li>サンブラザにおいては、流域の道の駅が一堂に集い、道の駅フェアを2回開催した。</li> <li>・百貨店バイヤー等招致研修会                          11月7日羽田エクセルホテル東急シェフ等との研修会                          1月12日CROSSTOKYOシェフ等との研修会</li> <li>・サテライトショップ よって西土佐まつやま</li> </ul>	<p>四万十市                      (農林水産課・産業建設課)                      漁業協同組合</p>	<p>◆漁業協同組合の                      販売機能                      H31: 強化</p>		<p>○荷捌き場の上屋修繕(塗装)補助金 * 559千円                      (事業主体: 下田漁業協同組合)</p> <p>【再掲: 商工業分野と共通】</p> <p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連)                      (実施主体: (株)西土佐ふるさと市)  <b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした商品開発</li> <li>・クラウドファンディング</li> <li>・地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした外商活動</li> </ul> <p>【再掲】</p> <p>○地産外商促進事業(西土佐地域) <span style="float:right">【463千円】</span>                      ・ふるさとまつり【333千円】                      ・枚方物産展【33千円】                      ・大丸フェア春、冬【28千円】</p> <p>【再掲】</p> <p>○地域おこし協力隊経費 <span style="float:right">【3,174千円】</span>                      ・あゆ市場拠点 1名配置</p>



四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
水産業分野					
3. 魚食文化の磨き上げと発信					
【水産業AP14】(1)魚食文化の磨き上げ					
<p>★魚食文化の磨き上げ</p> <p>【再掲】</p> <p>★未利用資源等の掘起しと利活用</p>	<p>【再掲: 農業・商工業・観光業分野と共通】</p> <p>○食の魅力を活かした地域振興事業</p> <p><b>地方創生加速化交付金を活用</b></p> <p>12月～「四万十の食研究会」を設立し、地域の食材、食文化の掘起しと磨き上げ、「四万十の食」の開発(アドバイザー招致等)</p> <p>月1回ワークショップの開催 (12月第1回、1月第2回、2月第3回、3月第4回)</p> <p>【再掲: 商工業分野と共通】</p> <p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連)</p> <p>(実施主体: (株)西土佐ふるさと市)</p> <p><b>地方創生加速化交付金を活用</b></p> <p>・新商品開発、ブラッシュアップ、テストマーケティング 10月25日、11月25日、12月15日とWSを3回実施し、2月に松山市大街道及びよって西土佐まつやまでテストマーケティングを実施</p> <p>・百貨店/バイヤー等招致研修会 11月7日羽田エクセルホテル東急シェフ等との研修会 1月12日CROSS TOKYOシェフ等との研修会</p>	<p>四万十市 (農林水産課・産業建設課・観光商工課)</p> <p>漁業協同組合 中村料理飲食店組合</p>	<p>◆四万十の“食”として市内外の知名度が向上し、販売や交流人口の拡大につながっている。</p>		<p>【再掲: 水産業・商工業・観光業分野と共通】</p> <p>○食の魅力を活かした地域振興事業 <b>【408千円】</b></p> <p><b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <p>・「四万十の食研究会」における活動の継続</p> <p>地域の食に関する研究を継続し、食に関する取り組みを地域の状況に沿ったものへの磨き上げ(アドバイザー招致等)</p> <p>【再掲: 商工業分野と共通】</p> <p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) <b>【29,292千円】</b></p> <p>(実施主体: (株)西土佐ふるさと市)</p> <p><b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <p>・地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした商品開発</p> <p>【再掲】</p> <p>○地域おこし協力隊経費 <b>【3,174千円】</b></p> <p>・あゆ市場拠点 1名配置</p>
【水産業AP15】(2)魚食文化の発信強化					
<p>★グルメイベント等での魚食文化の発信</p>	<p>【再掲: 商工業分野と共通】</p> <p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連)</p> <p>(実施主体: (株)西土佐ふるさと市)</p> <p><b>地方創生加速化交付金を活用</b></p> <p>・道の駅連携による販売促進</p> <p>9月 北の恵みうまいものマルシェ2016(旭川市)に出店 (よって西土佐・ぽっぽ栗・あゆ市場)</p> <p>【再掲: 商工業分野と共通】</p> <p>○地産外商促進</p> <p>10月 フェスティバル土佐ふるさとまつり(あゆ市場)</p> <p>11月 枚方市交流物産展(あゆ市場)</p> <p>【観光分野と共通】</p> <p>○食の発信・普及イベント等</p> <p>7月 星の郷西土佐「天の川まつり」(あゆ市場)</p> <p>8月 西土佐ふるさと市「夏の感謝祭」(あゆ市場)</p> <p>11月 黒尊むらまつり(あゆ市場)</p> <p>四万十うまいもの商店街(あゆ市場)</p>	<p>四万十市 (農林水産課・産業建設課・観光商工課)</p> <p>漁業協同組合 中村料理飲食店組合</p>	<p>◆四万十の“食”として市内外の知名度が向上し、販売や交流人口の拡大につながっている。</p>		<p>【再掲: 商工業分野と共通】</p> <p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連)</p> <p>(実施主体: (株)西土佐ふるさと市)</p> <p><b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <p>・地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした外商活動</p> <p>【再掲】</p> <p>○地産外商促進事業(西土佐地域) <b>【463千円】</b></p> <p>・ふるさとまつり【333千円】</p> <p>・枚方物産展【33千円】</p> <p>【再掲】</p> <p>○地域おこし協力隊経費 <b>【3,174千円】</b></p> <p>・あゆ市場拠点 1名配置</p>



四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 <数量的に見える形で具体的に記載>	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
水産業分野					
3 水産資源を活用した交流の拡大					
1. 体験交流の推進					
【水産業AP16】(1)魅力ある体験商品づくり					
★体験商品の磨き上げ  ★川の体験ガイドブックの作製	○川漁体験学習等 種苗放流体験、四万十川ガキ体験、親子川漁体験、アユのしゃくり漁体験 ※種苗放流以外は、冷水病でアユが確保できず取りやめ 【観光分野と共通】 ○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業 (事業主体:幡多広域観光協議会) 地方創生加速化交付金を活用 教育旅行用川漁体験プログラム	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 漁業協同組合	◆体験・宿泊等のプラン 作成件数 H31:10アイテム H27:3アイテム  ※漁業体験以外を含む		【再掲】 ○四万十川漁業振興協議会補助金 【150千円】 ・種苗放流体験、川漁体験学習、アユしゃくり漁等
【水産業AP17】(2)体験教室等の開催					
◎体験教室の開催	○種苗放流体験 (実施主体:四万十川漁業振興協議会) 各漁業協同組合の種苗放流時に実施 稚アユ放流体験:藤岡小学校、西土佐小学校 ヒラメ稚魚放流体験:下田小学校  ○川漁体験学習 (実施主体:四万十川中央漁業協同組合、幡多広域観光協議会) ・10月5日 南国市十市小学校児童を対象に投網漁、しゃくり漁体験を香南市で実施 小学5年生63名参加。アユ30kg。  ○親子川漁体験 (実施主体:四万十川中央漁業協同組合) ・10月21日 中村幼稚園児を対象にアユのつかみ取りを実施 年長、年中組約70名と保護者が参加。アユ37kg。  ○四万十川ガキ体験 (実施主体:四万十の日実行委員会、四万十楽舎) ・9月4日 四万十川、黒尊川で川漁及び川遊び体験を実施 親子3組(年長)が参加	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 漁業協同組合 四万十の日実行委員会	◆自然や漁業への関心と資源 保護に対する市民意識が向上 している		○種苗放流体験 — (実施主体:四万十川漁業振興協議会) ・各漁業協同組合の種苗放流時に実施 稚アユ放流体験 ヒラメ稚魚放流体験  ○親子川漁体験 — (実施主体:四万十川中央漁業協同組合)  ○四万十の日実行委員会補助金 * 160千円 ・四万十川ガキ体験【100千円】 (柴漬け漁、コロバシ漁、川遊び体験) ・親子川漁体験【60千円】 (投網漁体験、アユのつかみどり)

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 <数量的に見える形で具体的に記載>	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
商工業分野					
1 顧客に選ばれる商工業の振興					
1. 地域資源を活かした商品開発					
【商工業API】(1)今ある特産品等商品の磨き上げ					
○テストマーケティング	○四万十市特産品販路拡大事業 (実施主体:しまんと百笑かんぱに(株)) <b>四万十市産振総合補助金を活用</b> 食品関連業者以外も集まる展示会へ出展し、取扱商品の販路拡大を図る 9月 ROOMS33(東京)出展 <b>【農業分野と共通】</b> ○四万十市特産品等販売促進事業 (実施主体:四万十市地域商品研究会) <b>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</b> 11月 高知県物産展in台湾 2業者出展 2月 グルメ&ダイニングスタイルショー(東京ビックサイト) 3業者出展 スーパーマーケットトレードショー(幕張メッセ) 3業者出展 <b>【農業分野と共通】</b> ○産地視察型商談会の開催 四万十町で開催されたため未実施。来年度幡多広域地産外商協議会で実施を検討。 <b>【再掲:各分野共通】</b> ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) (実施主体:(株)西土佐ふるさと市) <b>地方創生加速化交付金を活用</b> テストマーケティング、試食会、デザイナー招致等による商品の磨き上げ、新商品開発、ブランディング等 ・試食会 道の駅で月1回のペースで実施(旬の野菜のフェア) ・新商品開発、ブラッシュアップ、テストマーケティング 10月25日、11月25日、12月15日とWSを3回実施し、2月に松山市大街道及びよって西土佐まつやまでテストマーケティングを実施 ・百貨店バイヤー等招致研修会 11月7日羽田エクセルホテル東急シェフ等との研修会 1月12日CROSS TOKYOシェフ等との研修会 ・外商活動 各スーパー等とのバイヤーと協議し、生鮮野菜を店頭で陳列(実績22店舗) 22店舗のうちフジ北浜店・フジ大洲店・ダイキ野市店に「道の駅よって西土佐の産直コーナー」を設置し、県内マルナカ19店舗において「いごっそうなす」の販売。その後協議調整を行い、マルナカ19店舗では生鮮野菜全般に拡大され、サンシャイン21店舗の店頭の太陽市において、産直コーナーが設置された。 サンプラザにおいては、流域の道の駅が一堂に集い、道の駅フェアを2回開催した。	四万十市 (観光商工課・産業建設課・農林水産課)  関係団体・組織 事業者 生産者	◆商品の磨き上げに積極的に取り組む事業者が増加している  ◆加工原料の安定確保と地域資源の付加価値向上により、雇用創出と生産者の所得向上につながっている。		○特産品等販売促進事業(商談会出展) * 3,096千円 <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・市内特産品販売促進のため、大規模商談会へ出展支援 スーパーマーケットトレードショー 東京インターナショナルギフトショー  ○産地視察型商談会の開催 — 幡多広域地産外商協議会で実施を検討 <b>【再掲】</b> ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) 【29,292千円】 (実施主体:(株)西土佐ふるさと市) <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした商品開発  ○地域の頑張る人づくり事業補助金 1,240千円 * 1,240千円 (事業主体:四万十市地域商品研究会) ・市内事業者が連携、参画し、専門アドバイザーを招致してのスキルアップ研修を実施 ・研修テーマ:海外市場での販路開拓に必要な知識の習得 ・研修期間等:平成29年5月~12月(全6回を予定) <b>【再掲】</b> ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) 【29,292千円】 (実施主体:(株)西土佐ふるさと市) <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした商品開発  ○県などが開催する食品表示セミナー等への参加促進 —
○商品の品質、ラベル等の磨き上げや表示の適正化	○四万十市特産品販路拡大事業【補助金額:1,136千円】 (実施主体:しまんと百笑かんぱに(株)) <b>四万十市産振総合補助金を活用</b> ・安全で長期保存できる商品に改善することで販路の拡大を図る。 9月 脱気シーラー購入、玄米低温貯蔵庫購入 10月 事業完了				

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 <数量的に見える形で具体的に記載>	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
商工業分野	<p>○地元素材を活用した新商品開発・販促事業【交付決定額:2,670千円】                      (実施主体:WANLIFE)                      四万十市産振総合補助金を活用                      ・品質に関して分かり易い表示となるよう商品の裏ラベルを一新                      食品加工室の改修、食品衛生検査、裏ラベルの作成、ギフトセット用                      資材作成</p> <p>○四万十餃子企画開発・販路開拓事業【交付決定額:1,000千円】                      (事業主体:侷和)                      四万十市産振総合補助金を活用                      ・商品ロゴやパッケージ等を一新し、デザインの統一感を出すことで商品の訴                      求力を向上させる                      会社ロゴ、パンフレット、商品パッケージ、販促ツールの作成</p> <p>○研修事業等の情報提供(県主催)等                      ・5月～11月 食品表示セミナー、衛生管理関連研修(県主催)等</p> <p>【農業分野と共通】</p> <p>○地域の頑張る人づくり事業                      (事業主体:四万十市地域商品研究会)                      マーケティングや販路開拓等に関する研修を行い効果的な外商活動を                      企画・展開できる人材育成を図る。                      ・研修実施及び研修テーマ(実績:7回)                      5月 これからの売上げづくりの考え方                      7月 マーケティング戦略の考え方                      9月 四万十ブランドを利用した販売戦略                      10月 品質向上の考え方と商品開発の考え方                      11月 ソーシャルメディア活用術                      1月 知的財産セミナー                      3月 ソーシャルメディアの活用術</p> <p>【再掲:農業分野共通】</p> <p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よっ                      て西土佐」関連)                      (実施主体:(株)西土佐ふるさと市)                      地方創生加速化交付金を活用                      テストマーケティング、試食会、デザイナー招致等による商品の磨き上                      げ、新商品開発、ブランディング等                      ・新商品開発、ブラッシュアップ、テストマーケティング                      10月25日、11月25日、12月15日とWSを3回実施し、2月に松山市大街道                      及びよって西土佐まつやまでテストマーケティングを実施                      ・道の駅地域産品開発等特別対策事業                      食品加工開発等支援(事業実施5件)                      ・百貨店バイヤー等招致研修会(1月～)                      11月7日羽田エクセルホテル東急シェフ等との研修会                      1月12日CROSSTOKYOシェフ等との研修会</p>		◆食品加工開発等支援 (3ヶ年事業) H26(5件)、H27(5件) H28(5件)		

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
商工業分野					
◎加工原料の安定確保に向けたマッチングの促進	<p><b>【再掲: 農業分野共通】</b></p> <p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よつて西土佐」関連) (実施主体: (株)西土佐ふるさと市) <b>地方創生加速化交付金を活用</b></p> <p>テストマーケティング、試食会、デザイナー招致等による商品の磨き上げ、新商品開発、ブランディング等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道の駅地域産品開発等特別対策事業</li> <li>食品加工開発等支援(事業実施5件)</li> <li>ミニハウステンタル事業(3棟)</li> </ul> <p>○農商工連携検討チームの開催 関係4団体と随時協議を行っているため合同開催は見送り</p>		◆ミニハウステンタル事業実績 (3ヶ年事業) H26: 3棟、H27: 3棟 H28: 3棟		
【商工業AP2】(2)魅力ある素材・アイデアの掘起し					
◎事業者、地域等の提案を拾い上げる体制強化 ★事業者間のマッチング機会の創出	<p><b>【再掲: 農業分野と共通】</b></p> <p>○地域の頑張る人づくり事業 (事業主体: 四万十市地域商品研究会) マーケティングや販路開拓等に関する研修を行い効果的な外商活動を企画・展開できる人材育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研修実施及び研修テーマ(実績: 7回)</li> <li>5月 これからの売上げづくりの考え方</li> <li>7月 マーケティング戦略の考え方</li> <li>9月 四万十ブランドを利用した販売戦略</li> <li>10月 品質向上の考え方と商品開発の考え方</li> <li>11月 ソーシャルメディア活用術</li> <li>1月 知的財産セミナー</li> <li>3月 ソーシャルメディアの活用術</li> </ul> <p><b>【観光分野共通】</b></p> <p>○地域おこし協力隊事業 6名配置 富山地区、大川筋・後川地区、須崎地区、大宮地区、奥屋内地区、半家地区にそれぞれ1名配置</p> <p>○地域のグループとの意見交換会等 地域の情報発信や商品開発等に向けた取組について総合的な支援策等を検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6月 片魚地区で集落活動センター説明会(県) (東富山を守る会)</li> <li>7月、8月 ミツ又地区でインターネットを活用した地域づくりや外商活動の協議(高知県地域づくり支援事業を活用)</li> <li>8月 大屋敷地区で地産外商のための協議</li> <li>10月 大屋敷地区で地産外商の拡大にむけての協議 (高知県地域づくり支援事業の活用を検討)</li> <li>1月 大屋敷地区で地産外商の拡大にむけての協議 (組織規約、生産品目、生産体制等の確認)</li> <li>3月 ミツ又地区(ミツ又廃村を免れ隊の地産外商用HP完成)</li> </ul>	四万十市 (観光商工課・産業建設課・企画広報課)  関係団体・組織 事業者 生産者	◆事業者や地域からの提案、相談に対してワンストップで対応できる体制が充実している  ◆一次産品等を活かした新商品の開発 →H31: 15アイテム H27: 25アイテム		<p><b>【再掲】</b></p> <p>○地域の頑張る人づくり事業補助金 1,240千円 <b>【1,240千円】</b> (事業主体: 四万十市地域商品研究会) ・市内事業者が連携、参画し、専門アドバイザーを招致してのスキルアップ研修を実施 ・研修テーマ: 海外市場での販路開拓に必要な知識の習得 ・研修期間等: 平成29年5月～12月(全6回を予定)</p> <p>○地域おこし協力隊事業 * 21,029千円 ・富山地区、大川筋・後川地区【2名: 7,845千円】 ・須崎地区、大宮地区、奥屋内地区、半家地区【4名: 13,184千円】</p> <p>○四万十市地域支援総合事業費補助金(地域づくり支援事業) * 986千円 (実施主体: 大屋敷四万十市のしづく生産組合) ・真空パック、冷蔵庫、ラベルプリンター、計量器購入</p>



四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
商工業分野					
<p>【商工業AP3】(3)新たな特産品等の商品開発</p> <p>○新たな商品・サービス等の企画・開発支援</p> <p>○アドバイザーの派遣</p> <p>○試作品のテストマーケティング</p>	<p>【再掲】</p> <p>○地元素材を活用した新商品開発・販促事業【交付決定額:2,670千円】 (実施主体:WANLIFE) <b>四万十市産振総合補助金を活用</b></p> <p>・地域の素材にこだわった安全安心で、付加価値の高い「ペットフード」の新商品やギフトセットを開発する 裏ラベルの作成、ギフトセット用資材作成</p> <p>【再掲:農業分野と共通】</p> <p>○地域の頑張る人づくり事業 (事業主体:四万十市地域商品研究会) マーケティングや販路開拓等に関する研修を行い効果的な外商活動を企画・展開できる人材育成を図る。 ・研修実施及び研修テーマ(実績:7回) 5月 これからの売上げづくりの考え方 7月 マーケティング戦略の考え方 9月 四万十ブランドを利用した販売戦略 10月 品質向上の考え方と商品開発の考え方 11月 ソーシャルメディア活用術 1月 知的財産セミナー 3月 ソーシャルメディアの活用術</p> <p>【再掲:農業分野と共通】</p> <p>○特産品等販売促進事業【交付決定額:1,661千円】 (実施主体:四万十市地域商品研究会) <b>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</b></p> <p>11月 海外でのフェア出展(高知県物産展in台湾) 2業者出展 2月 グルメ&amp;ダイニングスタイルショー(東京ビックサイト) 3業者出展 スーパーマーケットトレードショー(幕張メッセ) 3業者出展</p> <p>【再掲:農業分野と共通】</p> <p>○産地視察型商談会の開催 四万十町で開催されたため未実施。来年度幡多広域地産外商協議会で実施を検討。</p> <p>【再掲:各分野共通】</p> <p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よつて西土佐」関連) (実施主体:(株)西土佐ふるさと市) <b>地方創生加速化交付金を活用</b></p> <p>テストマーケティング、試食会、デザイナー招致等による商品の磨き上げ、新商品開発、ブランディング等</p> <p>・試食会 道の駅で月1回のペースで実施(旬の野菜のフェア)</p> <p>・新商品開発、ブラッシュアップ、テストマーケティング 10月25日、11月25日、12月15日とWSを3回実施し、2月に松山市大街道及びよつて西土佐まつやまでテストマーケティングを実施</p> <p>・道の駅地域産品開発等特別対策事業 食品加工開発等支援(事業実施5件) ミニハウスレンタル事業(3棟) 11月7日羽田エクセルホテル東急シェフ等との研修会 1月12日CROSSTOKYOシェフ等との研修会</p>	<p>四万十市 (観光商工課・産業建設課・農林水産課)</p> <p>関係団体・組織 事業者 生産者</p>	<p>◆一次産品等を活かした新商品の開発 →H31:15アイテム H27:25アイテム</p> <p>◆食品加工開発等支援 (3ヶ年事業) H26(5件)、H27(5件) H28(5件)</p> <p>◆ミニハウスレンタル事業実績 (3ヶ年事業) H26:3棟、H27:3棟 H28:3棟</p>		<p>【再掲】</p> <p>○特産品等販売促進事業(商談会出展) <b>【3,096千円】</b> <b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <p>・市内特産品販売促進のため、大規模商談会へ出展支援 スーパーマーケットトレードショー 東京インターナショナルギフトショー</p> <p>【再掲】</p> <p>○地域の頑張る人づくり事業補助金 1,240千円 <b>【1,240千円】</b> (事業主体:四万十市地域商品研究会) ・市内事業者が連携、参画し、専門アドバイザーを招致してのスキルアップ研修を実施 ・研修テーマ:海外市場での販路開拓に必要な知識の習得 ・研修期間等:平成29年5月~12月(全6回を予定)</p> <p>【再掲】</p> <p>○県などが開催する食品表示セミナー等への参加促進 —</p> <p>【再掲】</p> <p>○産地視察型商談会の開催 — 幡多広域地産外商協議会で実施を検討</p> <p>【再掲】</p> <p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よつて西土佐」関連) <b>【29,292千円】</b> (実施主体:(株)西土佐ふるさと市) <b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <p>・地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした産地化促進 ・地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした商品開発 ・地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした外商活動</p>

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 <数量的に見える形で具体的に記載>	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
商工業分野	・外商活動 各スーパー等とのバイヤーと協議し、生鮮野菜を店頭陳列(実績22店舗) 22店舗のうちフジ北浜店・フジ大洲店・ダイキ野市店に「道の駅よって西土佐の産直コーナー」を設置し、県内マルナカ19店舗において「いごっそうなす」の販売。その後協議調整を行い、マルナカ19店舗では生鮮野菜全般に拡大され、サンシャイン21店舗の店頭の太陽市において、産直コーナーが設置された。 サンプラザにおいては、流域の道の駅が一堂に集い、道の駅フェアを2回開催した。				
【商工業AP4】(4)商品の販路開拓・販売促進	○商店街活性化モデル事業 (事業主体:中村商工会議所) 5月 公家行列及び地域産品の販促PRを支援 【再掲】 ○地元素材を活用した新商品開発・販促事業【交付決定額:2,670千円】 (実施主体:WANLIFE) 四万十市産振総合補助金を活用 9月 ペット博(大阪会場)に出展 10月 ペット博(広島会場)に出展 1月 ペット博(横浜会場)に出展 【再掲】 ○四万十市特産品販路拡大事業【補助金額:1,136千円】 (実施主体:しまんと百笑かんぱに株) 四万十市産振総合補助金を活用 9月 ROOMS33(東京)出展 10月 事業完了 【再掲】 ○四万十餃子企画開発・販路開拓事業【交付決定額:1,000千円】 (事業主体:侑和) 四万十市産振総合補助金を活用 10月 第5回土佐っておいしい!食の大商談会(東京) 11月 第8回土佐の宴~高知家の食卓~(大阪) 外食ビジネスウィーク2016(九州) 【農業分野共通】 ○四万十フェア開催(幡多広域地産外商推進協議会) 10月 岡山マルイ(津山市)にて幡多フェア開催(16業者出店) ○大手居酒屋チェーンや県内外の飲食店への販促 12月~1月 土佐清水ワールド3店舗(神戸)で幡多フェア開催 2月 ㈱ワールド・ワンと幡多6市町村間で連携協定締結 3月 幡多地域の食材をメインに使用する土佐清水ワールド幡多バル(洋風居酒屋)が神戸市でオープン 【再掲:農業分野と共通】 ○産地視察型商談会の開催 四万十町で開催されたため未実施。来年度幡多広域地産外商協議会で実施を検討。	四万十市 (観光商工課・産業建設課・農林水産課・企画広報課) 関係団体・組織 事業者 生産者	◆観光分野など産業間が連携し、多様な外商活動が展開されている ◆多様な広報・プロモーション活動が展開され、地域産品の販売促進につながっている ◆産業祭来場者数 H25:2,000人 → H31:20,000人 H27:12,500人 ◆商談会等での商談件数 H26:108件/年 → H31:150件/年 H27:134件/年		○商店街活性化モデル事業 900千円 * 900千円 (事業主体:中村商工会議所) ・公家行列及び地域産品の販売PRを支援 【農業分野と共通】 ○四万十フェア開催 * 621千円 地方創生推進交付金を活用 ・東京、岡山、近畿、九州地方で地域産品のPR、販売フェアを実施 【農業分野と共通】 ○幡多広域地産外商推進協議会負担金 * 50千円 地方創生推進交付金を活用 ・幡多6市町村共同による外商活動を展開 【農業分野と共通】 ○大手居酒屋チェーンや県内外の飲食店への販促 - ・地元農産物を活用した加工品等を紹介し取引を進める ・土佐清水ワールド幡多バルオープン予定 6月:高知市 9月:東京都新宿区 【再掲】 ○産地視察型商談会の開催 - 幡多広域地産外商協議会で実施を検討 【再掲】 ○特産品等販売促進事業(商談会出展) 【3,096千円】 地方創生推進交付金を活用 ・市内特産品販売促進のため、大規模商談会へ出展支援 スーパーマーケットトレードショー 東京インターナショナルギフトショー ○地産外商促進事業(西土佐地域) * 463千円 ・ふるさとまつり【333千円】 ・幡多フェア【33千円】 ・枚方物産展【33千円】 ・大丸フェア春、冬【28千円】 ・その他【30千円】

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
商工業分野  ★産業間連携や広域連携による外 商活動	<p><b>【再掲: 農業分野と共通】</b></p> <p>○四万十市特産品等販売促進事業                      (実施主体: 四万十市地域商品研究会)  <b>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</b>                      11月 高知県物産展in台湾 2業者出展                      2月 グルメ&amp;ダイニングスタイルショー(東京ビックサイト) 3業者出展                      スーパーマーケットトレードショー(幕張メッセ) 3業者出展</p> <p>○幡多広域地産外商推進協議会                      幡多6市町村で協議会を新設し、共同で外商活動を展開                      6月 協議会設立総会                      6~9月 作業部会(4回) 岡山マルイ等への出展協議等                      10月 岡山マルイ幡多フェア(16業者出店)                      12月~3月 土佐清水ワールド協議、今年度の取組の検証と次年度の計                      画協議等</p> <p><b>【農業分野共通】</b></p> <p>○四万十市ふるさと応援団事業                      地元産品及び観光のPR、販売促進                      5月 関東幡多四万十会(東京)</p> <p><b>【農業・水産業分野共通】</b></p> <p>○枚方市・四万十市友好都市交流物産展                      11月 枚方市交流物産展開催 10業者出店</p> <p><b>【農業・水産業・観光分野共通】</b></p> <p>○地産外商促進                      6月 観光・物産展in大阪海遊館                      9月 ぶしゅかん青玉キャンペーン                      (渋谷東急・福島屋六本木店)</p> <p><b>【農業・水産業分野共通】</b></p> <p>10月 フェスティバル土佐ふるさとまつり(高知市)                      12月 高知大丸「冬の味覚祭」出店(山間屋ほか)                      3月 高知大丸「春の味覚祭」出店(山間屋ほか)</p> <p><b>【再掲: 各分野共通】</b></p> <p>○地域商社「㈱西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業 (道の駅「よっ                      て西土佐」関連)  <b>地方創生加速化交付金を活用</b>                      ・サテライトショップ(松山市)開業に向けた協議等                      6月、7月 サテライト事前協議(西土佐、松山)                      9月 改修工事                      10月 サテライトショップ よって西土佐まつやまオープン                      週5日営業(日・火・水・金・土・日)                      11月 よって西土佐まつやまが企画した四万十ツアーに7名が参加                      12月 年末の餅つき実施                      ・道の駅連携による販売促進                      6月 R381道の駅関係者との交流会実施(よって西土佐)                      9月 ±41℃交流準備会(出店:よって西土佐)                      旭川市の商品を道の駅で販売                      9月 北の恵みうまいものマルシェ2016(旭川市)に出店                      (よって西土佐・ぼっぼ栗・あゆ市場)                      12月 道の駅「あさひかわ」物産展に出展(よって西土佐)</p>				<p><b>【再掲】</b></p> <p>○地域商社「㈱西土佐ふるさと市」を核とした地域創                      造事業(道の駅「よって西土佐」関連) <b>【29,292千円】</b>                      (実施主体: ㈱西土佐ふるさと市)  <b>地方創生推進交付金を活用</b>                      ・地域商社「㈱西土佐ふるさと市」を核とした外商                      活動</p> <p><b>【農業・水産業・商工業と共通】</b></p> <p>○枚方市・四万十市友好都市交流物産展                      (実施主体: 枚方市・四万十市友好都市推進協                      議会)                      ・枚方物産展への出展</p> <p><b>【観光分野と共通】</b></p> <p>○シティプロモーション推進事業 * 5,631千円  <b>地方創生推進交付金を活用</b>                      ・ワークショップの開催、プロモーション展開                      ・プロモーションツールの作成</p> <p><b>【各分野共通】</b></p> <p>○西土佐産業祭の開催 * 660千円</p>

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
商工業分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外商活動促進 PV作成、都市圏での物産展、商談会等への出展ほか 9月 PVの撮影 9月 旭川市の物産展参加 10月 高知放送、南海放送で番組放送 10月 県地産外商公社主催の商談会(東京)に参加 10月 津山市、11月枚方市の物産展に参加 12月 道の駅「あさひかわ」物産展に出展 2月 食べTRIPしまんと@CROSSTOKYO(共催)</li> <li>・水産物販売促進事業 (事業主体:四万十川西部漁協「あゆ市場」)</li> <li>・地のモノを使ったスイーツ販売促進事業 (事業主体:四万十の山間屋「山間屋」)</li> </ul> <p>★一元的な情報発信の促進</p> <p><b>【観光分野と共通】</b>                      ○シティプロモーション推進事業                      地方創生推進交付金を活用</p> <p>本市の本質的な魅力、独自性を見極め、国内外から本市に目を向けられるコミュニケーションデザイン(コンセプト、メッセージ、キャッチコピー、ロゴデザイン等)をつくり、多様なツール・媒体(WEB、SNS等)を活用したプロモーションを展開</p> <p>5月～ コミュニケーションデザインの作製委託                      6月、7月 ワーキンググループ開催(2回)                      9月 ワーキンググループ開催(1回)                      11月 四万十市のシンボル・メッセージロゴ(案)の作成                      12月～ ロゴを活用したPRの展開検討                      シティプロモーション基本プラン(まとめ本)の事業化検討                      シティプロモーション周知用ツールの作成</p>				
<b>【商工業AP5】(5)商品開発、販路開拓の中核となる人材、組織の育成</b>	<p><b>【再掲:農業分野と共通】</b>                      ○地域の頑張る人づくり事業                      (事業主体:四万十市地域商品研究会)                      マーケティングや販路開拓等に関する研修を行い効果的な外商活動を企画・展開できる人材育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修実施及び研修テーマ(実績:7回)                          5月 これからの売上づくりの考え方                          7月 マーケティング戦略の考え方                          9月 四万十ブランドを利用した販売戦略                          10月 品質向上の考え方と商品開発の考え方                          11月 ソーシャルメディア活用術                          1月 知的財産セミナー                          3月 ソーシャルメディアの活用術</li> </ul>	四万十市 (観光商工課・産業建設課・農林水産課) 関係団体・組織 事業者 生産者	◆組織を核として、事業者間で協働した商品開発、販路開拓等の取組みが円滑に推進されている		<p><b>【再掲】</b>                      ○地域の頑張る人づくり事業補助金 1,240千円 <b>【1,240千円】</b>                      (事業主体:四万十市地域商品研究会)                      ・市内事業者が連携、参画し、専門アドバイザーを招致してのスキルアップ研修を実施                      ・研修テーマ:海外市場での販路開拓に必要な知識の習得                      ・研修期間等:平成29年5月～12月(全6回を予定)</p> <p><b>【再掲:農業分野と共通】</b>                      ○幡多広域地産外商推進協議会負担金 <b>【50千円】</b>                      地方創生推進交付金を活用                      ・幡多6市町村共同による外商活動を展開</p>



四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
商工業分野 ★商品開発、販路開拓の推進組織の設立・運営	<b>【再掲】</b> ○幡多広域地産外商推進協議会 幡多6市町村で協議会を新設し、共同で外商活動を展開 6月 協議会設立総会 6～9月 作業部会(4回)岡山マルイ等への出展協議等 10月 岡山マルイ幡多フェア(16業者出店) 12月～3月 土佐清水ワールド協議、今年度の取組の検証と次年度の計画協議等 <b>【再掲: 農業分野と共通】</b> ○四万十市特産品等販売促進事業 (実施主体: 四万十市地域商品研究会) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 11月 高知県物産展in台湾 2業者出展 2月 グルメ&ダイニングスタイルショー(東京ビックサイト) 3業者出展 スーパーマーケットトレードショー(幕張メッセ) 3業者出展				
2. 四万十の“食”文化の磨き上げと発信					
<b>【商工業AP6】(1)四万十の“食”文化の磨き上げ</b> ○四万十の食文化の掘起し、磨き上げ ○塩たたきのブランド化の推進 <b>【再掲】</b> ★地産地消認証店制度 ★ジビエ料理等の研究、普及	<b>【観光分野と共通】</b> ○おもてなし向上事業 (実施主体: 四万十黒潮旅館組合) 四万十市産振総合補助金を活用 宿泊とのセットプランの造成・販売等 7月～ ・「玉姫様と通行手形」との宿泊セットプラン (宿泊施設15、飲食店33と連携) ・トンボ王国誘客プラン ・四万十周遊バス(二次交通)との宿泊セットプラン ・「着物で街歩き」との宿泊セットプラン ・「ペットホテル」との宿泊セットプラン ・スイーツ券付宿泊プラン <b>【農業・観光分野と共通】</b> ○食の魅力を活かした地域振興事業 地方創生加速化交付金を活用 12月～ 「四万十の食研究会」を設立し、地域の食材、食文化の掘起しと磨き上げ、「四万十の食」の開発(アドバイザー招致等) 月1回ワークショップの開催 (12月第1回、1月第2回、2月第3回、3月第4回)	四万十市 (観光商工課・産業建設課・農林水産課) 商工会議所、商工会 中村料理飲食店組合 四万十黒潮旅館組合 事業者 生産者	◆四万十の“食”として市内外の知名度が向上し、観光誘客など市街地への人の回遊につながっている。 ◆商店街通行者数(平日) H22～H26平均: 4,725人/日 → H31: 4,845人/日 H27: 4,591人/日		<b>【再掲: 観光分野と共通】</b> ○食の魅力を活かした地域振興事業 <b>【408千円】</b> 地方創生推進交付金を活用 ・「四万十の食研究会」における活動の継続 地域の食に関する研究を継続し、食に関する取り組みを地域の状況に沿ったものへの磨き上げ(アドバイザー招致等)
<b>【商工業AP7】(2)地域を拠点とした食の発信</b>					
◎食の発信・普及イベント等の開催	<b>【再掲: 観光分野と共通】</b> ○食の魅力を活かした地域振興事業 地方創生加速化交付金を活用 12月～ 「四万十の食研究会」を設立し、地域の食材、食文化の掘起しと磨き上げ、「四万十の食」の開発(アドバイザー招致等) 月1回ワークショップの開催 (12月第1回、1月第2回、2月第3回、3月第4回)	四万十市 (観光商工課・産業建設課・農林水産課・企画広報課) 商工会議所、商工会 中村料理飲食店組合 中村菓子パン工業組合	◆四万十の“食”として市内外の知名度が向上し、観光誘客など市街地への人の回遊につながっている。 ◆産業祭来場者数 H25: 2,000人 → H31: 20,000人 H27: 12,500人		<b>【再掲: 観光分野と共通】</b> ○四万十川を活用した魅力向上事業補助金 <b>【1,450千円】</b> (事業主体: 四万十市観光振興連絡会議補助金) ・花と食をテーマとした観光イベント(四万十川花紀行等)の開催、検証等 <b>【再掲: 各分野共通】</b> ○西土佐産業祭の開催 <b>【660千円】</b>

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 <数量的に見える形で具体的に記載>	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
商工業分野	<p><b>【再掲: 農業・観光分野と共通】</b></p> <p>○四万十ぶしゆかん普及推進事業                      (事業主体: 四万十ぶしゆかん生産者組合)  <b>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</b>                      8月 ぶしゆかんヌーボー解禁パーティー</p> <p><b>【水産・観光分野共通】</b></p> <p>○食の発信・普及イベント等                      ○食の発信・普及イベント等                      4月 四万十川花紀行「玖木つつじまつり」                      5月 奥屋内天然色堂「山茶つみ体験」                      6月 四万十川花紀行「紫陽花まつり」                      7月 星の郷西土佐「天の川まつり」                      8月 西土佐ふるさと市「夏の感謝祭」                      11月 黒尊むらまつり(四万十川花紀行「紅葉まつり」)                      四万十うまいもの商店街                      3月 四万十川花紀行入田ヤナギ林菜の花まつり</p> <p><b>【再掲】</b>                      ★一元的な情報発信の促進</p> <p><b>【再掲: 観光分野と共通】</b></p> <p>○シティプロモーション推進事業  <b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <p>本市の本質的な魅力、独自性を見極め、国内外から本市に目を向けられるコミュニケーションデザイン(コンセプト、メッセージ、キャッチコピー、ロゴデザイン等)をつくり、多様なツール・媒体(WEB、SNS等)を活用したプロモーションを展開</p> <p>5月～ コミュニケーションデザインの作製委託                      6、7月 ワーキンググループ開催(2回)                      9月 ワーキンググループ開催(1回)                      11月 四万十市のシンボル・メッセージロゴ(案)の作成                      12月～ ロゴを活用したPRの展開検討                      シティプロモーション基本プラン(まとめ本)の事業化検討                      シティプロモーション周知用ツールの作成</p>	観光協会 四万十市観光振興連絡協議会 西土佐観光推進協議会 四万十黒潮旅館組合			<p><b>【観光分野と共通】</b></p> <p>○各団体等による食の発信・普及イベント等の開催</p> <p><b>【再掲: 観光分野と共通】</b></p> <p>○シティプロモーション推進事業 <b>【5,631千円】</b>  <b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップの開催、プロモーション展開</li> <li>・プロモーションツールの作成</li> </ul>
<p><b>【商工業AP8】(3)都市圏等を拠点とした食の発信</b></p> <p><b>【再掲】</b>                      ★産業間連携や広域連携による外                      商活動</p>	<p><b>【再掲: 農業分野共通】</b></p> <p>○四万十フェア開催                      10月 岡山マルイ(津山市)にて幡多フェア開催(16業者出店)                      2月 (株)ワールド・ワンと幡多6市町村間で連携協定締結                      3月 幡多地域の食材をメインに使用する土佐清水ワールド幡多バル(洋風居酒屋)が神戸市でオープン</p> <p><b>【再掲: 農業・水産業分野共通】</b></p> <p>○枚方市・四万十市友好都市交流物産展                      11月 枚方市交流物産展開催 10業者出店</p> <p><b>【再掲: 農業・水産業・観光分野共通】</b></p> <p>○地産外商促進                      6月 観光・物産展in大阪海遊館                      9月 ぶしゆかん青玉キャンペーン                      (渋谷東急・福島屋六本木店)</p>	四万十市 (観光商工課・産業建設課・農林水産課) 商工会議所、商工会 観光協会 事業者 生産者	◆観光分野など産業間が連携し、多様な外商活動が展開されている		<p><b>【再掲: 農業分野と共通】</b></p> <p>○四万十フェア開催 <b>【621千円】</b>  <b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京、岡山、近畿、九州地方で地域製品のPR、販売フェアを実施</li> </ul> <p><b>【再掲】</b></p> <p>○地産外商促進事業(西土佐地域) <b>【463千円】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとまつり【333千円】</li> <li>・幡多フェア【33千円】</li> <li>・枚方物産展【33千円】</li> <li>・大丸フェア春、冬【28千円】</li> <li>・その他【30千円】</li> </ul>

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 <数量的に見える形で具体的に記載>	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
商工業分野  ★県外を拠点とした店舗等による外商活動	<p><b>【再掲: 農業・水産業分野と共通】</b></p> 10月 フェスティバル土佐ふるさとまつり 12月 高知大丸「冬の味覚祭」出店(山間屋ほか) 3月 高知大丸「春の味覚祭」出店(山間屋ほか) <p><b>【再掲】</b></p> ○四万十市ふるさと応援団事業 地元産品及び観光のPR、販売促進 5月 関東幡多四万十会(東京) <p><b>【再掲】</b></p> ○幡多広域地産外商推進協議会 幡多6市町村で協議会を新設し、共同で外商活動を展開 6月 協議会設立総会 6~9月 作業部会(4回)岡山マルイ等への出展協議等 10月 岡山マルイ幡多フェア(16業者出店) 12月~3月 土佐清水ワールド協議、今年度の取組の検証と次年度の計画協議等 <p><b>【再掲】</b></p> ○地元素材を活用した新商品開発・販促事業【交付決定額:2,670千円】 (実施主体:WANLIFE) <b>四万十市産振総合補助金を活用</b> 9月 ペット博(大阪会場)に出展 10月 ペット博(広島会場)に出展 1月 ペット博(横浜会場)に出展 <p><b>【再掲: 農業分野と共通】</b></p> ○産地視察型商談会の開催 四万十町で開催されたため未実施。来年度幡多広域地産外商協議会で実施を検討。 <p><b>【再掲: 各分野共通】</b></p> ○地域商社「㈱西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よつて西土佐」関連) <b>地方創生加速化交付金を活用</b> ・サテライトショップ(松山市)開業に向けた協議等 6、7月 サテライト事前協議(西土佐、松山) 9月 改修工事 10月 サテライトショップ よつて西土佐まつやまオープン 週5日営業(日・火・水・金・土・日) 11月 よつて西土佐まつやまが企画した四万十ツアーに7名が参加 12月 年末の餅つき実施 ・道の駅連携による販売促進 9月 ±41℃交流準備会(出店:よつて西土佐) 旭川市の商品を道の駅で販売 9月 北の恵みうまいものマルシェ2016(旭川市)に出店 (よつて西土佐・ぼっぼ栗・あゆ市場) 12月 道の駅「あさひかわ」物産展に出展(よつて西土佐) ・外商活動促進 PV作成、都市圏での物産展、商談会等への出展ほか 9月 旭川市の物産展参加 9月 PVの撮影 9月 旭川市の物産展参加 10月 高知放送、南海放送で番組放送				<p><b>【再掲: 農業・水産業・商工業と共通】</b></p> ○枚方市・四万十市友好都市交流物産展 (実施主体:枚方市・四万十市友好都市推進協議会) ・枚方物産展への出展 <p><b>【再掲: 農業分野と共通】</b></p> ○幡多広域地産外商推進協議会負担金 <b>【50千円】</b> <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・幡多6市町村共同による外商活動を展開 <p><b>【再掲】</b></p> ○地域商社「㈱西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よつて西土佐」関連) <b>【29,292千円】</b> (実施主体:㈱西土佐ふるさと市) <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・地域商社「㈱西土佐ふるさと市」を核とした外商活動

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 <数量的に見える形で具体的に記載>	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
商工業分野	10月 県地産外商公社主催の商談会(東京)に参加 10月 津山市、11月枚方市の物産展に参加 12月 道の駅「あさひかわ」物産展に出展 2月 食べTRIPしまんと@CROSSTOKYO(共催)				
3. 地震防災対策における建設事業の推進					
【商工業AP9】(1)施設の長寿命化・南海地震対策の強化による建設事業の確保					
○施設の長寿命化・南海地震対策の強化による建設事業の確保  ○施設の長寿命化・南海地震対策関連の建設事業費(平成28年度当初予算額1,573,248千円) ・市道(橋梁)長寿命化・避難路等整備工事 234,000千円 ・四万十川大橋耐震化整備(県営事業負担金) 2,500千円 ・津波避難路災害復旧工事 9,000千円 ・右山排水ポンプ場長寿命化工事 111,000千円 ・臨時ヘリポート整備工事 12,500千円 ・八東地区防災拠点基地防災広場工事 43,000千円 ・東山地区防災活動拠点施設建築工事 36,000千円 ・八東地区防災コミュニティセンター建築工事 49,600千円 ・八東地区防災拠点施設耐震性給水施設整備工事 112,125千円 ・中村中学校屋内運動場改築工事 482,236千円 ・市民ふれあいセンター耐震化工事 28,547千円 ・住宅等耐震改修助成事業 67,740千円 ・老朽住宅除去助成事業 35,000千円 ・耐震性貯留槽設置工事 166,000千円	四万十市 (地震防災課ほか)	◆建設業を支える若年層の技術者が増加している  ◆施設の長寿命化・南海地震対策 H31:強化  ◆住宅耐震化率 H26:64.1% → H31:73.5% H27:65.66%			○施設の長寿命化・南海地震対策関連の建設事業 * 1,526,213千円費 ・市道(橋梁)長寿命化・避難路等整備工事 168,000千円 ・津波避難路災害復旧工事 9,000千円 ・防災減災ため池整備(県営事業負担金) 4,150千円 ・八東地区防災拠点基地整備工事 110,964千円 ・八東地区防災拠点基地広場整備工事 48,000千円 ・八東地区防災拠点施設耐震性給水施設整備工事 4,000千円 ・八東保育所移転工事 173,892千円 ・大用中学校屋内運動場改築 272,023千円 ・郷土資料館耐震補強等改修・地盤耐震工事 187,901千円 ・市民スポーツセンター耐震補強工事 119,183千円 ・緊急輸送道路等沿道建築物耐震改修助成 24,176千円 ・住宅等耐震改修助成 72,924千円 ・老朽住宅除去事業費助成 27,000千円 ・中央下水道管理センター耐震化工事 70,000千円 ・下水道汚水幹線管渠耐震化工事 35,000千円 ・水道基幹管路耐震化布替工事 200,000千円
2 中心市街地・商店街の活性化					
1. 中心市街地、商店街の魅力・賑わいづくり					
【商工業AP10】(1)回遊性と集客力向上のための拠点づくり					
★土豫銀行跡地活用による拠点整備	○旧土豫銀行跡地利用調査研究 5月・8月 庁内検討委員会 6月 意見交換会 8月 運営会 ・飲食機能とコミュニティスペースとトイレを合わせ 持った施設とする方向で意見集約 10月 第3回運営会 ・統計からの流動人口検証、施設イメージ整理等 11月 第4回運営会 ・コンセプト、イメージパーパス作成等 12月 第5回運営会 ・事業収支の見通し、施設整備等 2月 旧土豫銀行跡地成果報告会 ・ビジネスモデルの構築、事業計画案作成等 第6回運営会開催 ・施設整備について	四万十市 (観光商工課・産業建設課) 商工会議所・商工会 商店街振興組合 高知県 事業者 生産者	◆商店街通行者数(平日) H22~H26平均:4,725人/日 → H31:4,845人/日 H27:4,591人/日		○旧土豫銀行跡地跡地開発事業(6月補正予定) <b>【3,246千円】</b> ・用地測量 ・基本設計 ・アドバイザーの参画(地方創生アドバイザー事業) ○地域・まちなか商業活性化支援事業 (実施主体:東下町商店街振興組合) - ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) * 29,292千円 (実施主体:(株)西土佐ふるさと市) <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした産地化促進 ・地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした商品開発



四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
商工業分野					
<p>○物産館サンリバー四万十との連携</p> <p>◎いちじょこさん市場(食の交流拠点)の機能強化</p> <p>★東下町会館の改築による拠点機能の強化</p> <p>★道の駅「よって西土佐」の整備・機能強化</p>	<p>○よさこい四万十2016 9月 よさこい四万十2016開催 サンリバー四万十、中村駅、各商店街等6箇所で、踊り子隊28チーム1,200人が参加</p> <p>○まちづくり四万十株主総会 6月 いちじょこさん市場の今後の事業展開等について検討 ・地元食材、旬の食材を活用した標品の製造、加工販売 ・製造惣菜、弁当等の販売力強化 ・地域の各種イベントに対する販売促進の実施 ・サービス向上及び交流スペースの活用</p> <p>○地域・まちなか商業活性化支援事業 (実施主体:東下町商店街振興組合) 8月 第1回東下町会館改築調査委員会 構成:高知大学、下町郵便局、地元自治会、高知県、商工会議所、商店街よろず相談アドバイザー、県商店街振興組合連合会、市 11月 第2回東下町会館改築調査委員会 ・建設計画案 2月 第3回東下町会館改築調査委員会 ・調査報告(マーケティング調査、ニーズ調査、ビジョン、課題) 東下町会館改装ワーキング委員会 ・実施計画について</p> <p>【各分野共通】</p> <p>○地域商社「株式会社西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) (実施主体:株式会社西土佐ふるさと市)</p> <p style="background-color: #0070c0; color: white; text-align: center; padding: 2px;">地方創生加速化交付金を活用</p> <p>テストマーケティング、試食会、デザイナー招致等による商品の磨き上げ、新商品開発、ブランディング等</p> <p>・新商品開発、ブラッシュアップ、テストマーケティング 10月25日、11月25日、12月15日とWSを3回実施し、2月に松山市大街道及びよって西土佐まつやまでテストマーケティングを実施</p> <p>・月1回「旬の野菜のフェア」実施(試食会等)</p> <p>・水産物販売促進事業(あゆ市場)</p> <p>・地のモノを使ったスイーツ販売促進事業(ストローベイル)</p> <p>・地産地消</p> <p>・農産物栽培計画指導(栽培講習会実施等)</p> <p>・集出荷支援及び農産物の供給 週1回の農産物集荷 給食C、診療所、特養等への食材供給</p> <p>・道の駅地域産品開発等特別対策事業 食品加工開発等支援(事業実施5件) ミニハウスレンタル事業(3棟)</p> <p>・地域住民の居場所づくり(図書に親しむフェア開催ほか) 8月 道の駅よって西土佐で子ども教室を実施(3回) 12月 西土佐小学校総合学習 高齢者の各種教室を実施</p>		<p>◆道の駅「よって西土佐」 入込客数(レジ通過者)  →H31:13万人</p> <p>◆食品加工開発等支援 (3ヶ年事業) H26(5件)、H27(5件) H28(5件)</p> <p>◆ミニハウスレンタル事業実績 (3ヶ年事業) H26:3棟、H27:3棟 H28:3棟</p>	<p>◆道の駅「よって西土佐」 入込客数(レジ通過者)  →H31:20万人</p>	<p>・クラウドファンディング</p> <p>・地域商社「株式会社西土佐ふるさと市」を核とした外商活動</p> <p>○地域おこし協力隊経費 * 6,694千円</p> <p>・道の駅2名配置</p>

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
商工業分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域観光拠点機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>4月 デジタルサイネージ導入</li> <li>10月おもてなし意識の醸成とインバウンド対応のスキルアップ研修を実施(先進地研修)</li> <li>3月 おもてなし研修の実施</li> </ul> </li> <li>・ファン交流会の実施(クラウドファンディングは次年度へ継続)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>都市圏でのファン交流会の実施。CROSSTOKYOとの共催</li> </ul> </li> <li>・道の駅連携による販売促進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>6月 R381道の駅関係者との交流会実施(よって西土佐)</li> <li>9月 ±41℃交流準備会(出店:よって西土佐)                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>旭川市の商品を道の駅で販売</li> </ul> </li> <li>9月 北の恵みうまいものマルシェ2016(旭川市)に出店(よって西土佐・ぼっぼ栗・あゆ市場)</li> <li>12月 道の駅「あさひかわ」物産展に出展(よって西土佐)</li> </ul> </li> <li>・外商活動                             <ul style="list-style-type: none"> <li>各スーパー等とのバイヤーと協議し、生鮮野菜を店頭陳列(実績22店舗)</li> <li>22店舗のうちフジ北浜店・フジ大洲店・ダイキ野市店に「道の駅よって西土佐の産直コーナー」を設置し、県内マルナカ19店舗において「いごっそうなす」の販売。その後協議調整を行い、マルナカ19店舗では生鮮野菜全般に拡大され、サンシャイン21店舗の店頭の太陽市において、産直コーナーが設置された。</li> <li>サンプラザにおいては、流域の道の駅が一堂に集い、道の駅フェアを2回開催した。</li> </ul> </li> <li>・百貨店バイヤー等招致研修会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>11月7日羽田エクセルホテル東急シェフ等との研修会</li> <li>1月12日CROSSTOKYOシェフ等との研修会</li> </ul> </li> <li>・サテライトショップ よって西土佐まつやま                             <ul style="list-style-type: none"> <li>10月 オープン                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>週5日営業(日・火・水・金・土・日)</li> </ul> </li> <li>11月 よって西土佐まつやまが企画した四万十ツアーに7名が参加</li> <li>12月 年末の餅つき実施</li> </ul> </li> <li>・地域おこし協力隊事業(道の駅2名配置)</li> </ul>				
【商工業AP11】(2)商店街の機能向上 ○商店街活性化ワークショップ等の開催	【再掲】 ○旧土豫銀行跡地利用調査研究 <ul style="list-style-type: none"> <li>5月・8月 庁内検討委員会</li> <li>6月 意見交換会</li> <li>8月 運営会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食機能とコミュニティスペースとトイレを合わせ 持った施設とする方向で意見集約</li> </ul> </li> <li>10月 第3回運営会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・統計からの流動人口検証、施設イメージ整理等</li> </ul> </li> <li>11月 第4回運営会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンセプト、イメージパーパス作成等</li> </ul> </li> <li>12月 第5回運営会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業収支の見通し、施設整備等</li> </ul> </li> </ul>	四万十市 (観光商工課・産業建設課・まちづくり課) 商工会議所・商工会 商店街振興組合	◆商店街通行者数(平日) H22~H26平均:4,725人/日 → H31:4,845人/日 H27:4,591人/日		【再掲】 ○旧土豫銀行跡地跡地開発事業(6月補正予定) <span style="float:right">【3,246千円】</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地測量</li> <li>・基本設計</li> <li>・アドバイザーの参画(地方創生アドバイザー事業)</li> </ul>

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野		平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン 主要内容						
商工業分野						
		2月 旧土産銀行跡地成果報告会 ・ビジネスモデルの構築、事業計画案作成等 第6回運営会開催 ・施設整備について				
	★商店街活性化の核となる人材の確保、育成					
	○商店街空間整備	○商店街路面整備 栄町の2路線の舗装改修 L=120m A=570㎡ 【5,800千円】				
	◎情報発信機能の充実					
【商工業AP12】(3)日常の賑わいにつながる仕組みづくり						
○イベント開催等活性化の仕組みづくり	【再掲】 ○商店街活性化モデル事業 (事業主体:中村商工会議所) 5月 公家行列及び地域産品の販促PRを支援	四万十市 (観光商工課・産業建設課 商工会議所・商工会 商店街振興組合	◆商店街通行者数(平日) H22~H26平均:4,725人/日 → H31:4,845人/日 H27:4,591人/日		【再掲】 ○商店街活性化モデル事業 900千円 【900千円】 (事業主体:中村商工会議所) ・公家行列及び地域産品の販売PRを支援	
○個店のサービス向上	○商店街活性化事業 (事業主体:各商店街振興組合) 中心市街地活性化に資する事業(夜市などのイベント)へ支援。下記の人数は推定人数。 7月 天神橋・東下町土曜夜市(3,172人) 天神橋土曜夜市(-) 8月 一条通土曜夜市(263人)		◆商店街空き店舗対策 補助件数 H26:2件/年 → H31:5件/年 H27:4件/年		○商店街活性化補助金 500千円 * 500千円 (事業主体:各商店街振興組合) ・中心市街地活性化に資する事業(イベント(夜市)など)への支援	
	○しまんと商業振興支援事業 (事業主体:各商店街振興組合) 12月 天神橋ワンコイン商店街ツアー 3月 一条通まちなか博物館				○小京都ジュニア駅伝 * 100千円 (実施主体:小京都ジュニア駅伝大会実行委員会)	
	○小京都ジュニア駅伝大会 1月 第6回小京都四万十ジュニア駅伝大会 小学生:44チーム260人が参加				○チャレンジショップ事業補助金 * 2,861千円 (事業主体:天神橋商店街振興組合) 天神橋チャレンジショップTJB	
	【観光分野と共通】 ○インバウンド(外国人観光客)受入体制向上事業 (事業主体:四万十市観光協会) 着物で街歩きプラン(KIMONOLOILOI)の販売 4月~ 着物レンタル(呉服店と連携)による小京都中村の「街歩き」体験メニュー				○空き店舗対策事業補助金 * 1,125千円 ・空き店舗入居者に対する店舗改修費への支援	
	【観光分野と共通】 ○おもてなし向上事業 (実施主体:四万十黒潮旅館組合) 四万十市産振総合補助金を活用 宿泊とのセットプランの造成・販売等 7月~ ・「玉姫様と通行手形」との宿泊セットプラン (宿泊施設15、飲食店33と連携) ・四万十周遊バス(二次交通)との宿泊セットプラン ・「着物で街歩き」との宿泊セットプラン ・スイーツ券付宿泊プラン					

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
<b>商工業分野</b>					
★個性が光る店舗の集積	○チャレンジショップ事業 (事業主体:天神橋商店街振興組合) ・天神橋チャレンジショップTJB 毎月チャレンジャーの売上実績と課題に対する改善等についての意見交換会(運営会議)を実施 2月末現在:1店舗営業中で独立見込み、1店舗が開業断念  ○空き店舗対策事業 ・空き店舗入居者に対する店舗改修費の支援 H28は申請なし				
<b>【商工業AP13】(4)空き店舗対策</b>					
○空き店舗情報の発信強化とマッチング機会の提供	○天神橋商店街の空き店舗のマッチング (実施主体:天神橋商店街振興組合) チャレンジショップ事業を終えて営業を開始する方を中心に、商店街の空き店舗の家主との調整を行う	四万十市 (観光商工課・産業建設課) 商工会議所・商工会 商店街振興組合	◆商店街空き店舗対策補助件数 H26:2件/年 → H31:5件/年 H27:4件/年		<b>【再掲】</b> ○空き店舗対策事業補助金 <b>【1,125千円】</b> ・空き店舗入居者に対する店舗改修費への支援
◎空き店舗改修等の支援	<b>【再掲】</b> ○空き店舗対策事業 ・空き店舗入居者に対する店舗改修費の支援 H28は申請なし				
<b>2. 創業や経営革新への支援強化</b>					
<b>【商工業AP14】(1)経営指導などサポート体制の強化</b>					
★経営指導などサポート体制の強化	○各種スキルアップ研修等への参加 (実施主体:中村商工会議所) 随時 基礎・応用能力研修会等への会員の受講を促進  ○中小企業振興資金貸付金等 4月 市内5金融機関に2,500万円貸付 3月 各金融機関から返済 貸付実績:H28は1件、1,000千円	四万十市 (観光商工課・産業建設課) 商工会議所・商工会	◆創業に関する相談件数 H26:8件/年 → H31:45件/年 H27:38件/年		○商工業者経営改善普及事業 (事業主体:中村商工会議所、西土佐商工会) ・商工会議所、商工会で策定された「経営発達支援計画」、市が策定した「創業支援計画」に基づき、市、商工会議所、商工会、金融機関等関係機関が連携し、経営についてトータルサポート及びワンストップ窓口化  ○中小企業振興資金貸付金 25,000千円 * 25,000千円
<b>【商工業AP15】(2)創業や経営革新に意欲ある事業者(人材)の育成、スキルアップ</b>					
○事業者の育成、スキルアップ	<b>【再掲:農業分野共通】</b> ○地域の頑張る人づくり事業 (事業主体:四万十市地域商品研究会) マーケティングや販路開拓等に関する研修を行い効果的な外商活動を企画・展開できる人材育成を図る。 ・研修実施及び研修テーマ(実績:7回) 5月 これからの売上づくりの考え方 7月 マーケティング戦略の考え方 9月 四万十ブランドを利用した販売戦略 10月 品質向上の考え方と商品開発の考え方 11月 ソーシャルメディア活用術 1月 知的財産セミナー 3月 ソーシャルメディアの活用術	四万十市 (観光商工課・産業建設課) 商工会議所・商工会	◆創業に関する相談件数 H26:8件/年 → H31:45件/年 H27:38件/年		<b>【再掲】</b> ○商工業者経営改善普及事業 (事業主体:中村商工会議所、西土佐商工会) ・商工会議所、商工会で策定された「経営発達支援計画」、市が策定した「創業支援計画」に基づき、市、商工会議所、商工会、金融機関等関係機関が連携し、経営についてトータルサポート及びワンストップ窓口化  <b>【再掲】</b> ○地域の頑張る人づくり事業補助金 1,240千円 <b>【1,240千円】</b> (事業主体:四万十市地域商品研究会) ・市内事業者が連携、参画し、専門アドバイザーを招致してのスキルアップ研修を実施 ・研修期間等:平成29年5月~12月(全6回を予定)



四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野		平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン 主な内容						
商工業分野						
		<p><b>【再掲】</b> ○チャレンジショップ事業 (事業主体:天神橋商店街振興組合) ・天神橋チャレンジショップTJB 毎月チャレンジャーの売上実績と課題に対する改善等についての意見交換会(運営会議)を実施 2月末現在:1店舗営業中で独立見込み、1店舗が開業断念</p> <p><b>【再掲】</b> ○空き店舗対策事業 ・空き店舗入居者に対する店舗改修費の支援 H28は申請なし</p>				<p>・研修テーマ:海外市場での販路開拓に必要な知識の習得</p> <p><b>【再掲】</b> ○チャレンジショップ事業補助金 <b>【2,861千円】</b> (事業主体:天神橋商店街振興組合) 天神橋チャレンジショップTJB</p> <p><b>【再掲】</b> ○空き店舗対策事業補助金 <b>【1,125千円】</b> ・空き店舗入居者に対する店舗改修費への支援</p> <p>○県、商工関連団体などが開催する各種スキルアップ研修会等への参加促進</p>
<b>3 中山間地域の商業機能の確保</b>						
<b>1. 小さな(田舎)ビジネスの推進</b>						
<b>【商工業AP16】(1)集落、小グループが取り組むコミュニティービジネス等の発掘、育成</b>						
	<p><b>【再掲】</b> ◎事業者、地域等の提案を拾い上げる体制強化 ◎地域ならではのアイデア、資源を活かした商品開発</p>	<p><b>【再掲:農業分野共通】</b> ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よつて西土佐」関連) (実施主体:(株)西土佐ふるさと市) <b>地方創生加速化交付金を活用</b> テストマーケティング、試食会、デザイナー招致等による商品の磨き上げ、新商品開発、ブランディング等 ・道の駅地域産品開発等特別対策事業 食品加工開発等支援(事業実施5件) ミニハウスレンタル事業(3棟)</p> <p><b>【再掲】</b> ○地域のグループとの意見交換会等 地域の情報発信や商品開発等に向けた取組について総合的な支援策等を検討 6月 片魚地区で集落活動センター説明会(県) (東富山を守る会) 7月、8月 ミツ又地区でインターネットを活用した地域づくりや外商活動の協議(高知県地域づくり支援事業を活用) 8月 大屋敷地区で地産外商のための協議 10月 大屋敷地区で地産外商の拡大にむけての協議 (高知県地域づくり支援事業の活用を検討) 1月 大屋敷地区で地産外商の拡大にむけての協議 (組織規約、生産品目、生産体制等の確認) 3月 ミツ又地区(ミツ又廃村を免れ隊の地産外商用HP完成)</p>	<p>四万十市 (観光商工課・産業建設課・農林水産課・企画広報課・地域企画課)</p> <p>地域おこし協力隊 集落組織・グループ 事業者 生産者</p>	<p>◆事業者や地域からの提案、相談に対してワンストップで対応できる体制が充実している</p> <p>◆集落単位やグループの「小さなビジネス」展開など、地域連携や活性化の動きが広がっている</p> <p>◆食品加工開発等支援 (3ヶ年事業) H26(5件)、H27(5件) H28(5件)</p> <p>◆ミニハウスレンタル事業実績 (3ヶ年事業) H26:3棟、H27:3棟 H28:3棟</p>		<p><b>【再掲】</b> ○地域おこし協力隊事業 <b>【21,029千円】</b> ・富山地区、大川筋・後川地区【2名:7,845千円】 ・須崎地区、大宮地区、奥屋内地区、半家地区 【4名:13,184千円】</p> <p>○地域おこし協力隊起業補助金 * 1,000千円 ・地域おこし協力隊修了者の起業への支援</p> <p><b>【再掲】</b> ○四万十市地域支援総合事業費補助金(地域づくり支援事業) <b>【986千円】</b> (実施主体:大屋敷四万十市のしづく生産組合) ・真空パック、冷蔵庫、ラベルプリンター、計量器購入</p> <p><b>【再掲】</b> ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よつて西土佐」関連) <b>【29,292千円】</b> (実施主体:(株)西土佐ふるさと市) <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした産地化促進</p>
<b>【商工業AP17】(2)地域の人、もの、コトの発信</b>						
	◎地域の人、もの、コトの発信	<p><b>【再掲:観光分野と共通】</b> ○シティプロモーション推進事業 <b>地方創生推進交付金を活用</b> 本市の本質的な魅力、独自性を見極め、国内外から本市に目を向けられるコミュニケーションデザイン(コンセプト、メッセージ、キャッチコピー、ロゴデザイン等)をつくり、多様なツール・媒体(WEB、SNS等)を活用したプロモーションを展開</p>	<p>四万十市 (観光商工課・産業建設課・企画広報課)</p>	<p>◆多様な広報・プロモーション活動が展開され、地域の活性化につながっている</p>		<p><b>【再掲:観光分野と共通】</b> ○シティプロモーション推進事業 <b>【5,631千円】</b> <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・ワークショップの開催、プロモーション展開 ・プロモーションツールの作成</p>

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
商工業分野	5月～ コミュニケーションデザインの作製委託 6、7月 ワーキンググループ開催(2回) 9月 ワーキンググループ開催(1回) 11月 四万十市のシンボル・メッセージロゴ(案)の作成 12月～ ロゴを活用したPRの展開検討 シティプロモーション基本プラン(まとめ本)の事業化検討 シティプロモーション周知用ツールの作成				
【商工業AP18】(3)ビジネスの拠点づくり					
◎拠点ビジネスの推進	○集落活動センター事業(実施主体:大宮集落活動センター) 4月～ 地域資源や特性を活かした産業づくり 軽食・配食サービス、講演会、視察受け等 <b>【再掲】</b> ○地域のグループとの意見交換会等 地域の情報発信や商品開発等に向けた取組について総合的な支援策等を検討 6月 片魚地区で集落活動センター説明会(県) (東富山を守る会) 7月、8月 ミツ又地区でインターネットを活用した地域づくりや外商活動の協議(高知県地域づくり支援事業を活用) 8月 大屋敷地区で地産外商のための協議 10月 大屋敷地区で地産外商の拡大にむけての協議 (高知県地域づくり支援事業の活用を検討) 1月 大屋敷地区で地産外商の拡大にむけての協議 (組織規約、生產品目、生産体制等の確認) 3月 ミツ又地区(ミツ又廃村を免れ隊の地産外商用HP完成)	四万十市 (観光商工課・産業建設課・農林水産課・企画広報課・地域企画課) 高知県 事業者 生産者	◆集落単位やグループの「小さなビジネス」展開など、地域連携や活性化の動きが広がっている  ◆農林水産物等直販所販売額 H26:11億5,600万円 → H31:13億円 H27:11.89億円  ◆道の駅「よって西土佐」入込客数 →H31:13万人  ◆食品加工開発等支援(3ヶ年事業) H26(5件)、H27(5件) H28(5件) ◆ミニハウスレンタル事業実績(3ヶ年事業) H26:3棟、H27:3棟 H28:3棟	<b>【再掲】</b> ○地域おこし協力隊起業補助金 <b>【1,000千円】</b> ・地域おこし協力隊修了者の起業への支援 <b>【再掲】</b> ○四万十市地域支援総合事業費補助金(地域づくり支援事業) <b>【986千円】</b> (実施主体:大屋敷四万十市のしづく生産組合) ・真空パック、冷蔵庫、ラベルプリンター、計量器購入 <b>【再掲】</b> ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) <b>【29,292千円】</b> (実施主体:(株)西土佐ふるさと市) <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした産地化促進 ・地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした商品開発 ・クラウドファンディング ・地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした外商活動	<b>【再掲】</b> ○地域おこし協力隊経費 <b>【6,694千円】</b> ・道の駅2名配置 <b>【再掲:農業分野と共通】</b> ○農林水産物直販所「安心係」養成講習会への参加 ・情報発信、農産物管理、農薬適正使用、食品表示、衛生管理講習
◎直販所の拠点機能の強化 <b>【再掲】</b> ★道の駅「よって西土佐」の整備・機能強化	<b>【再掲:各分野共通】</b> ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) (実施主体:(株)西土佐ふるさと市) <b>地方創生加速化交付金を活用</b> テストマーケティング、試食会、デザイナー招致等による商品の磨き上げ、新商品開発、ブランディング等 ・新商品開発、ブラッシュアップ、テストマーケティング 10月25日、11月25日、12月15日とWSを3回実施し、2月に松山市大街道及びよって西土佐まつやまでテストマーケティングを実施 ・月1回「旬の野菜のフェア」実施(試食会等) ・水産物販売促進事業(あゆ市場) ・地のモノを使ったスイーツ販売促進事業(ストローベイル) ・地産地消 ・農産物栽培計画指導(栽培講習会実施等) ・集出荷支援及び農産物の供給 週1回の農産物集荷 給食C、診療所、特養等への食材供給 ・道の駅地域産品開発等特別対策事業 食品加工開発等支援(事業実施5件) ミニハウスレンタル事業(3棟)				

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野		平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン 主要内容						
商工業分野		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の居場所づくり(図書に親しむフェア開催ほか) 8月 道の駅よって西土佐で子ども教室を実施(3回) 高齢者の各種教室を実施</li> <li>・広域観光拠点機能 4月 デジタルサイネージ導入 10月おもてなし意識の醸成とインバウンド対応のスキル アップ研修を実施(先進地研修)</li> <li>・ファン交流会の実施(クラウドファンディングは次年度へ継続) 都市圏でのファン交流会の実施。CROSSTOKYOとの共催</li> <li>・道の駅連携による販売促進 6月 R381道の駅関係者との交流会実施(よって西土佐) 9月 ±41℃交流準備会(出店:よって西土佐) 旭川市の商品を道の駅で販売 9月 北の恵みうまいものマルシェ2016(旭川市)に出店 (よって西土佐・ぼっぼ栗・あゆ市場) 12月 道の駅「あさひかわ」物産展に出展(よって西土佐)</li> <li>・外商活動 各スーパー等とのバイヤーと協議し、生鮮野菜を店頭陳列(実績22 店舗) 22店舗のうちフジ北浜店・フジ大洲店・ダイキ野市店に「道の駅よって 西土佐の産直コーナー」を設置し、県内マルナカ19店舗において「い ごっそうなす」の販売。その後協議調整を行い、マルナカ19店舗では 生鮮野菜全般に拡大され、サンシャイン21店舗の店頭の太陽市にお いて、産直コーナーが設置された。 サンプラザにおいては、流域の道の駅が一堂に集い、道の駅フェア を2回開催した。</li> <li>・百貨店バイヤー等招致研修会 11月7日羽田エクセルホテル東急シェフ等との研修会 1月12日CROSSTOKYOシェフ等との研修会</li> <li>・サテライトショップ よって西土佐まつやま 10月 オープン 週5日営業(日・火・水・金・土・日) 11月 よって西土佐まつやまが企画した四万十ツアーに7名が参加 12月 年末の餅つき実施</li> <li>・地域おこし協力隊事業(道の駅2名配置)</li> </ul>				
4 企業誘致						
1. 情報通信関連産業の誘致促進						
【商工業AP19】(1)誘致に向けたリサー チの徹底						
★誘致にかかるリサーチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○企業誘致対策 ・県と連携した誘致企業の情報収集、アプローチ 7月 高知市内の誘致企業を訪問 誘致に当たった課題や雇用確保策について聞き取りを行う。 訪問企業: irep,LifullBizas,Yahoo(県企業立地課同行) 10月～3月 高知県と連携しながら企業誘致に関する情報収集を行う</li> </ul>	四万十市 (観光商工課)	◆シェアオフィスへの 誘致企業数  H31:2社 H27:-社	○企業誘致対策 ・県と連携した誘致企業の情報収集、アプローチ * 123千円		

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野		平成28年度の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン 主要内容						
商工業分野						
【商工業AP20】(2)誘致活動の推進						
◎特色ある誘致情報の発信 ★支援メニューの創設・受入体制づくり	○コールセンター等立地促進事業費補助金 (実施主体:E.A高知コンタクトセンター) 補助金交付決定金額:13,200,000円 内訳:償却資産に要する経費 9,000,000円 雇用奨励金:4,200,000円(契約社員7名分)	四万十市 (観光商工課・農林水産課)	◆シェアオフィスへの誘致企業数 H31:2社 H27:-社  ◆既誘致企業での雇用者数 H31:20名増 H27:20名  ◆次世代施設園芸等への誘致企業数 H31:1社 H27:-社		【再掲】 ○企業誘致対策 【123千円】 ・県と連携した誘致企業の情報収集、アプローチ  ○コールセンター等立地促進事業費補助金 * 12,600千円 ・誘致企業(HTC四万十センター)への支援 リース補助金 9,900千円 雇用奨励金 2,700千円	
◎県と連動した誘致活動の推進	【再掲】 ○企業誘致対策 ・県と連携した誘致企業の情報収集、アプローチ 7月 高知市内の誘致企業を訪問 誘致に当たった課題や雇用確保策について聞き取りを行う。 訪問企業:irep,LifullBizas,Yahoo(県企業立地課同行) 10月~3月 高知県と連携しながら企業誘致に関する情報収集を行う					
【商工業AP21】(3)遊休施設等を利用したシェアオフィス等の整備						
★シェアオフィス等の整備	○市内の遊休公共施設等についてシェアオフィスの立地可能性調査を実施 8月 中村地域の5箇所を現地視察 (竹屋敷小中、片魚小・中、常六小、勝間小) 2月 西土佐地域の遊休公共施設を現地視察、土佐清水市シェアオフィスの視察	四万十市(観光商工課)	◆シェアオフィスへの誘致企業数 H31:2社 H27:-社		○市内の遊休公共施設等についてシェアオフィスの立地可能性調査を実施 【再掲】 ○企業誘致対策 【123千円】 ・シェアオフィス整備箇所の絞込み 当市でサテライトオフィス拡充計画のある企業との協議	



分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主な内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
観光分野					
1 滞在型の観光地づくり					
1. 地域の観光資源、フィールドを活かした滞在型の観光商品づくり					
【観光AP1】(1)観光リサーチの徹底					
◎観光マーケティングリサーチ ★四万十市のどこが好きキャンペーンの実施	○観光動向等アンケート調査 4月～ 観光案内所(観光協会)窓口で外国人観光客へのアンケート調査 5月 H27の観光動向調査の結果集計 平成27年に実施されたイベント・祭りの入込数及びキャンプ場・海水浴場・温泉施設の利用状況集計し観光動向調査報告書を作成 5月(GW)・8月(お盆) 佐田沈下橋で観光動向アンケート調査  ○「ここが魅力!四万十市」写真コンテストの開催 6月～ 作品募集 9月～ 受賞作品を市ホームページで公開し市民、観光客が選ぶ新たな四万十市の魅力を発信  ○県外旅行者、学校等への誘致活動(観光ニーズ調査) 6月 岡山方面 11月 関西方面  ○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業 (事業主体:幡多広域観光協議会) 地方創生加速化交付金を活用 5月～ 商談会(13回239社)、旅行会社・学校訪問(14回122社・校) 9月～ 体験予約(福利厚生サイト)を活用した誘客促進 各種データの収集・分析、翌年度の事業への反映	四万十市(観光商工課) 観光協会 幡多広域観光協議会	◆マーケットインの視点に立った、満足度、リピート率の高い滞在型の観光商品づくりが進んでいる		○観光案内所運営補助金 * 7,400千円 (事業主体:四万十市観光協会) ・観光協会観光案内所、臨時観光案内所での観光動向(観光案内所運営に要する補助金を含む)  ○四万十流域サイクルロード整備プロジェクト * 10,864千円 地方創生企業版ふるさと納税事業を活用 ・観光客誘致促進事業補助金【864千円】 (事業主体:四万十市観光協会) 国内(首都圏・関西圏)・海外(香港・台湾)への誘致活動  ○観光客誘致宣伝活動 * 4,867千円 (事業主体:四万十市観光協会) 地方創生企業版ふるさと納税事業を活用 ・誘致活動とあわせた観光ニーズ調査【673千円】 国内(関東・関西・中四国・九州)、海外(台湾)
【観光AP2】(2)今ある観光商品の磨き上げ					
◎観光商品としての検証と磨き上げ	○四万十市観光振興連絡会議 5月～ 「四万十川花紀行事業」について各部会で検証  ○西土佐観光推進協議会 7月 協議会 ・観光プログラムの検証等 11月 作業部会 ・川降りマップ作成協議等 2月 作業部会 ・観光クラスター事業(サイクリング周遊等)の協議 3月 協議会 ・観光クラスター事業進捗の報告等  ○四万十市体験型観光受入研究会 5月 体験プログラムの検証等 H28現在体験メニュー数:32プログラム ※幡多広域観光協議会取り扱い分  ○「全国ほんものフォーラムin福島」大会参加 10月 大会参加を通じ、全国の先進事例を学ぶとともに 体験メニューの磨き上げ、人材育成にもつなげる(7人参加)	四万十市(観光商工課) 観光協会 幡多広域観光協議会 四万十市観光振興連絡会議 西土佐観光推進協議会 四万十市体験型観光受入研究会	◆多様な実施主体が連携を強め、満足度、リピート率の高い滞在型の観光プログラムを持続的に展開している		【商工業分野と共通】 ○四万十川を活用した魅力向上事業補助金 * 1,450千円 (事業主体:四万十市観光振興連絡会議補助金) ・花と食をテーマとした観光イベント(四万十川花紀行等)の開催、検証等  ○西土佐観光推進協議会 - ・観光クラスター事業(サイクリング周遊等)協議 ・川降りマップ作成作業  ○四万十市体験型観光受入研究会 - ・体験プログラム等の磨き上げ、開発、家庭募集、研修ほか 【再掲】 ○四万十流域サイクルロード整備プロジェクト 【10,864千円】 地方創生企業版ふるさと納税事業を活用 ・サイクルロード整備【10,000千円】 実施箇所:四万十川佐田沈下橋右岸から三里沈下橋右岸の市道 L=2,600m 内容:サイクルロードの路面整備や景観を阻害する樹木の伐採等

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
観光分野	<p>○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業 (事業主体: 幡多広域観光協議会) <b>地方創生加速化交付金を活用</b> 10月 地域関係者と全国ほんもの体験フォーラムへ参加</p> <p>○志国高知幕末維新博に向けた取り組み(H29.3開幕) 四万十市観光クラスター協議会開催 ・博覧会の取組みを通じて磨き上げた歴史資源と地域の「食」や「自然」 など一体となった周遊コース等を整備 ・6月第1回、7月第2回・3回、8月第4回の協議会を開催</p> <p>観光クラスター形成事業 ・周遊ガイドマップ作成      ・観光案内看板設置・改修 ・玉姫様の通行手形磨き上げ      ・観光周遊クーポン冊子作成 ・歴史観光レンタサイクル購入 ・市内循環バス(しまんとトロリーバス)運行 3/4～土日祝日運行(1日6便) ・観光ガイド育成 他</p> <p><b>【商工業分野と共通】</b></p> <p>○インバウンド(外国人観光客)受入体制向上事業 (事業主体: 四万十市観光協会) 着物で街歩きプラン(KIMONOLOILOI)の販売 4月～ 着物レンタル(呉服店と連携)による小京都中村 の「街歩き」体験メニュー</p> <p><b>【農業・水産業・商工業と共通】</b></p> <p>○食の魅力を活かした地域振興事業 <b>地方創生加速化交付金を活用</b> 12月～ 「四万十の食研究会」を設立し、地域の食材、食文化の掘起しと 磨き上げ、「四万十の食」の開発(アドバイザー招致等) 月1回ワークショップの開催 (12月第1回、1月第2回、2月第3回、3月第4回)</p>				<p>○志国高知幕末維新博に向けた取組み(H29.3開幕) * 22,063千円 ・観光クラスターガイド養成 ・周遊パンフレット、ガイドブック類の作成 ・市内循環バス・川バスの増便・レンタサイクルの 充実他</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《関連事業》 ●郷土資料館大規模改修・耐震補強事業 363,663千円 ・「志国高知幕末維新博」の地域会場として、 全館をリノベーション及び耐震補強工事 ●郷土資料館周辺整備事業 59,172千円</p> </div> <p>○幡多広域観光協議会負担金 * 9,363千円 ・体験事業者、田舎暮らし体験受入家庭を対象と した研修会開催【290千円】 ・宿泊施設ではた旅体験商品を予約・販売できる 体制を構築【700千円】 ・エージェン商品造成担当者と招聘してのパッ ケージ商品の提案【400千円】</p> <p>○四万十川観光遊覧船協議会 ・観光遊覧船事業の検証や磨き上げ (総会及び臨時会)</p> <p><b>【農業・水産業・商工業分野と共通】</b></p> <p>○食の魅力を活かした地域振興事業 * 408千円 ・「四万十の食研究会」における活動の継続 地域の食に関する研究を継続し、食に関する取 組みを地域の状況に沿ったものへの磨き上げ (ア <b>地方創生推進交付金を活用</b></p>
<p>○専門家を活用した観光商品の磨 き上げ</p> <p><b>【観光AP3】(3)新たな観光商品づくり</b></p> <p>◎観光商品づくりワークショップの 開催 ★異業種交流会の開催 ◎地域の産業と連携した新たな観 光商品づくり</p>	<p>○体験メニューの磨き上げ・開発 5月 アドバイザー(県観光アドバイザー)招致 滞在型観光メニュー開発ワークショップ開催 (道の駅よって西土佐)</p> <p><b>【再掲: 農業・水産業・商工業と共通】</b></p> <p>○食の魅力を活かした地域振興事業 <b>地方創生加速化交付金を活用</b> 12月～ 「四万十の食研究会」を設立し、地域の食材、食文化の掘起しと 磨き上げ、「四万十の食」の開発(アドバイザー招致等) 月1回ワークショップの開催 (12月第1回、1月第2回、2月第3回、3月第4回)</p>	<p>四万十市(観光商工課) 観光協会 幡多広域観光協議会 四万十市観光振興連絡会議 西土佐観光推進協議会</p>	<p>◆体験・宿泊等の プラン造成件数 →H31:10アイテム H27:3アイテム</p>		<p><b>【再掲】</b> ○四万十市体験型観光受入研究会 ・体験プログラム等の磨き上げ、開発、家庭募 集、 研修ほか</p>

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
観光分野 ★閑散期のメニュー開発	5月～9月 モニターツアーを実施し、体験プログラムの検証を実施 ・アドバイザー招致、ウェブサイト制作、パンフレット作成  ○愛媛 西予 SEA TO SUMMIT 2016 視察 9月 アウトドアスポーツを通じて自然の循環を体感する 環境スポーツイベントの視察  【再掲】 ○体験メニューの磨き上げ・開発 5月 アドバイザー(県観光アドバイザー)招致 滞在型観光メニュー開発ワークショップ開催 (道の駅よって西土佐)  【水産業分野と共通】 ○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業 (事業主体: 幡多広域観光協議会) 地方創生加速化交付金を活用 ・教育旅行用川漁体験プログラム ・一般旅行用サイクルナビシステム開発 ・土佐の観光創生塾を通じた観光商品造成(3回)  【再掲: 商工業分野と共通】 ○インバウンド(外国人観光客)受入体制向上事業 (事業主体: 四万十市観光協会) 着物で街歩きプラン(KIMONOLOILOI)の販売 4月～ 着物レンタル(呉服店と連携)による小京都中村 の「街歩き」体験メニュー  【商工業分野共通】 ○おもてなし向上事業 (実施主体: 四万十黒潮旅館組合) 四万十市産振総合補助金を活用 宿泊とのセットプランの造成・販売等 7月～ ・「玉姫様と通行手形」との宿泊セットプラン (宿泊施設15、飲食店33と連携) ・トンボ王国誘客プラン ・四万十周遊バス(二次交通)との宿泊セットプラン ・「着物で街歩き」との宿泊セットプラン ・「ペットホテル」との宿泊セットプラン ・スイーツ券付宿泊プラン  【再掲: 農業・水産業・商工業と共通】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 地方創生加速化交付金を活用 12月～ 「四万十の食研究会」を設立し、地域の食材、食文化の掘起しと 磨き上げ、「四万十の食」の開発(アドバイザー招致等) 月1回ワークショップの開催 (12月第1回、1月第2回、2月第3回、3月第4回)	四万十市体験型観光受入研究会			【再掲: 農業・水産業・商工業分野と共通】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 【408千円】 地方創生推進交付金を活用 ・「四万十の食研究会」における活動の継続  地域の食に関する研究を継続し、食に関する 取り組みを地域の状況に沿ったものへの磨き 上げ(アドバイザー招致等)  ○モンベルフレンドエリア登録 * 559千円 日本有数のアウトドアメーカーである(株)モンベル と提携し、カヌー、サイクリング等の四万十川周 辺の観光素材を、情報誌等に掲載することなど により、本市のPR効果を高め誘客を図る。  【再掲】 ○志国高知幕末維新博に向けた取組み(H29.3開幕) 【22,063千円】 ・観光クラスターガイド養成 ・周遊パンフレット、ガイドブック類の作成 ・市内循環バス・川バスの増便・レンタサイクルの 充実他  【再掲】 ○幡多広域観光協議会負担金 【9,363千円】 ・体験事業者、田舎暮らし体験受入家庭を対象と した研修会開催【290千円】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
観光分野					
【観光AP4】(4)食の魅力を活かした観光振興  ○食の魅力を活かした観光地づくり  ○食の発信・普及イベント等の開催	【再掲:商工業分野共通】 ○おもてなし向上事業 (実施主体:四万十黒潮旅館組合) 四万十市産振総合補助金を活用 外国人観光客向けに各宿泊施設の館内案内と食事メニューの多言語化(英語、中国語、韓国語など)  【再掲:農業・水産業・商工業と共通】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 地方創生加速化交付金を活用 12月～「四万十の食研究会」を設立し、地域の食材、食文化の掘起しと磨き上げ、「四万十の食」の開発(アドバイザー招致等) 月1回ワークショップの開催 (12月第1回、1月第2回、2月第3回、3月第4回)  【水産・商工業共通】 ○食の発信・普及イベント等 4月 四万十川花紀行「玖木つつじまつり」 5月 奥屋内天然色堂「山茶つみ体験」 6月 四万十川花紀行「紫陽花まつり」 7月 星の郷西土佐「天の川まつり」 8月 西土佐ふるさと市「夏の感謝祭」 11月 黒尊むらまつり(四万十川花紀行「紅葉まつり」) 四万十うまいもの商店街 3月 四万十川花紀行入田ヤナギ林菜の花まつり  【再掲:農業・商工業分野と共通】 ○四万十ぶしゅかん普及推進事業 (事業主体:四万十ぶしゅかん生産者組合) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 8月 ぶしゅかんヌーボー解禁パーティー	四万十市(観光商工課) 観光協会 四万十市観光振興連絡会議 西土佐観光推進協議会 四万十市体験型観光受入研究会 四万十黒潮旅館組合 商工会議所、商工会 中村料理飲食店組合 中村菓子パン工業組合	◆四万十の“食”として市内外の知名度が向上し、観光誘客や観光消費額の拡大につながっている。  ◆一人当たりの観光消費額 H26:14,700円 → H31:18,150円 H27:13,939円  ◆産業祭来場者数 H25:2,000人 → H31:20,000人  H27:12,500人		【再掲:農業・水産業・商工業分野と共通】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 <span style="float:right">【408千円】</span> 地方創生推進交付金を活用 ・「四万十の食研究会」における活動の継続 地域の食に関する研究を継続し、食に関する取り組みを地域の状況に沿ったものへの磨き上げ(アドバイザー招致等)  【再掲:商工業分野と共通】 ○四万十川を活用した魅力向上事業補助金 <span style="float:right">【1,450千円】</span> (事業主体:四万十市観光振興連絡会議補助金) ・花と食をテーマとした観光イベント(四万十川花紀行等)の開催、検証等  【商工業分野と共通】 ○各団体等による食の発信・普及イベント等の開催 【再掲:各分野共通】 ○西土佐産業祭の開催 <span style="float:right">【660千円】</span>
2. 広域連携による周遊観光の推進					
【観光AP5】(1)広域連携による周遊観光の推進  ○周遊観光プランの造成・発信及び販売 ○広域連携によるキャンペーンの展開	【再掲】 ○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光連携推進事業 (事業主体:幡多広域観光協議会) 地方創生加速化交付金を活用 宿泊施設と連携した体験商品販売のしくみを構築 9月～11月 HAPPYはたっぴーキャンペーンの展開 「泊まる」と「体験する」の2つの利用者に「はたっぴーグッズ」を呈呈 11月～ スポーツツーリズムポータルサイトの構築 12月～ 幕末維新博に向けた幡多広域観光協議会HPの見直し  ○四国西南地域観光連絡協議会 6月 総会開催	幡多広域観光協議会 アーエ界地域連携実行委員会 四万十川流域市町村観光振興連絡会 四国西南地域観光連絡協議会	◆様々な広域連携の圏域(枠組み)の目的、特色を活かした周遊観光プランの造成、情報発信・販売が進み、多様な選択肢を備えた観光エリアとして、幅広い観光客が訪れている  ◆広域における一般観光客数 基準年: H31:53,750人増  ◆広域におけるスポーツ客数 基準年: H31:10,000人増		【再掲】 ○幡多広域観光協議会負担金 <span style="float:right">【9,363千円】</span> ・スポーツ団体。旅行会社への誘致活動 ・関西・関東エリアを中心に教育旅行専門店への誘致活動 ・商品造成・磨き上げのための補助、自主企画体験商品の開発 ・雑誌、新聞、インターネット等を活用した広告宣伝事業 ・発地での観光行動を促すパンフレットの製作、配布他  ○予土県境地域連携実行委員会負担金 * 1,100千円 ・サイクリングを核とした観光振興連携事業ほか  ○四万十川流域市町村観光振興連絡会負担金 * 535千円 ・流域物産展開催ほか



分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
観光分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>○四国西南サミット観光部会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>7月 第1回総会開催</li> <li>9月 第3回ご当地キャラまつりin須崎参加 観光PR及び物産販売出展</li> <li>11月 第2回総会開催 今年度事業の検証と来年度計画について協議</li> </ul> </li> <li>○予土県境地域連携実行委員会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>3月～5月 「サイクルトレイン四万十号」運行</li> <li>9月 「四万十・南予横断2リバービューライド」開催 サイクリスト向け補給食の開発(道の駅が提供)等</li> </ul> </li> <li>○四万十川流域市町村観光振興連絡会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>9月 総会開催</li> <li>11月 担当者会開催 四万十川流域観光パンフレット増刷</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆広域における外国人延べ宿泊数 基準年: H31:13,300人泊</li> <li>◆広域組織における5つの機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①商品の企画・立案</li> <li>②商品の造成、販売、取扱</li> <li>③広報、情報発信、窓口</li> <li>④地域の人材育成</li> <li>⑤観光産業化</li> </ul>                             H31:1強化                         </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○四国西南地域観光連絡協議会負担金 * 40千円 ・パンフレット作成ほか</li> <li>○四国西南サミット観光部会 ・九州方面への誘致活動</li> </ul>
<b>2 観光商品の外商の推進</b>					
<b>1. 観光商品のセールス及び情報発信の強化</b>					
<b>【観光AP6】(1)観光商品のセールス強化</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>★営業力のある人材、組織の育成</li> <li>◎旅行会社への営業活動の促進</li> <li>○旅行商品商談会等への出展</li> <li>★海外への営業活動の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○旅行業の取得                             <ul style="list-style-type: none"> <li>9月 第3種旅行業資格試験受験 ・四万十市観光協会:2名 ・幡多広域観光協議会:2名</li> <li>12月 海外商談会フォローアップセミナー参加(2名)</li> </ul> </li> <li>○観光客誘致宣伝活動実績                             <ul style="list-style-type: none"> <li>県外旅行者、学校等への誘致活動</li> <li>6月 岡山方面</li> <li>11月 関西方面</li> </ul>                             【再掲】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業 (事業主体:幡多広域観光協議会) 地方創生加速化交付金を活用</li> <li>5月～ 商談会(13回239社)、旅行会社・学校訪問(14回122社・校)</li> <li>9月～ 体験予約(福利厚生サイト)を活用した誘客促進 各種データの収集・分析、翌年度の事業への反映</li> </ul> </li> <li>○海外への営業活動                             <ul style="list-style-type: none"> <li>11月 台湾の旅行会社、学校等を訪問</li> </ul>                             【再掲:商工業分野共通】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○おもてなし向上事業 (実施主体:四万十黒潮旅館組合) 四万十市産振総合補助金を活用 ・外国人観光客向けに各宿泊施設の館内案内と食事メニューの多言語化 (英語、中国語、韓国語など)</li> </ul> </li> </ul>	四万十市(観光商工課) 観光協会 幡多広域観光協議会	◆観光人材・組織のスキル(商品企画、営業力等)が向上し、「待ちの誘客」から「動く誘客」にシフトしている		<ul style="list-style-type: none"> <li>【再掲】</li> <li>○観光客誘致宣伝活動 【4,867千円】 (事業主体:四万十市観光協会) 地方創生企業版ふるさと納税事業を活用 ・誘致活動とあわせた観光ニーズ調査【673千円】 国内(関東・関西・中四国・九州)、海外(台湾)</li> <li>【再掲】</li> <li>○四万十流域サイクルロード整備プロジェクト 【10,864千円】 地方創生企業版ふるさと納税事業を活用 ・観光客誘致促進事業補助金【864千円】 (事業主体:四万十市観光協会) 国内(首都圏・関西圏)・海外(香港・台湾)への誘致活動</li> <li>【再掲】</li> <li>○幡多広域観光協議会負担金 【9,363千円】 ・商談会への参加や旅行会社を訪問してのセールス【1,000千円】 ・商談会への参加や海外旅行会社を訪問してのセールス活動【800千円】</li> </ul>

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート【平成28年度(下半期)】

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主な内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
観光分野					
【観光AP7】(2)広報・プロモーションの強化					
○多様な媒体を活用した広報活動の強化	○観光大使設置 ・国内外への幅広い情報発信力を活かした広報活動を展開 委嘱状況:2月現在17名委嘱	四万十市 (観光商工課・企画広報課) 観光協会 幡多広域観光協議会	◆多様な広報・プロモーション活動が展開され、観光誘客につながっている ◆観光協会ホームページアクセス数 H26:119,577件 → H31:150,000件 H27:137,953件		○観光大使設置事業 * 302千円 ・国内外への幅広い情報発信力を活かした広報活動を展開 H29年度委嘱予定者:2名程度
★一元的な情報発信の促進	○インバウンド(外国人観光客)受入先進地視察 6月 岐阜県高山市				○観光客誘致宣伝活動 * 260千円 ・観光ポスター等作成
★ターゲットに合わせたプロモーションの展開	○四万十市誘客用プロモーションビデオの製作 3月 完成動画披露会(天神橋商店街、道の駅よつて西土佐) 地方創生企業版ふるさと納税活用事業 【再掲】				○観光プロモーション動画の効果的な発信 【再掲】
	○インバウンドどんこ来い!四万十市国際田舎体験プログラム (実施主体:㈱ソーラーファーム) 四万十市産振総合補助金を活用 急増傾向にある、東南アジアを中心とした外国人観光客をターゲットとした田舎暮らし体験プログラムを試行実施 5月~9月 モニターツアーを実施し、体験プログラムの検証を実施 ・アドバイザー招致、ウェブサイト制作、パンフレット作成 【再掲:商工分野と共通】				○幡多広域観光協議会負担金 【9,363千円】 ・雑誌、新聞、インターネット等を活用した広告 ・道の駅等へ設置したデジタルサイネージの運用 ・発地での観光行動を促すパンフレットを製作・配布 【6,920千円】 【再掲:商工業分野と共通】
	○シティプロモーション推進事業 地方創生推進交付金を活用 本市の本質的な魅力、独自性を見極め、国内外から本市に目を向けられるコミュニケーションデザイン(コンセプト、メッセージ、キャッチコピー、ロゴデザイン等)をつくり、多様なツール・媒体(WEB、SNS等)を活用したプロモーションを展開 5月~ コミュニケーションデザインの作製委託 6、7月 ワーキンググループ開催(2回) 9月 ワーキンググループ開催(1回) 11月 四万十市のシンボル・メッセージロゴ(案)の作成 12月~ ロゴを活用したPRの展開検討 シティプロモーション基本プラン(まとめ本)の事業化検討 シティプロモーション周知用ツールの作成				○シティプロモーション推進事業 【5,631千円】 地方創生推進交付金を活用 ・ワークショップの開催、プロモーション展開 ・プロモーションツールの作成
◎産業間連携や広域連携による誘客(PR)活動	○誘客(PR)活動の展開 5月 関東幡多四万十会・四万十ふるさと応援団交流会 6月 高知・四万十フェア(東京都) 9月 ご当地キャラまつりin須崎(須崎市) 10月 四国まるごと幡多まつり(岡山県津山市) 11月 友好・交流都市物産展(枚方市) 【再掲】				
	○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業 (事業主体:幡多広域観光協議会) 地方創生加速化交付金を活用 4月~ ガイドブック(11万冊)、HP(14万ページビュー、デジタルサイネージ(17ヶ所)等によるPR情報発信 9月~ 広告(雑誌、テレビ)等による情報発信 9月~11月 HAPPYはたっぴーキャンペーンの展開 「泊まる」と「体験する」の2つの利用者に「はたっぴーグッズ」を進展				

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
観光分野	10月～ 土佐くろしお鉄道と連動したインバウンド向けパンフ作成作業 来年度向けガイドブック、素材集等の見直し開始 11月～ スポーツツーリズムポータルサイトの構築 12月～ 幕末維新博に向けた幡多広域観光協議会HPの見直し				
3 おもてなしの向上					
1. おもてなし環境の整備					
【観光AP8】(1)四万十川流域観光の拠点施設の整備、機能強化					
◎拠点施設の拡充、機能強化	○四万十川観光遊覧船案内放送の多言語化 (実施主体:四万十川観光遊覧船連絡協議会) ・外国人観光客への案内機能の向上  ○観光拠点整備事業 ・四万十川学遊館展示パネルリニューアル ・トンボ公園樹木札整備 【再掲】 ○四万十サイクルロード整備 地方創生企業版ふるさと納税活用事業 実施箇所:四万十川佐田沈下橋右岸から下流の市道 L=2,300m 内容:サイクルロードの路面整備や景観を阻害する樹木の伐採等 ・観光案内機能の充実 観光協会HPのリニューアル ・レンタサイクル整備 クロスバイク(電動アシスト)10台購入  ○市街地史跡巡り等案内看板設置(21箇所)  ○観光誘導看板設置(17箇所)  ○四万十川観光遊覧船関係のインバウンド対策 ・案内看板の多言語化 ・パンフレット作成(多言語) ・HPのリニューアル 他 【再掲】 ○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業 (事業主体:幡多広域観光協議会) 地方創生加速化交付金を活用 12月～ 幕末維新博に向けた幡多広域観光協議会HPの見直し	四万十市(観光商工課) 観光協会 幡多広域観光協議会	◆公共観光施設等 利用者数 H26:172,370人 → H31:180,000人 H27: 189,788人	○四万十いやしの里管理運営 * 10,054千円 ・施設等修繕ほか  ○四万十川学遊館管理運営 * 19,557千円 ・学遊館玄関前池他修繕 ・管理運営  ○かわらっこ管理運営 * 556千円 ・施設等修繕ほか  ○四万十川流域観光拠点施設整備事業 * 84,079千円 地方創生拠点整備交付金活用事業 ・ホテル星羅四万十大規模改修【45,199千円】 ・かわらっこバンガローサイト整備(4棟新設) 【38,880千円】  ○カヌー館関連施設等管理運営 * 7,175千円 ・カヌー館、四万十ひろば(農村公園)、ふるさと案内所等  ○キャンプ場ほか観光公衆トイレ管理運営 * 6,912千円 (観光シーズン仮設トイレ設置を含む)  ○四万十パーク管理 * 2,853千円 ・植栽管理ほか  ○岩間四万十茶屋維持管理補助金 * 110千円  ○入田ヤナギ林整備 * 4,273千円 【再掲】 ○四万十流域サイクルロード整備プロジェクト 【10,864千円】 地方創生企業版ふるさと納税事業を活用 ・サイクルロード整備【10,000千円】 実施箇所:四万十川佐田沈下橋右岸から三里 沈下橋右岸の市道 L=2,600m 内容:サイクルロードの路面整備や景観を阻害する樹木の伐採等 【再掲】 ○志国高知幕末維新博に向けた取組み(H29.3開幕) 【22,063千円】 ・観光クラスターガイド養成 ・周遊パンフレット、ガイドブック類の作成 ・市内循環バス・川バスの増便・レンタサイクルの充実他	

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
観光分野					
【観光AP9】(2)二次交通の充実	○二次交通の運行形態の見直し・ 拡充と情報発信 ○四万十川バス運行 4月～9月 中村駅～江川崎駅間(114日間運行) 宿泊とのセットプランの造成・販売 10月～3月 中村駅～江川崎駅間(12月を除く72日間運行) 宿泊とのセットプランの造成・販売 ○しまんと・あしずり号の運行 4月～9月 ・あしずりコース:四万十市～土佐清水市間(68日間運行) ・江川崎コース:中村駅～江川崎駅間(65日間運行) 3月 ・江川崎コース:中村駅～江川崎駅間(8日間運行) ○しまんと・あしずり号運行協議会の開催 8月 運行状況や今後の運営について協議 ○歴史観光周遊バス(しまんとトロリーバス)の運行 3月～ 市街地及び郷土資料館、周辺観光地を結ぶ周遊バス(1日6便) ○その他の交通 ・おもてなしタクシーの運行(通年) ・レンタサイクル(通年)	四万十市(観光商工課) 観光協会 幡多広域観光協議会	◆二次交通利用者数 H26:5,718人 → H31:10,000人 H27:5,896人		○四万十楽舎管理運営 * 2,516千円 ・管理運営等 ○ホテル星羅四万十管理運営 * 4,307千円 ・施設修繕等【2,791千円】 ・天体観測所施設運営【1,516千円】
○二次交通の運行形態の見直し・ 拡充と情報発信	○四万十川バス運行 4月～9月 中村駅～江川崎駅間(114日間運行) 宿泊とのセットプランの造成・販売 10月～3月 中村駅～江川崎駅間(12月を除く72日間運行) 宿泊とのセットプランの造成・販売 ○しまんと・あしずり号の運行 4月～9月 ・あしずりコース:四万十市～土佐清水市間(68日間運行) ・江川崎コース:中村駅～江川崎駅間(65日間運行) 3月 ・江川崎コース:中村駅～江川崎駅間(8日間運行) ○しまんと・あしずり号運行協議会の開催 8月 運行状況や今後の運営について協議 ○歴史観光周遊バス(しまんとトロリーバス)の運行 3月～ 市街地及び郷土資料館、周辺観光地を結ぶ周遊バス(1日6便) ○その他の交通 ・おもてなしタクシーの運行(通年) ・レンタサイクル(通年)	四万十市(観光商工課) 観光協会 幡多広域観光協議会	◆二次交通利用者数 H26:5,718人 → H31:10,000人 H27:5,896人		○四万十川バス運行 * 12,305千円 ・中村駅～江川崎駅間 GW、夏休み、土日祝日の156日間(1日2便)運 ○歴史観光周遊バス(四万十トロリーバス)の運行 * 7,649千円 市街地及び郷土資料館、周辺観光地を結ぶ周遊バス(1日6便) ○周遊観光バスしまんと・あしずり号運行(県事業) * 1,500千円 ・既存のしまんと・あしずり号を幕末維新博にあわ せ拡充 GW、夏休み、土日祝日等の222日間運行 四万十市～土佐清水市～大月町～宿毛市～四 万十市 ○おもてなしタクシーの運行(通年) — ○レンタサイクル(通年) —
【観光AP10】(3)周遊しやすい環境の 整備					
★観光案内機能の充実	○観光周遊ホームページリニューアル (一社)四万十市観光協会HPのリニューアル 【再掲】 ○街歩き観光案内看板設置 ・ランドデザインによる街歩き看板の設置 市街地史跡巡り等案内看板設置(21箇所) 観光誘導看板設置(17箇所) 【再掲】 ○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業 (事業主体:幡多広域観光協議会) 地方創生加速化交付金を活用 4月～ ガイドブック(11万冊)、HP(14万ページビュー、デジタルサイネー ジ(17ヶ所)等によるPR情報発信 10月～ 土佐くらしお鉄道と連動したインバウンド向けパンフ作成作業 来年度向けガイドブック、素材集等の見直し開始 11月～ スポーツツーリズムポータルサイトの構築 12月～ 幕末維新博に向けた幡多広域観光協議会HPの見直し	四万十市 (観光商工課・企画広報課) 観光協会 幡多広域観光協議会	◆周遊しやすい環境づくりが 進み観光誘客につながっている ◆外国人観光入込客数 H26:1,341人 → H31:5,000人 H27:1,971人		○為松公園案内看板設置 * 2,322千円 ・幕末維新博に合わせ新設する駐車場等の案内看板 ○観光ガイドブック作成(多言語対応) * 3,899千円 ○幕末維新博第2幕以降用周遊パンフレット作成 * 1,923千円 ○地域おこし企業人交流プログラム * 8,000千円 ・ANA総合研究所から1名招致(H25～継続) 体験メニュー等のコーディネート 情報発信 おもてなし向上「接遇研修」開催 ほか 【再掲:商工業分野と共通】 ○シティプロモーション推進事業 【5,631千円】 地方創生推進交付金を活用 ・ワークショップの開催、プロモーション展開 ・プロモーションツールの作成



分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
観光分野	<p><b>【再掲:商工業分野と共通】</b></p> <p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業 (道の駅「よって西土佐」関連)</p> <p><b>地方創生加速化交付金を活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域観光拠点機能</li> <li>4月 デジタルサイネージ導入</li> <li>10月おもてなし意識の醸成とインバウンド対応のスキルアップ研修を実施(先進地研修)</li> <li>3月 おもてなし研修の実施</li> </ul> <p>○コーディネート機能の向上</p> <p>○地域おこし企業人交流プログラム 4月～ANA総合研究所から1名招致(H25～継続)</p> <p><b>【再掲】</b> ★一元的な情報発信の促進</p> <p><b>【再掲:商工分野と共通】</b></p> <p>○シティプロモーション推進事業</p> <p><b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <p>本市の本質的な魅力、独自性を見極め、国内外から本市に目を向けられるコミュニケーションデザイン(コンセプト、メッセージ、キャッチコピー、ロゴデザイン等)をつくり、多様なツール・媒体(WEB、SNS等)を活用したプロモーションを展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5月～ コミュニケーションデザインの作製委託</li> <li>6、7月 ワーキンググループ開催(2回)</li> <li>9月 ワーキンググループ開催(1回)</li> <li>11月 四万十市のシンボル・メッセージロゴ(案)の作成</li> <li>12月～ ロゴを活用したPRの展開検討</li> <li>シティプロモーション基本プラン(まとめ本)の事業化検討</li> <li>シティプロモーション周知用ツールの作成</li> </ul>				
2. おもてなしサービスの充実	<p><b>【観光AP11】(1)観光地としての市民意識の醸成と浸透</b></p>				
★市民の参画意識の醸成	<p><b>【再掲】</b></p> <p>○地域おこし企業人交流プログラム 4月～ANA総合研究所から1名招致(H25～継続)</p> <p><b>【再掲】</b></p> <p>○旅行業の取得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>9月 第3種旅行業資格試験受験</li> <li>・四万十市観光協会:2名</li> <li>・幡多広域観光協議会:2名</li> </ul> <p>○おもてなし向上「接客研修」の開催 (講師:地域おこし企業人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校関係者:9回開催</li> <li>・医療関係者:8回開催</li> <li>・その他:8回開催</li> </ul> <p><b>【再掲:各分野共通】</b></p> <p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業 (道の駅「よって西土佐」関連)</p> <p><b>地方創生加速化交付金を活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>10月おもてなし意識の醸成とインバウンド対応のスキルアップ研修を実施(先進地研修)</li> <li>3月 おもてなし研修の実施</li> </ul>	四万十市(観光商工課) 観光協会	◆観光地であることを広く市民が認識し、おもてなし意識と地域の魅力を伝えられる市民が増えている		<p><b>【再掲】</b></p> <p>○地域おこし企業人交流プログラム <b>【8,000千円】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ANA総合研究所から1名招致(H25～継続)</li> <li>体験メニュー等のコーディネート</li> <li>情報発信</li> <li>おもてなし向上「接客研修」開催 ほか</li> </ul>

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主な内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
観光分野					
【観光AP12】(2)リピーター確保に向けた取り組み(特典の充実)  ◎おもてなし感が感じられる仕組みづくり	【再掲:商工業分野と共通】 ○インバウンド(外国人観光客)受入体制向上事業 (事業主体:四万十市観光協会) 着物で街歩きプラン(KIMONOLOILOI)の販売 4月～ 着物レンタル(呉服店と連携)による小京都中村の「街歩き」体験メニュー  【再掲:商工業分野共通】 ○おもてなし向上事業 (実施主体:四万十黒潮旅館組合) 四万十市産振総合補助金を活用 宿泊とのセットプランの造成・販売等 7月～ ・「玉姫様と通行手形」との宿泊セットプラン (宿泊施設15、飲食店33と連携) ・トンボ王国誘客プラン ・四万十周遊バス(二次交通)との宿泊セットプラン ・「着物で街歩き」との宿泊セットプラン ・「ペットホテル」との宿泊セットプラン ・スイーツ券付宿泊プラン  【再掲:農業・水産業・商工業と共通】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 地方創生加速化交付金を活用 12月～ 「四万十の食研究会」を設立し、地域の食材、食文化の掘起しと磨き上げ、「四万十の食」の開発(アドバイザー招致等) 月1回ワークショップの開催 (12月第1回、1月第2回、2月第3回、3月第4回)	四万十市(観光商工課) 観光協会 四万十市観光振興連絡会議 西土佐観光推進協議会 四万十市体験型観光受入研究会	◆商工業分野等との連携による多様な仕組み、サービスが生まれている		【再掲:農業・水産業・商工業分野と共通】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 <span style="float:right">【408千円】</span> 地方創生推進交付金を活用 ・「四万十の食研究会」における活動の継続 地域の食に関する研究を継続し、食に関する取り組みを地域の状況に沿ったものへの磨き上げ(アドバイザー招致等)
4 組織力の強化と観光リーダーの発掘・育成					
1. 観光関連事業者のスキルアップ					
【観光AP13】(1)観光関連組織の役割分担と組織力の強化  ○役割分担の明確化とスキル・組織力の強化 ★コーディネーターの育成	【再掲】 ○旅行業の取得 9月 第3種旅行業資格試験受験 ・四万十市観光協会:2名 ・幡多広域観光協議会:2名  【再掲】 ○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業 (事業主体:幡多広域観光協議会) 地方創生加速化交付金を活用 8月 日本版DMO候補法人登録	四万十市(観光商工課) 観光協会 幡多広域観光協議会	◆観光人材・組織のスキル(商品企画、営業力等)が向上し、「待ちの誘客」から「動く誘客」にシフトしている		【再掲】 ○観光案内所運営補助金 * 7,400千円 (事業主体:四万十市観光協会) ・観光協会観光案内所、臨時観光案内所での観光動向(観光案内所運営に要する補助金を含む)  【再掲】 ○幡多広域観光協議会負担金 <span style="float:right">【9,363千円】</span> ・外部研修会参加による職員のスキルアップ【200千円】
【観光AP14】(2)異業種との交流・連携の促進					
【再掲】 ★異業種交流会の開催		四万十市(観光商工課) 観光協会	◆商工業分野等との連携による多様な仕組み、サービスが生まれている		

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成28年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点(H31) 実績(H27)	計画の追加・修正	平成29年度当初予算(取り組み)概要
観光分野					
2. 観光人材の育成、確保					
【観光AP15】(1)地域の観光リーダーの育成					
★地域のキーマンの発掘、育成	<b>【商工業分野共通】</b> ○地域おこし協力隊事業 6名配置 富山地区、大川筋・後川地区、須崎地区、大宮地区、 奥屋内地区、半家地区にそれぞれ1名配置  <b>【再掲】</b> ○「全国ほんものフォーラムin福島」大会参加 11月 大会参加を通じ、全国の先進事例を学ぶとともに 体験メニュー の磨き上げ、人材育成にもつなげる(7人参加)	四万十市 (観光商工課・関係課) 観光協会 幡多広域観光協議会 四万十市体験型観光受入研 究会	◆地域で核となる観光人材が 育成されている  ◆体験型観光受入研究会 加入団体数 H26:23団体 → H31:30団体 H27:23団体		<b>【再掲:商工業分野と共通】</b> ○地域おこし協力隊事業 <b>【21,029千円】</b> ・富山地区、大川筋・後川地区【2名:7,845千円】 ・須崎地区、大宮地区、奥屋内地区、半家地区 【4名:13,184千円】  <b>【再掲】</b> ○四万十市体験型観光受入研究会 <b>—</b> ・体験プログラム等の磨き上げ、開発、家庭募 集、 研修ほか <b>【再掲】</b> ○幡多広域観光協議会負担金 <b>【9,363千円】</b> ・体験事業者、田舎暮らし体験受入家庭を対 象とした研修会の開催【290千円】
【観光AP16】(2)体験インストラクター、ガイドの育成					
○インストラクター、ガイドの育成	<b>【再掲】</b> ○おもてなし向上「接客研修」の開催 (講師:地域おこし企業人) ・学校関係者:9回開催 ・医療関係者:8回開催 ・その他:8回開催  ○観光ガイドの養成 志国高知幕末維新博に合わせ観光ガイド養成講座の開催 2月～ 計4回  ○観光ガイド用タブレット購入(5台購入予定) <b>【再掲:商工業分野共通】</b> ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業 (道の駅「よって西土佐」関連) 地方創生加速化交付金を活用 10月おもてなし意識の醸成とインバウンド対応のスキル アップ研修を実施(先進地研修)	四万十市(観光商工課) 観光協会 幡多広域観光協議会 四万十市体験型観光受入研 究会	◆観光人材の育成、レベル アップが図られている		<b>【再掲】</b> ○地域おこし企業人交流プログラム <b>【8,000千円】</b> ・ANA総合研究所から1名招致(H25～継続) 体験メニュー等のコーディネート 情報発信 おもてなし向上「接客研修」開催 ほか  <b>【再掲】</b> ○四万十市体験型観光受入研究会 <b>—</b> ・体験プログラム等の磨き上げ、開発、家庭募 集、 研修ほか <b>【再掲】</b> ○志国高知幕末維新博に向けた取組み(H29.3開幕) <b>【22,063千円】</b> ・観光クラスターガイド養成【400千円】 <b>【再掲】</b> ○幡多広域観光協議会負担金 <b>【9,363千円】</b> ・体験事業者、田舎暮らし体験受入家庭を対 象とした研修会の開催【290千円】
【観光AP17】(3)将来の担い手の発掘・育成					
★ボランティアの受け入れ  ★インターンシップの受け入れ		四万十市(観光商工課) 観光協会 幡多広域観光協議会 四万十市体験型観光受入研 究会	◆観光の担い手確保につな がっている		○観光拠点施設等と連携した受け入れ推進 <b>—</b>